

地方創生（まち・ひと・しごと創生）に 関するアンケート調査

－ 報 告 書 －

平成 27 年 10 月
上 富 田 町

目次

調査概要

調査の目的	3
調査の概要	3
この報告書の見方	3

一般 調査結果

回答者の属性	7
「地方創生」について	9
結婚について	11
出産・育児について	14
働くことについて	16
住みやすいまちづくりについて	22

転出者 調査結果

回答者の属性	29
転出の理由について	33
住みやすさについて	35

事業所 調査結果

「地方創生」について	41
貴事業所の現状について	43
貴事業所の従業員について	46
貴事業所の今後の意向について	53
上富田町について	59

調査概要

調査の目的

上富田町では、人口減少社会に対応すべく、「上富田町人口ビジョン」と「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。本アンケート調査は、計画を策定するにあたり、基礎資料とするために行うものです。

調査の概要

- 調査対象：【一 般】上富田町内にお住まいの 15 歳以上の方
【転出者】上富田町から転出された方
【事業所】上富田町内の企業・事業所
- 調査期間：平成 27 年 8 月 7 日まで
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
一 般	1,996 票	739 票	37.0%
転出者	142 票	31 票	21.8%
事業所	96 票	48 票	50.0%

この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 一部のグラフでは 5 以下の数値を表示していません。

一般アンケート 調査結果

回答者の属性

性別・年齢

問 1. あなたの性別（1つに○）

問 2. あなたの年齢（1つに○）

図 性別

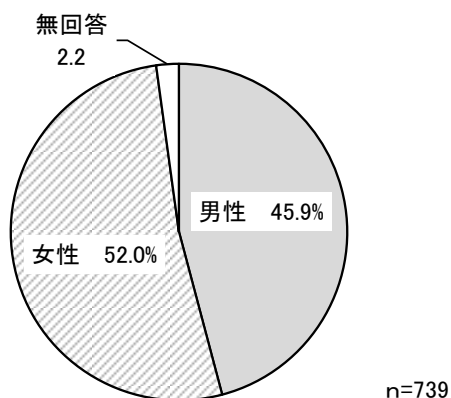
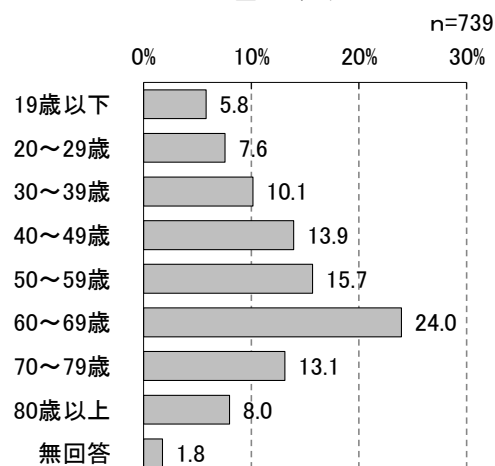


図 年齢



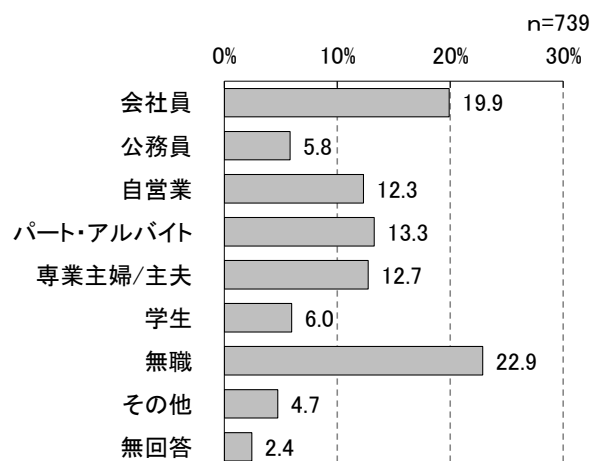
性別は「男性」が45.9%、「女性」が52.0%となっています。（図 性別）

年齢は「60～69歳」が24.0%で最も多く、次いで「50～59歳」が15.7%、「40～49歳」が13.9%となっています。（図 年齢）

職業

問 3. あなたの職業等（1つに○、または（ ）に記入）

図 職業



職業は「会社員」が19.9%、「パート・アルバイト」が13.3%、「専業主婦/主夫」が12.7%、「自営業」が12.3%となっています。「無職」は22.9%と最も多くなっています。

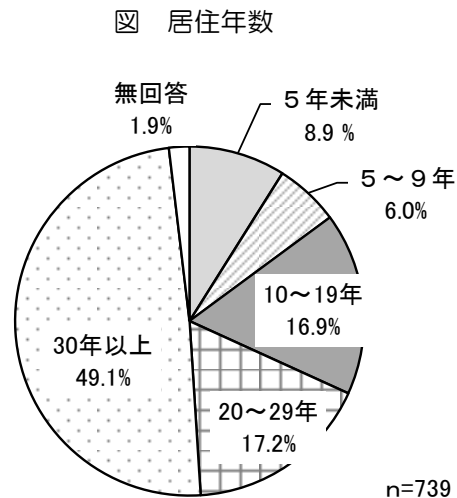
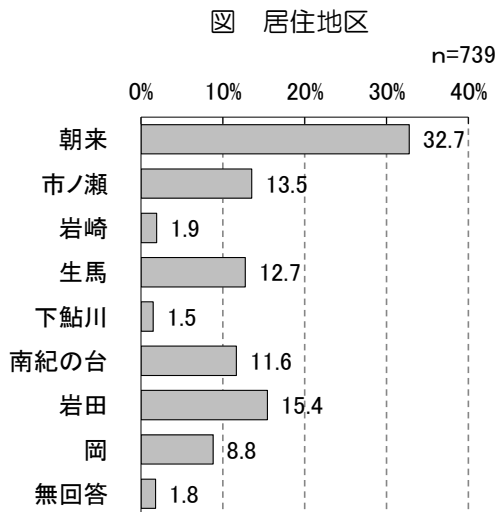
「その他」の主な意見 農業(5)/団体職員(4) 作業所(2)/会社役員/指導員/住職/施設職員/契約社員/運転手/建築/設計 など

（ ）内は回答者数

居住地区・居住年数

問 4. お住まいの地区（１つに○）

問 5. 上富田町での居住年数（通算）（１つに○）

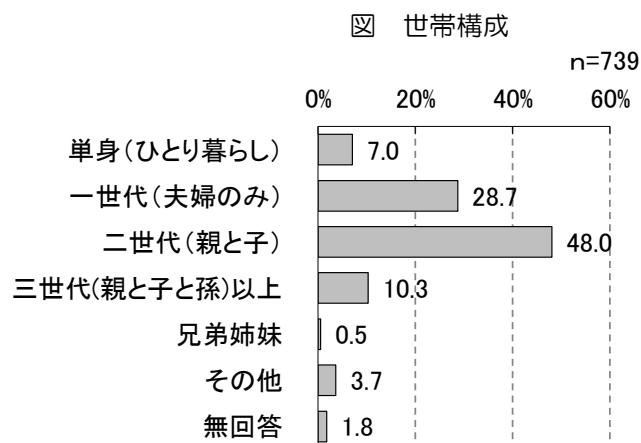


居住地区は「朝来」が32.7%で最も多く、次いで「岩田」が15.4%、「市ノ瀬」が13.5%となっています。（図 居住地区）

居住年数は「30年以上」が49.1%で最も多く、次いで「20～29年」が17.2%、「10～19年」が16.9%となっています。（図 居住年数）

世帯構成

問 6. あなたの世帯構成（１つに○）



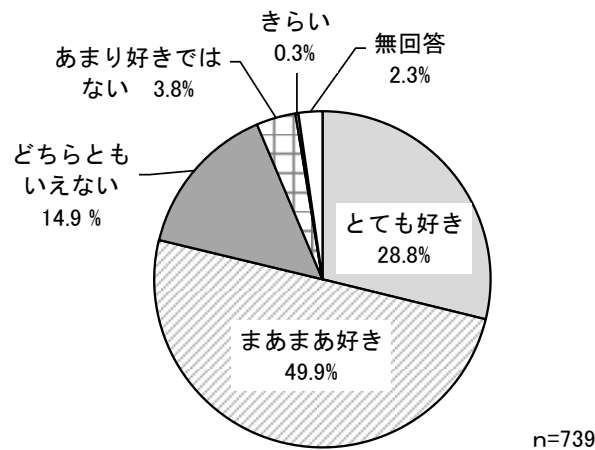
世帯構成は「二世帯（親と子）」が48.0%で最も多く、次いで「一世帯（夫婦のみ）」が28.7%、「三世帯（親と子と孫）以上」が10.3%となっています。

「地方創生」について

上富田町への愛着の有無

問 7. あなたは、上富田町のことが好きですか。（1つに○）

図 上富田町への愛着の有無

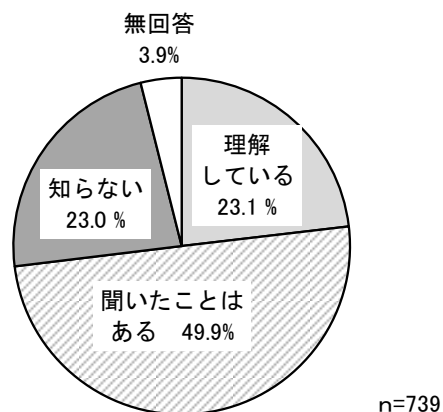


上富田町への愛着の有無は「まあまあ好き」が49.9%で最も多く、次いで「とても好き」が28.8%、「どちらともいえない」が14.9%となっています。『愛着度』（「とても好き」と「まあまあ好き」を合わせたもの）は78.7%となっています。

「地方創生」の認知度

問 8. 「地方創生」とは何か、知っていますか。（1つに○）

図 「地方創生」の認知度

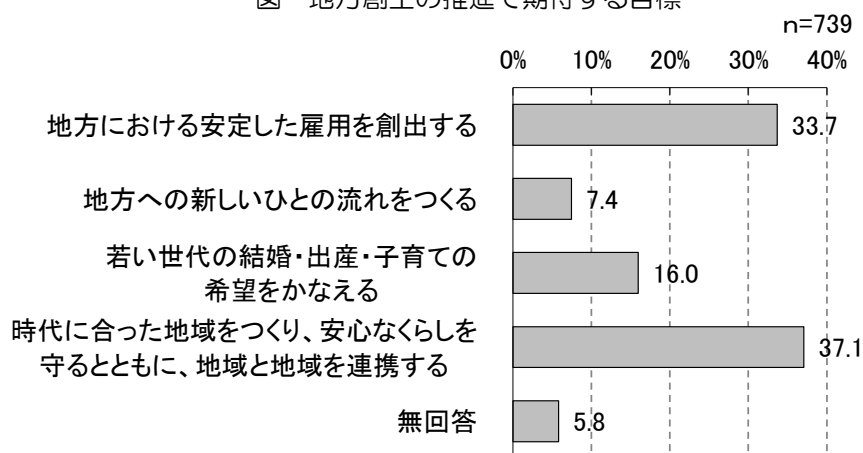


「地方創生」の認知度は「聞いたことはある」が49.9%で最も多く、「理解している」が23.1%、「知らない」が23.0%となっています。

地方創生の推進で期待する目標

問 9. 国は、地方創生を推進する上で、4つの目標を立てています。あなたが最も期待する目標は何ですか。(1つに○)

図 地方創生の推進で期待する目標



地方創生の推進で期待する目標は「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」が37.1%で最も多く、次いで「地方における安定した雇用を創出する」が33.7%、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が16.0%、「地方への新しいひとの流れをつくる」が7.4%となっています。

問 10. 問 9 でうかがったことについて、具体的に国や町が進めるべきだと思うことをご自由に記入してください。

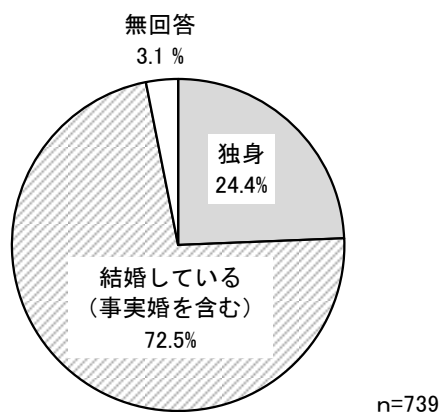
※報告書巻末に記載

結婚について

結婚の有無

問 11. あなたは、現在、結婚していますか。（1つに○）

図 結婚の有無



結婚の有無は「結婚している（事実婚を含む）」が 72.5%と多く、「独身」の 24.4%を上回っています。

【問 11 で「独身」を選択した方にうかがいます。問 11-1、問 11-2、問 11-3 にお答えください。】

結婚の希望

問 11-1. 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。
（1つに○。「いずれ結婚したい」を選択の場合は、年齢も選んでください。）

図 結婚の希望

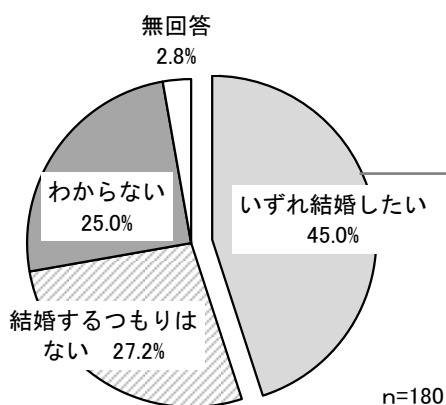
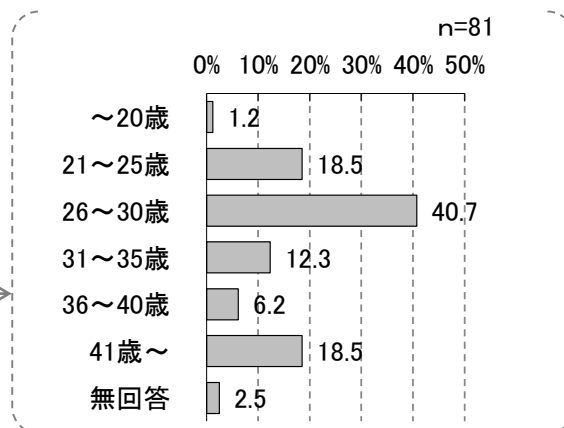


図 希望年齢



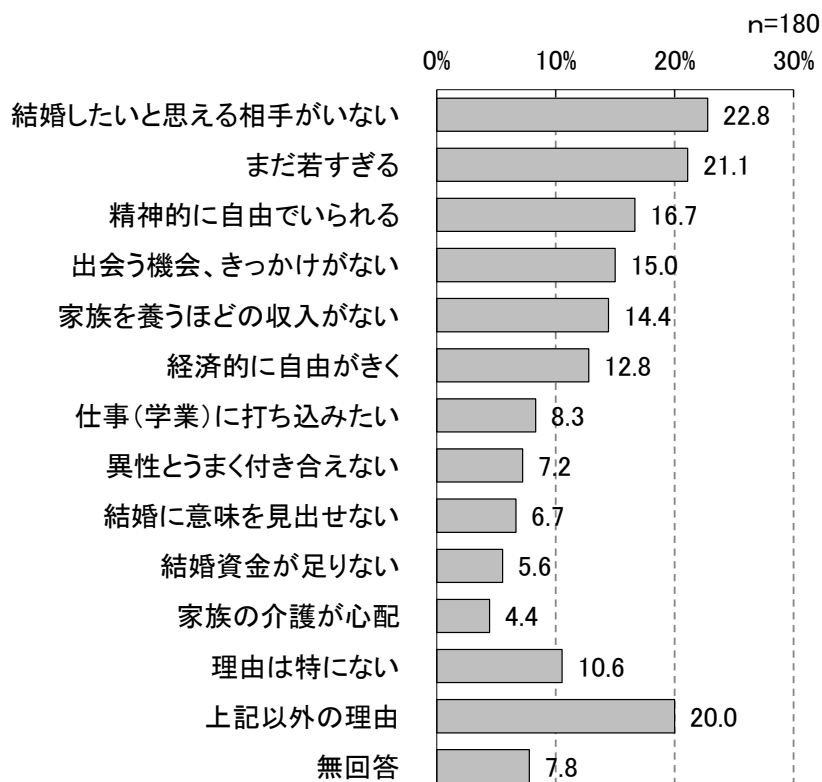
独身と回答した方に結婚の希望をたずねたところ、「いずれ結婚したい」が 45.0%で最も多く、「結婚するつもりはない」が 27.2%、「わからない」が 25.0%となっています。（図 結婚の希望）

いずれ結婚したいと回答した方に希望年齢をたずねたところ、「26~30 歳」が 40.7%で最も多く、次いで「21~25 歳」及び「41 歳～」が 18.5%となっています。（図 希望年齢）

結婚していない理由

問 11-2. 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 結婚していない理由



独身と回答した方に結婚していない理由をたずねたところ、「結婚したいと思える相手がいない」が22.8%で最も多く、次いで「まだ若すぎる」が21.1%、「精神的に自由でいられる」が16.7%となっています。

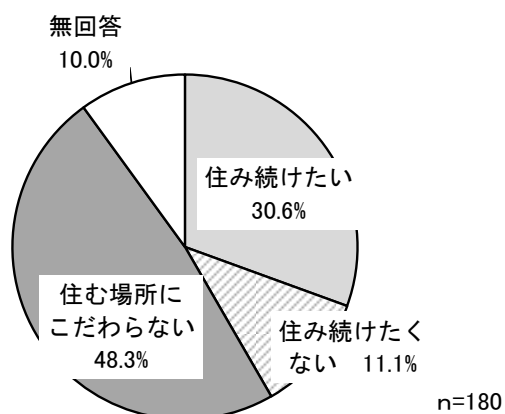
「上記以外の理由」の主な意見

高齢のため/死別/離婚したため など

結婚後の上富田町での居住意向

問 11-3. 結婚した場合、上富田町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

図 結婚後の上富田町での居住意向

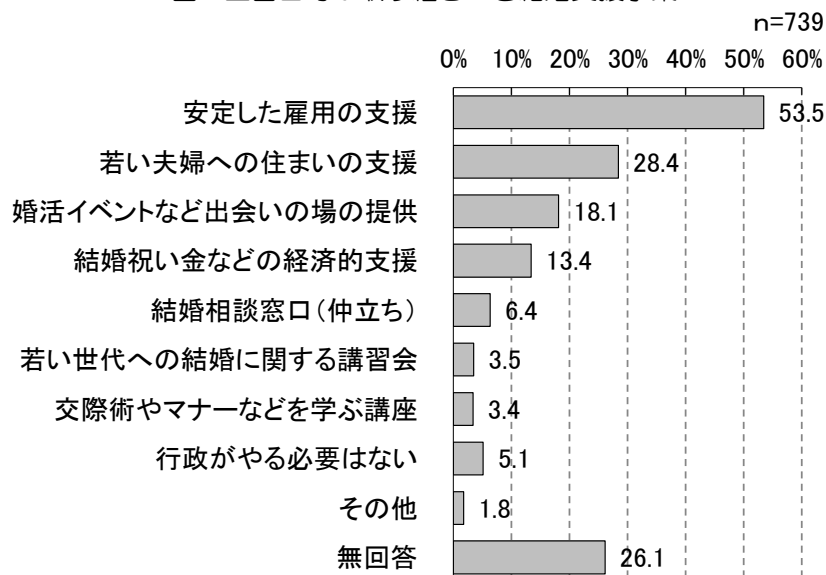


独身と回答した方に結婚後の上富田町での居住意向をたずねたところ、「住む場所にこだわらない」が48.3%と最も多くなっています。「住み続けたい」は30.6%で「住み続けたくない」の11.1%を上回っています。

上富田町が取り組むべき結婚支援事業

問 12. 上富田町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町が取り組むべき結婚支援事業



上富田町が取り組むべき結婚支援事業は「安定した雇用の支援」が 53.5%で最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」が 28.4%、「婚活イベントなど出会いの場の提供」が 18.1%、「結婚祝い金などの経済的支援」が 13.4%となっています。

「その他」の主な意見

自然な出会いの場の提案/結婚を機に上富田に住む人へのプレゼント等の待遇 など

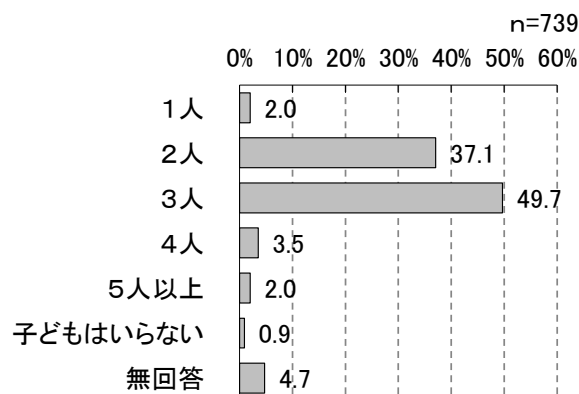
出産・育児について

※すべての方におうかがいします。

理想的な子どもの人数

問 13. 理想的な子どもの数は何人ですか。（現在いるお子さんの人数も含む）（1つに○）

図 理想的な子どもの人数

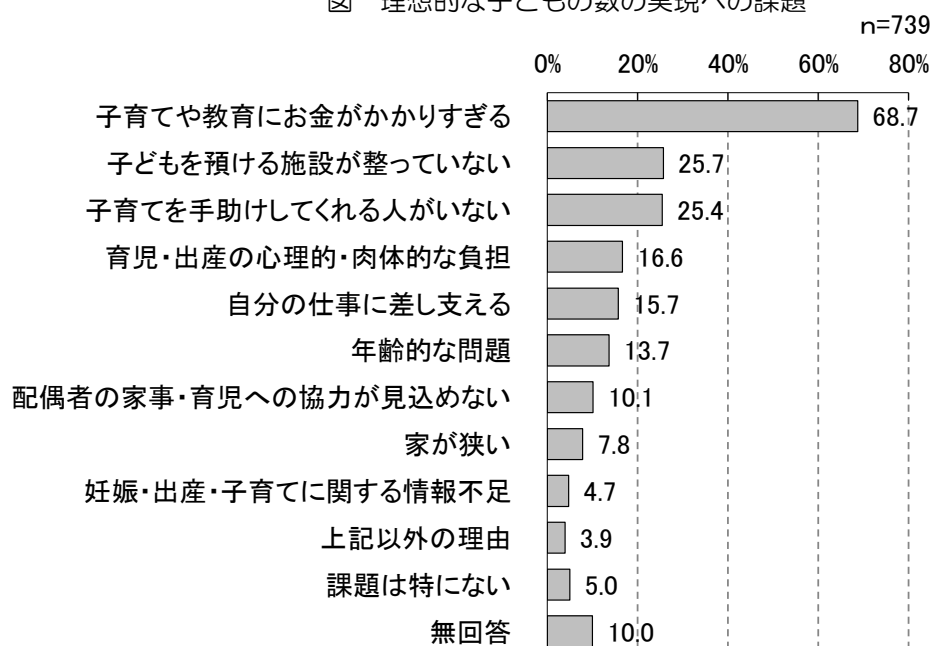


理想的な子どもの人数は「3人」が49.7%で最も多く、次いで「2人」が37.1%、「4人」が3.5%となっています。

理想的な子どもの数の実現への課題

問 14. 理想的な子どもの数を実現するために、課題となること（なりそうなこと）は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 理想的な子どもの数の実現への課題



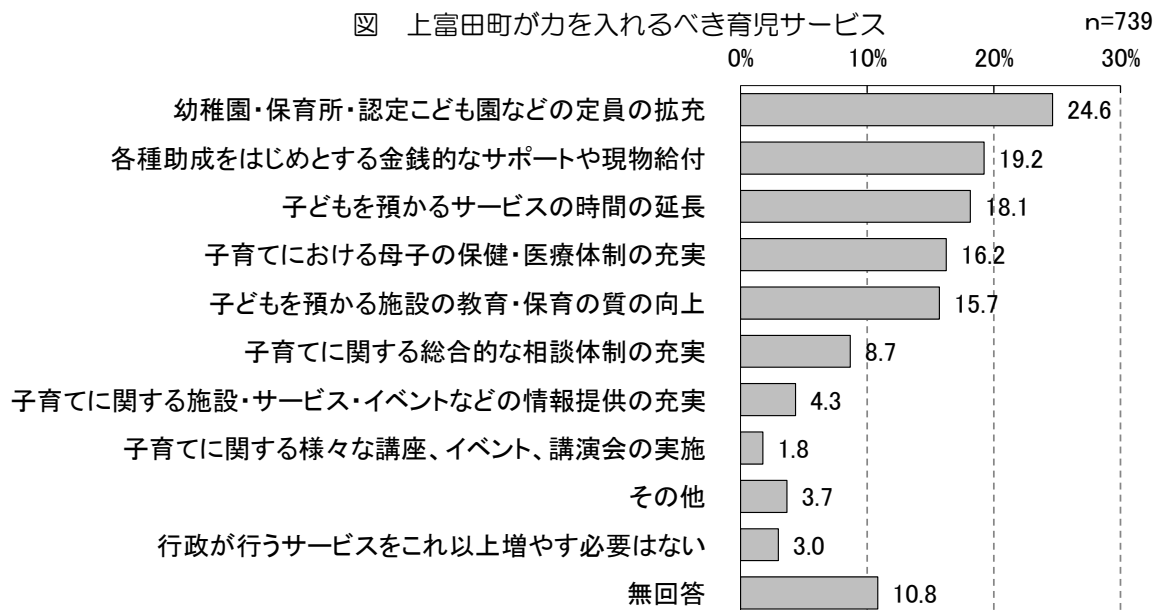
理想的な子どもの数の実現への課題は「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が68.7%で最も多く、次いで「子どもを預ける施設が整っていない」が25.7%、「子育てを手助けしてくれる人がいない」が25.4%となっています。

「上記以外の理由」の主な意見

結婚、出産、子育てに対する教育が不十分/産婦人科を持つ病院が少ない/夫婦関係の問題/学校給食がない など

上富田町が力を入れるべき育児サービス

問 15. 今後、育児に関するサービスとして、上富田町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。（1つに○）



※複数回答多数のため、マルチアンサーとして集計しました。

上富田町が力を入れるべき育児サービスは「幼稚園・保育所・認定こども園などの定員の拡充」が24.6%で最も多く、次いで「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が19.2%、「子どもを預かるサービスの時間の延長」が18.1%、「子育てにおける母子の保健・医療体制の充実」が16.2%、「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」が15.7%となっています。

「その他」の主な意見

学校給食サービス/子どもの医療費の助成/子育てが安心してできる仕事環境の充実/
上富田町内の人生経験者（老人）に育児サービスに参加してもらい、町全体で子育てを
支援する/病児保育に預けた時の割引制度/奨学金/正しい結婚感についての学校教育、社
会教育と家庭教育が必要 など

働くことについて

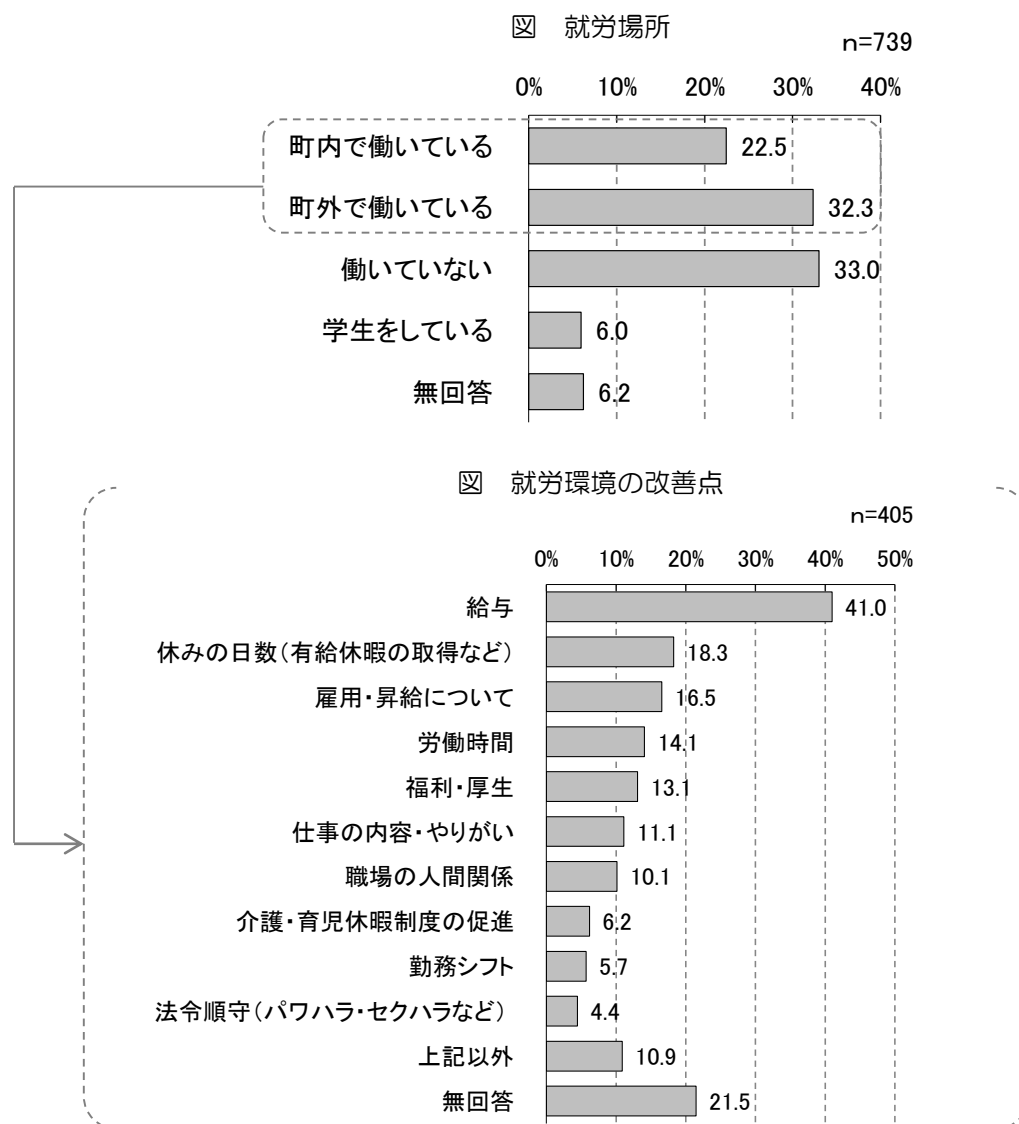
就労場所

問 16. あなたは、現在、どこで働いていますか（就労形態は問わない）。（1つに○）

【現在、働いている方（問 16 で「町内で働いている」、「町外で働いている」を選択した方）に
うかがいます。】

就労環境の改善点

問 16-1. 現在、働いている環境で改善してほしい点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



就労場所は、「町外で働いている」が 32.3%、「町内で働いている」が 22.5%、そして「働いていない」が 33.0%となっています。『働いている方』（「町内で働いている」と「町外で働いている」を合わせたもの）は、54.8%となっています。（図 就労場所）

働いていると回答した方に就労環境の改善点をたずねたところ、「給与」が 41.0%で最も多く、次いで「休みの日数（有給休暇の取得など）」が 18.3%、「雇用・昇給について」が 16.5%となっています。（図 就労環境の改善点）

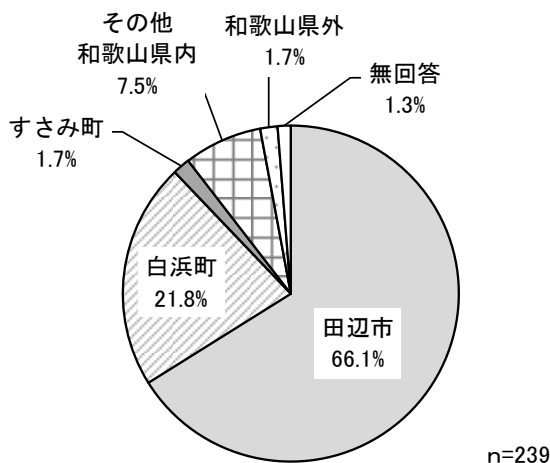
「上記以外」の主な意見 農業への補助/人材不足/転勤/周囲の環境 など

【問 16 で「町外で働いている」を選択した方にうかがいます。問 16-2、問 16-3 にお答えください。】

町外の就労場所

問 16-2. どこで働いていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

図 町外の就労場所



町外で働いていると回答した方に町外の就労場所をたずねたところ、「田辺市」が 66.1%で最も多く、次いで「白浜町」が 21.8%、「その他和歌山県内」が 7.5%となっています。

「その他和歌山県内」 みなべ町(8)/御坊市(4)/和歌山市(3)/印南町(2)/串本町 など

「和歌山県外」 大阪(2)/東京/神戸市/京都市/名古屋市/東北(福島)/海外 など

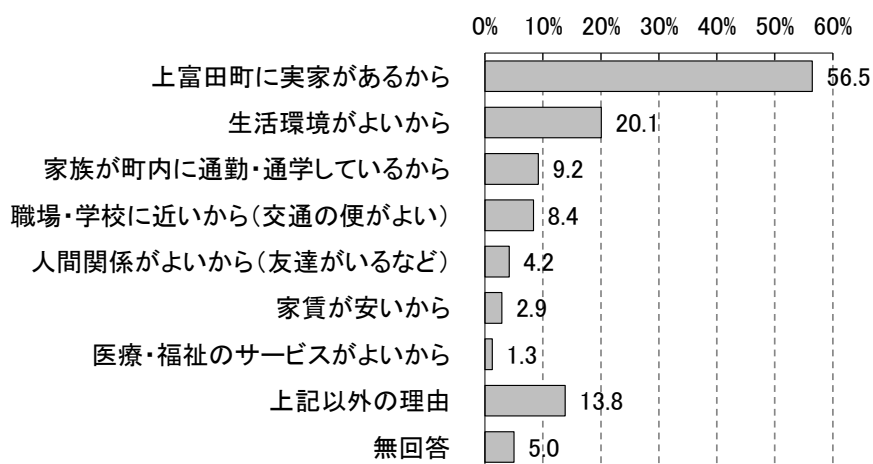
() 内は回答者数

町外就労者の町内での居住理由

問 16-3. 通勤先の市町村と異なる場所に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 町外就労者町内での居住理由

n=239



町外で働いていると回答した方に町内での居住理由をたずねたところ、「上富田町に実家があるから」が 56.5%で最も多く、次いで「生活環境がよいから」が 20.1%、「家族が町内に通勤・通学しているから」が 9.2%となっています。

「上記以外の理由」の主な意見

上富田町内で求人がなかったから/土地が安かったから/高台にあるから など

【全ての方にうかがいます。】

就職・転職の希望、勤務地の希望

問 17. あなたは、今後新たに就職、もしくは転職の希望がありますか。

(1つに○。「就職・転職をしたい」を選択の場合は、勤務地の希望も選んでください。)

図 就職・転職の希望

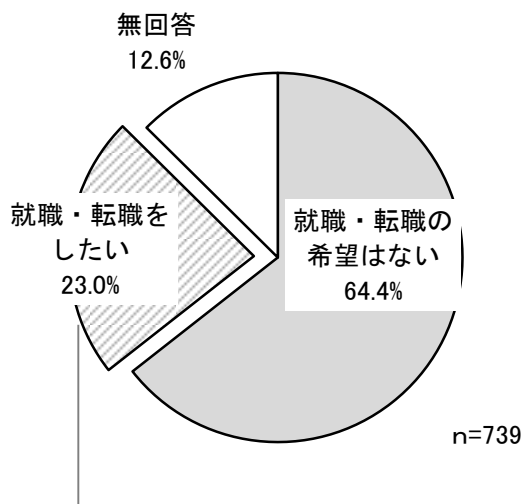
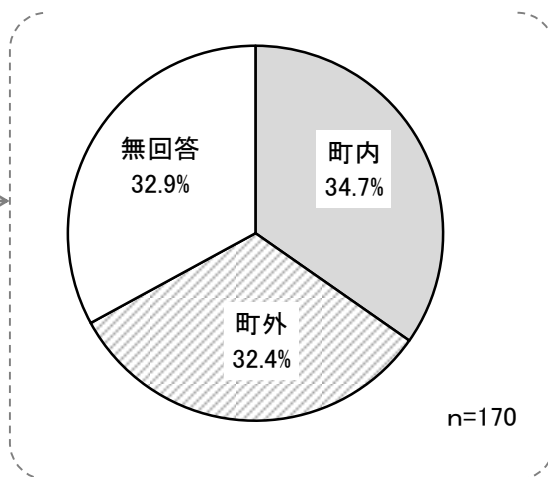


図 勤務地の希望



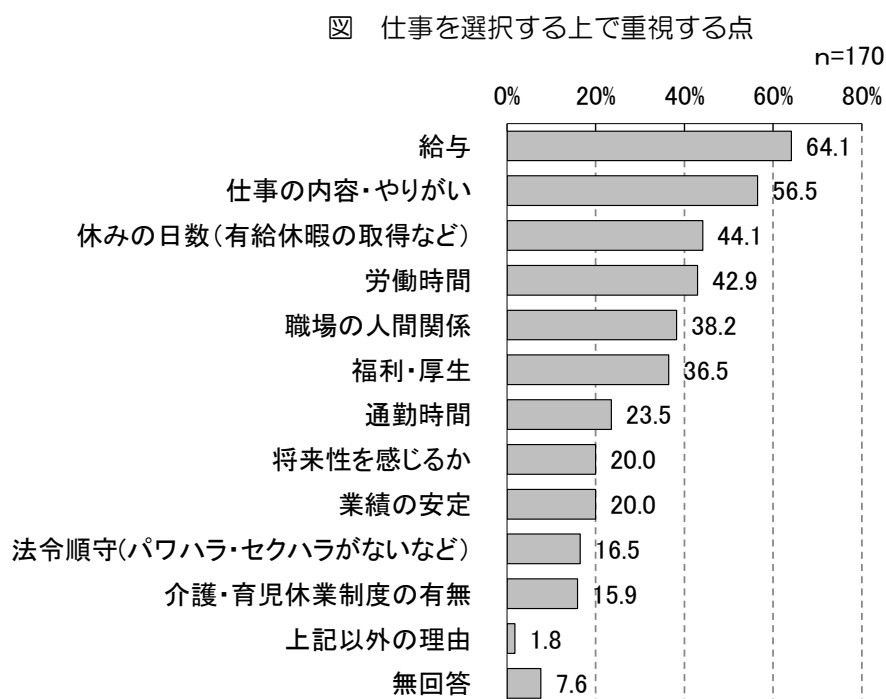
就職・転職の希望は「就職・転職の希望はない」が 64.4%、「就職・転職をしたい」が 23.0% となっています。(図 就職・転職の希望)

就職・転職をしたいと回答した方に勤務地の希望をたずねたところ、「町内」が 34.7%、「町外」が 32.4% となっています。(図 勤務地の希望)

【問 17 で「就職・転職をしたい」を選択した方にうかがいます。問 17-1、問 17-2 にお答えください。】

仕事を選択する上で重視する点

問 17-1. あなたは（将来的に）仕事を選択する上で何を重視しますか。（あてはまるものすべてに○）



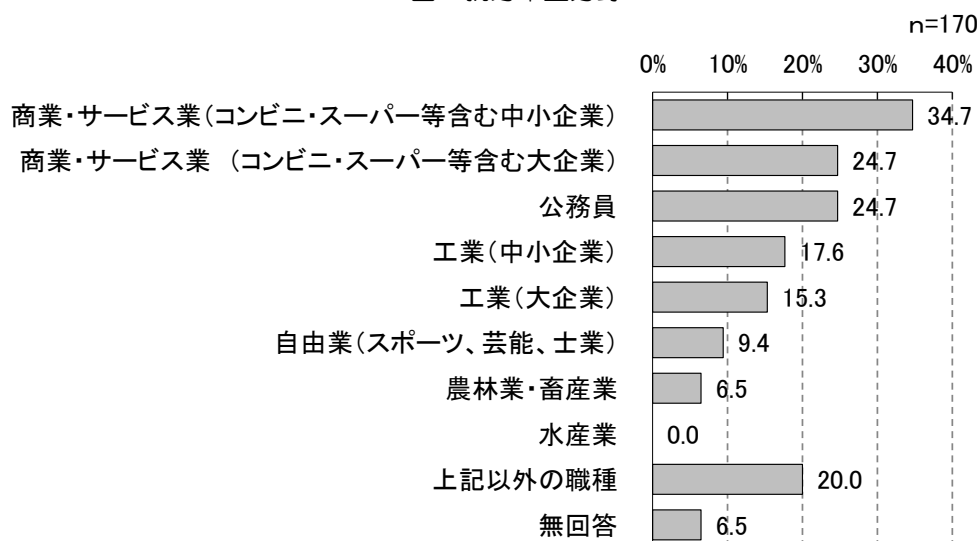
就職・転職をしたいと回答した方に仕事を選択する上で重視する点をたずねたところ、「給与」が 64.1% で最も多く、次いで「仕事の内容・やりがい」が 56.5%、「休みの日数（有給休暇の取得など）」が 44.1% となっています。

「上記以外の理由」の主な意見 ライフワークバランス など

就労希望分野

問 17-2. 就労するなら、次のうち、どの分野の仕事を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

図 就労希望分野



就職・転職をしたいと回答した方に就労希望分野をたずねたところ、「商業・サービス業(コンビニ・スーパー等含む中小企業)」が34.7%で最も多く、次いで「商業・サービス業 (コンビニ・スーパー等含む大企業)」及び「公務員」が24.7%となっています。

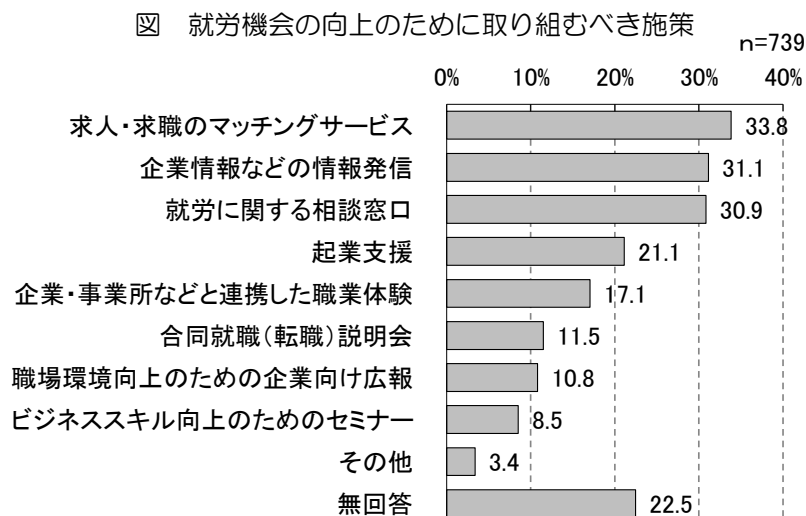
「上記以外の職種」の主な意見

福祉・介護(8)/医療(3)/事務(2)/観光・宿泊(2)/建設/運輸/製造/保育士/アパレル など

() 内は回答者数

就労機会の向上のために取り組むべき施策

問 18. 就労機会の向上等に向けて、上富田町が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)



就労機会の向上のために取り組むべき施策は「求人・求職のマッチングサービス」が 33.8%で最も多く、次いで「企業情報などの情報発信」が 31.1%、「就労に関する相談窓口」が 30.9%となっています。

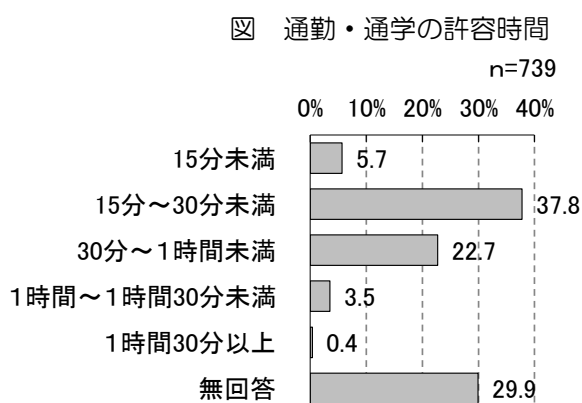
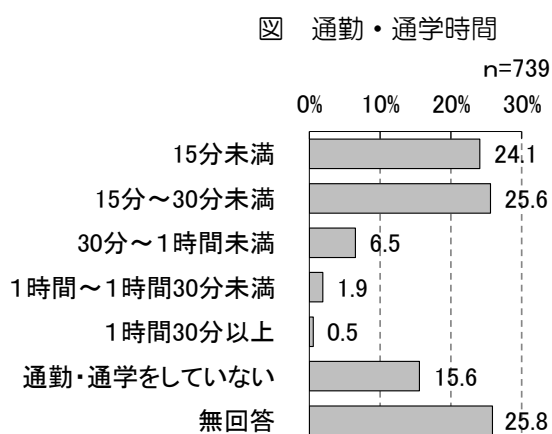
「その他」の主な意見

企業誘致/良質な雇用の場の確保/社会人としての最低限のモラルや常識の修得、教育指導/周辺地域を含めた職業種類増加支援 など

通勤・通学時間、通勤・通学の許容時間

問 19. あなたが、通勤・通学等に要する時間はどれくらいですか。(1つに○)

問 20. あなたが、通勤・通学等に要する時間として許容できる時間はどれくらいですか。(1つに○)



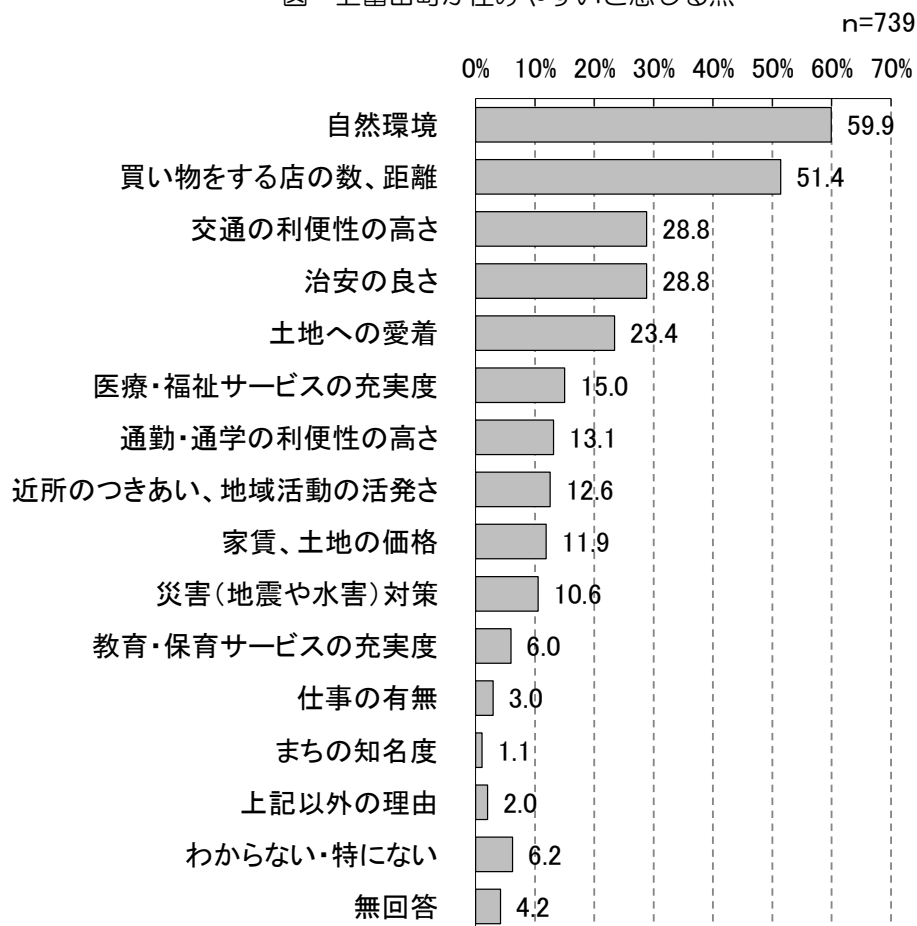
通勤・通学時間は「15分～30分未満」が 25.6%で最も多く、次いで「15分未満」が 24.1%となっています。「通勤・通学をしていない」は 15.6%となっています。(図 通勤・通学時間)
通勤・通学の許容時間は「15分～30分未満」が 37.8%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が 22.7%、「15分未満」が 5.7%となっています。(図 通勤・通学の許容時間)

住みやすいまちづくりについて

上富田町が住みやすいと感じる点

問 21. 上富田町が住みやすいと感じるのはどんな点ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町が住みやすいと感じる点



上富田町が住みやすいと感じる点は「自然環境」が 59.9%で最も多く、次いで「買い物をする店の数、距離」が 51.4%、「交通の利便性の高さ」、「治安の良さ」が 28.8%、「土地への愛着」が 23.4%となっています。

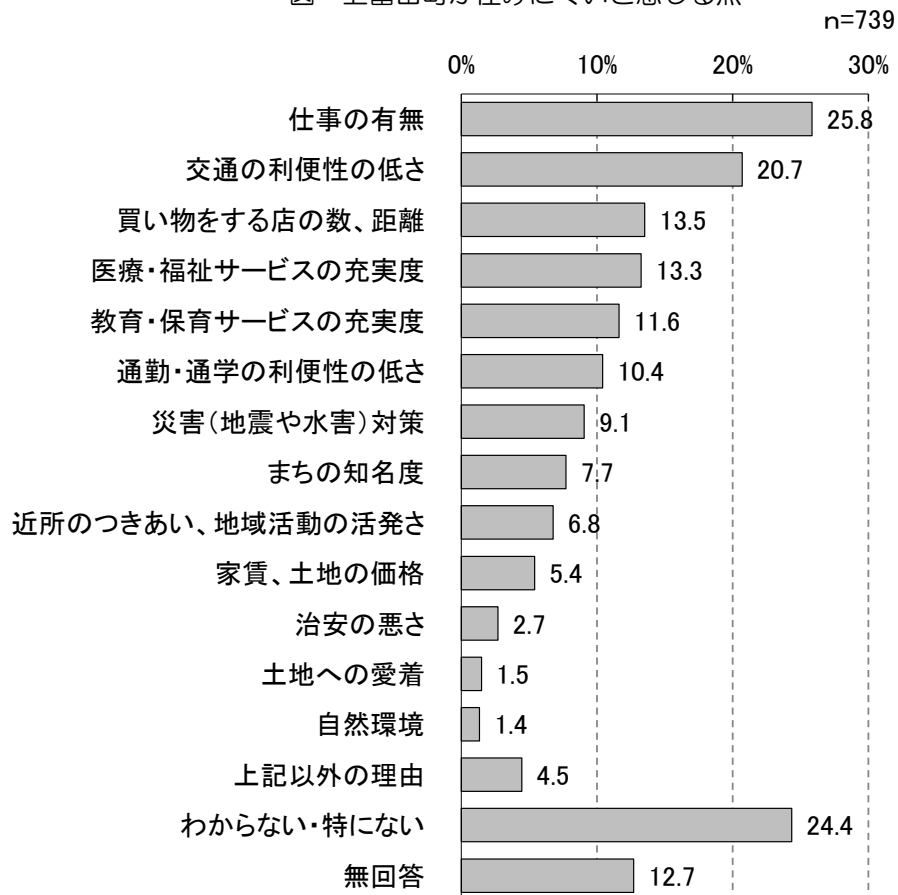
「上記以外の理由」の主な意見

病院が近い/津波の心配がない/口熊野マラソン/水がおいしい/美しい自然 など

上富田町が住みにくいと感じる点

問 22. 上富田町が住みにくいと感じるのはどんな点ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町が住みにくいと感じる点



上富田町が住みにくいと感じる点は「仕事の有無」が 25.8%で最も多く、「交通の利便性の低さ」が 20.7%、「買い物をする店の数、距離」が 13.5%、「医療・福祉サービスの充実度」が 13.3%となっています。

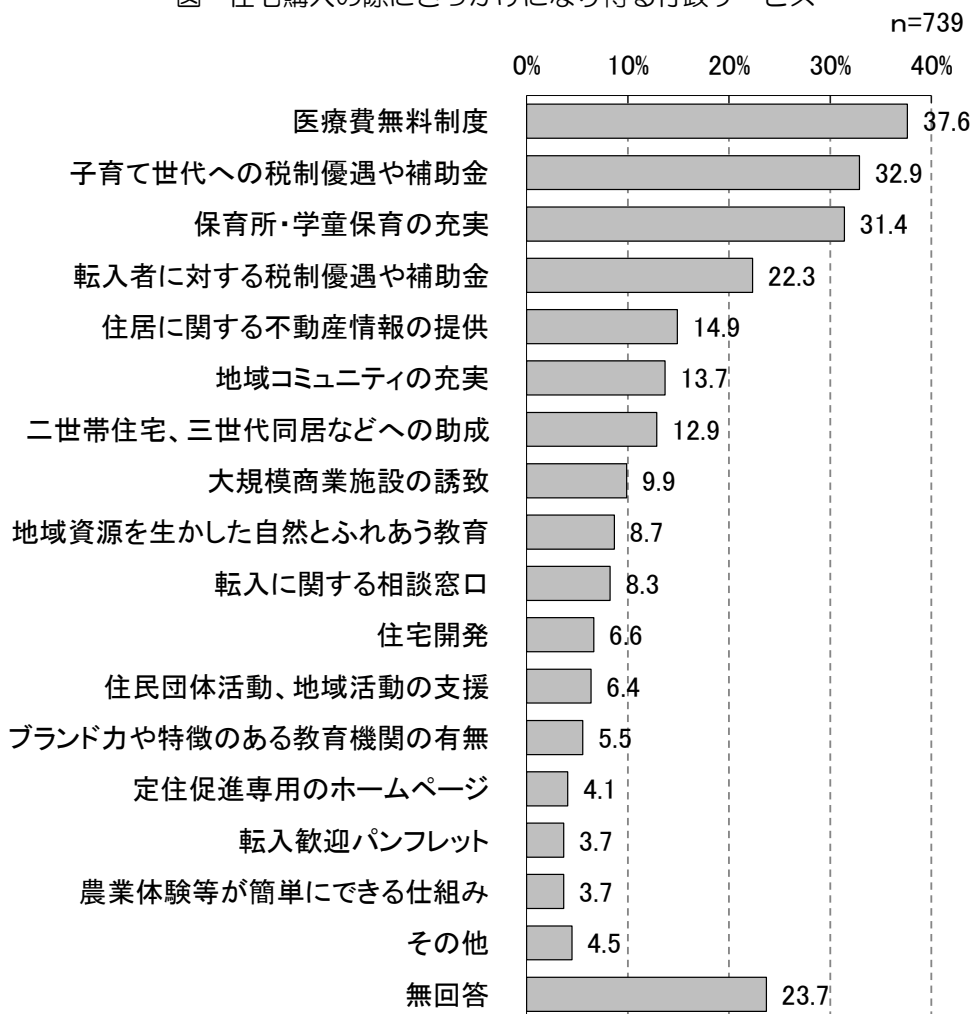
「上記以外の理由」の主な意見

小・中学校の給食がない/老人介護施設が少ない/公共料金、税金が高い/子供の医療費を無料化してほしい/道路が狭い、暗い など

住宅購入の際にきっかけになり得る行政サービス

問 23. あなたが、住む場所を決めたり、住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 住宅購入の際にきっかけになり得る行政サービス



住宅購入の際にきっかけになり得る行政サービスは「医療費無料制度」が 37.6%で最も多く、次いで「子育て世代への税制優遇や補助金」が 32.9%、「保育所・学童保育の充実」が 31.4%となっています。

「その他」の主な意見

働く場の確保/治安の良さ/学校給食/下水道完備/交通利便性、土地が安いこと/病院、学校に近い など

今後の上富田町での居留意向・引っ越し理由

問 24. あなたは、今後も上富田町に住み続けるご予定ですか。（1つに○）

【引っ越しを考えている方（問 24 で「予定はないが、いずれ引っ越すと思う」、「近々、引っ越す予定である」を選択した方）にうかがいます。】

問 24-1. 引っ越し理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 今後の上富田町での居留意向

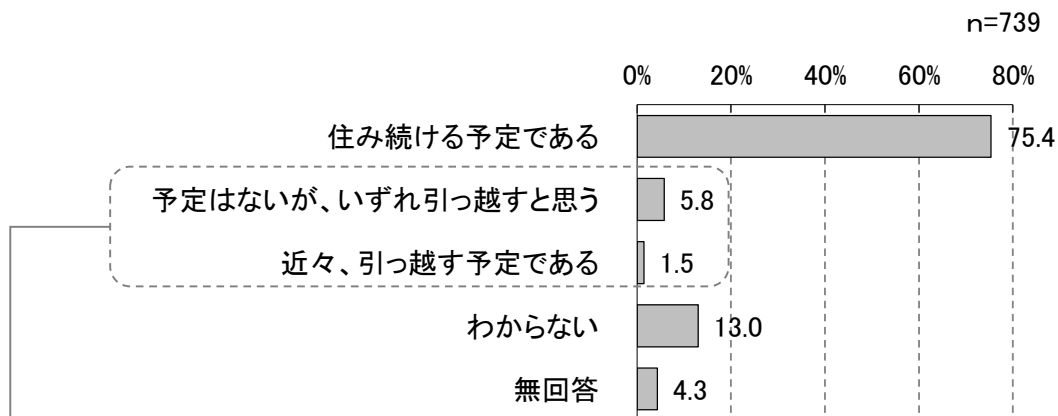
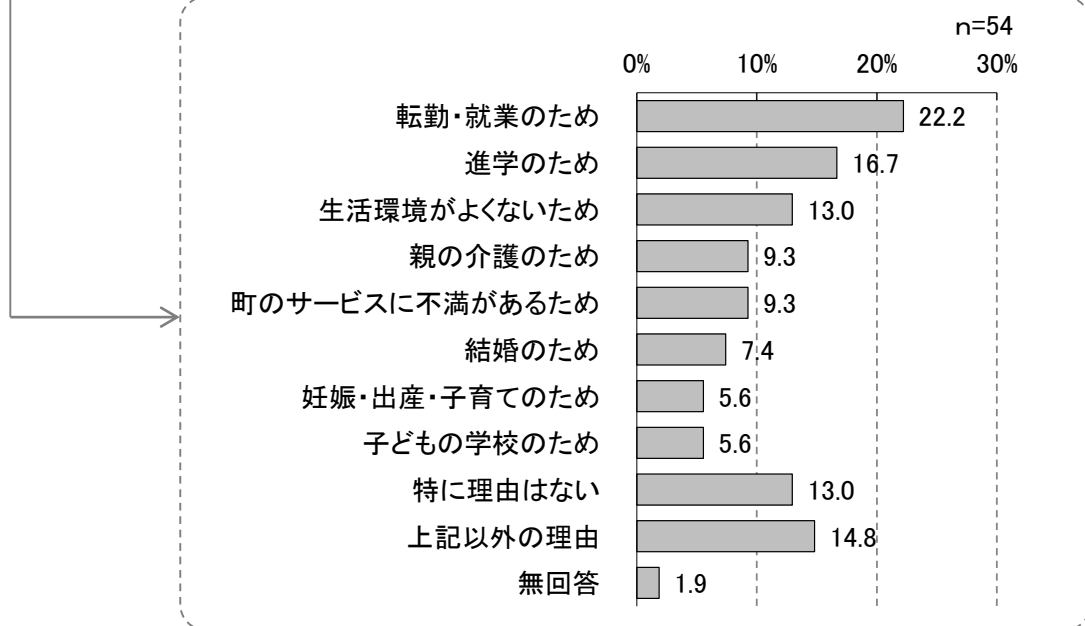


図 引っ越し理由



今後の上富田町での居留意向は「住み続ける予定である」が 75.4%で最も多く、次いで「わからない」が 13.0%となっています。（図 今後の上富田町での居留意向）

上富田町からの引っ越し意向があると回答した方に引っ越し理由をたずねたところ、「転勤・就業のため」が 22.2%で最も多く、次いで「進学のため」が 16.7%、「生活環境がよくないため」が 13.0%となっています。（図 引っ越し理由）

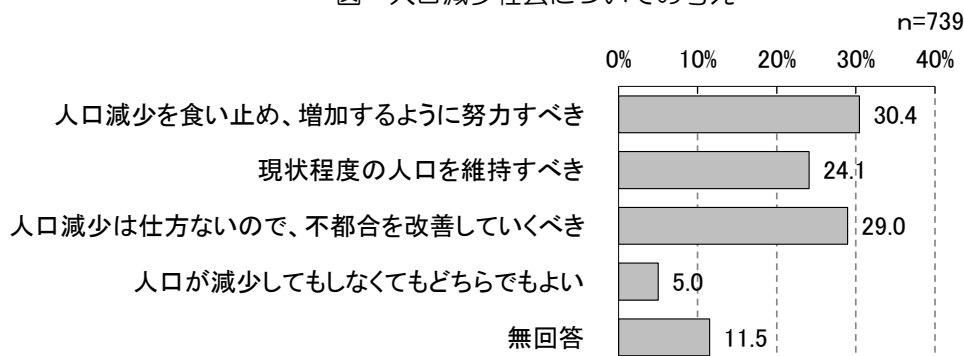
「上記以外の理由」の主な意見

地元に戻りたい/遊ぶ所が少ない/1人になった時子供達の近くへ行く/情報収集の為、人脈の拡大の為 など

人口減少社会についての考え

問 25. 人口減少社会について、あなたの考えとして最も近いものは何ですか。（1つに○）

図 人口減少社会についての考え

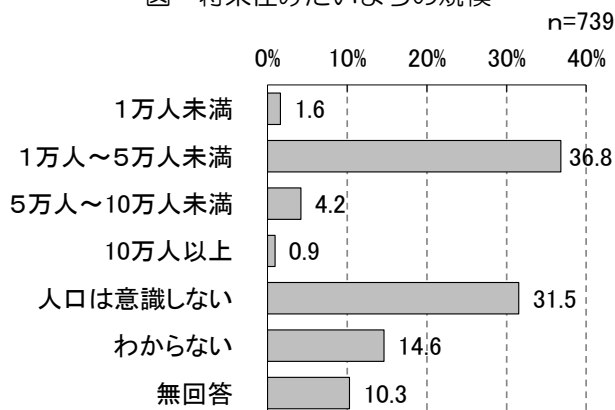


人口減少社会についての考えは「人口減少を食い止め、増加するように努力すべき」が 30.4%で最も多く、次いで「人口減少は仕方ないので、不都合を改善していくべき」が 29.0%、「現状程度の人口を維持すべき」が 24.1%、「人口が減少してもしなくてもどちらでもよい」が 5.0%となっています。

将来住みたいまちの規模

問 26. 平成 27 年 6 月現在、上富田町の人口は 15,473 人です。あなたは将来何人くらいの規模のまちに住みたいと考えていますか。（1つに○）

図 将来住みたいまちの規模



将来住みたいまちの規模は「1万人～5万人未満」が 36.8%で最も多く、次いで「人口は意識しない」が 31.5%、「わからない」が 14.6%となっています。

問 27. 人口減少社会への対策として、上富田町はどのようなことを重点的に行っていくべきだと思いますか。あなたが普段感じていることを教えてください。（ご自由に記入してください）

※報告書巻末に記載

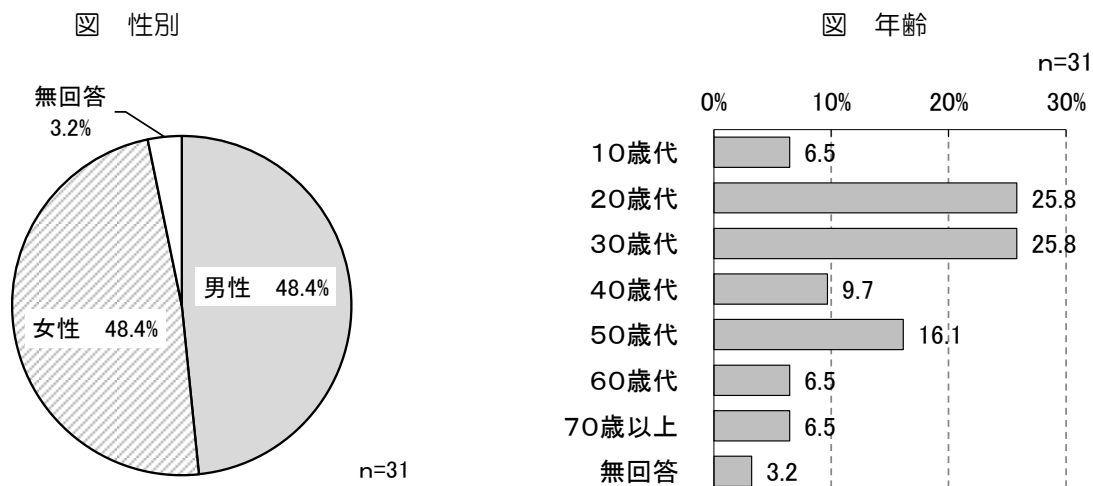
転出者アンケート
調査結果

回答者の属性

性別・年齢

問1. あなたの性別（1つに○）

問2. あなたの年齢（転出時点、1つに○）

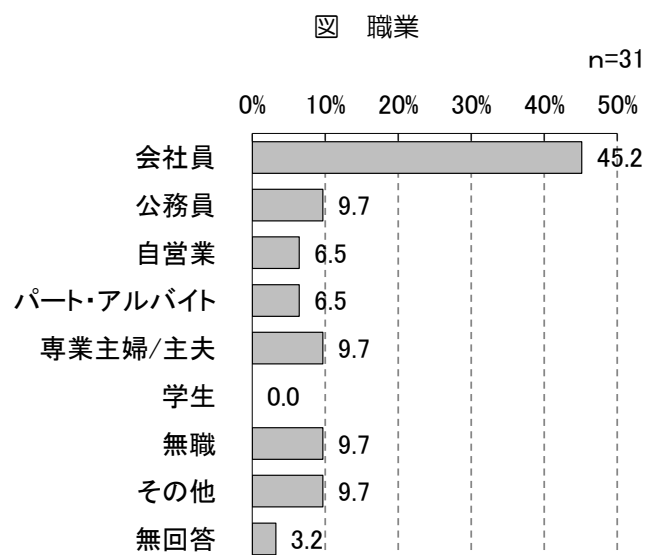


性別は「男性」が48.4%、「女性」が48.4%となっています。（図 性別）

年齢は「20歳代」及び「30歳代」が25.8%、「50歳代」が16.1%となっています。（図 年齢）

職業

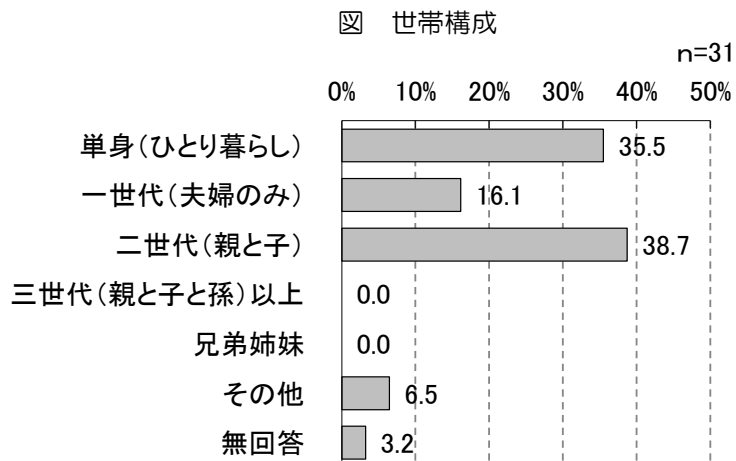
問3. あなたのご職業等（転出時点、1つに○）



職業は「会社員」が45.2%で最も多く、「公務員」、「専業主婦/主夫」、「無職」がそれぞれ9.7%となっています。

世帯構成

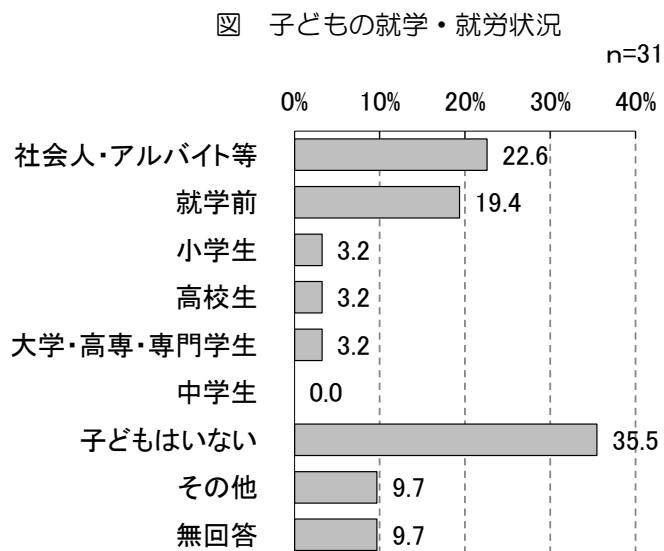
問4. 世帯の構成（転出時点、1つに○）



世帯構成は「二世代（親と子）」が 38.7%で最も多く、次いで「単身（ひとり暮らし）」が 35.5%、「一世代（夫婦のみ）」が 16.1%となっています。

子どもの就学・就労状況

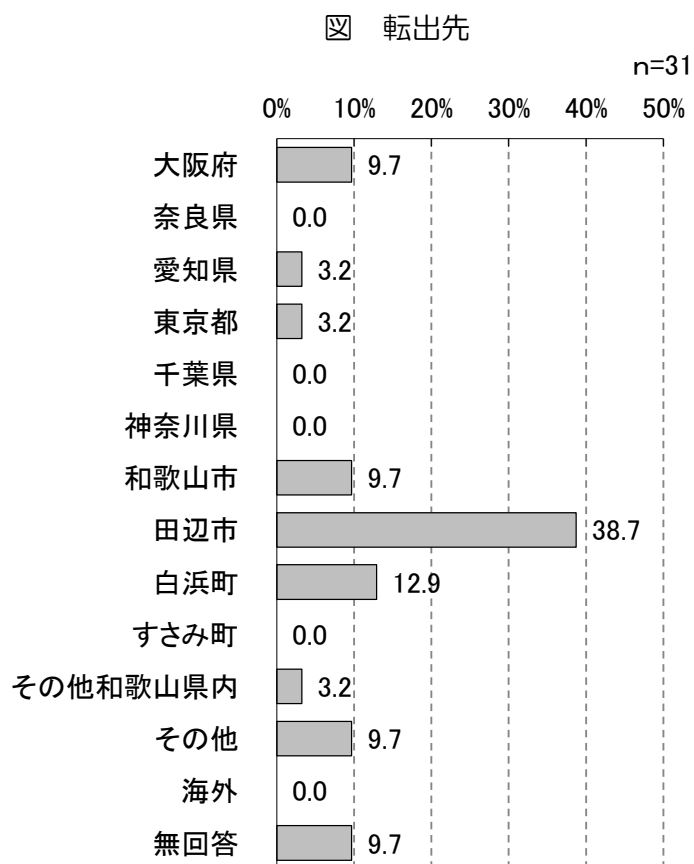
問5. お子さんの就学・就労状況は、次のどれにあてはまりますか。
（転出時点、あてはまるものすべてに○）



子どもの就学・就労状況は「社会人・アルバイト等」が 22.6%、「就学前」が 19.4%となっています。「子どもはいない」は 35.5%となっています。

転出先

問6. どちらへ転出されましたか。(あてはまるもの1つに○、または()に記入)



転出先は「田辺市」が38.7%で最も多く、次いで「白浜町」が12.9%、「大阪府」、「和歌山市」が9.7%となっています。

「その他和歌山県内」 橋本市/大塔村 など

() 内は回答者数

上富田町での居住形態・転出後の居住形態

問7. 上富田町でのあなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

問8. 転出後のあなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

図 上富田町での居住形態

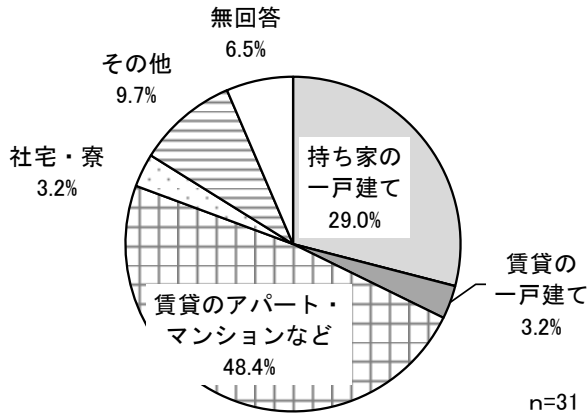
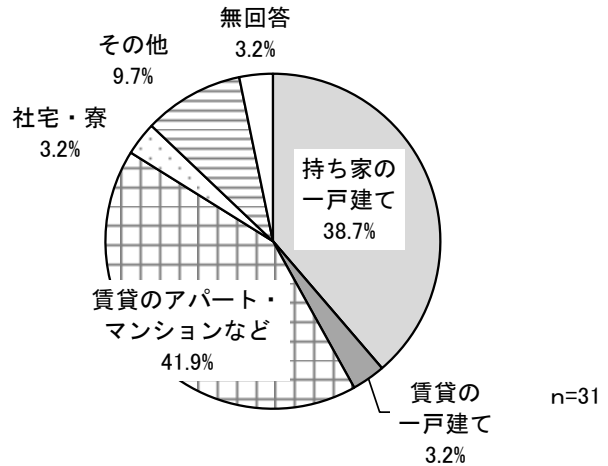


図 転出後の居住形態



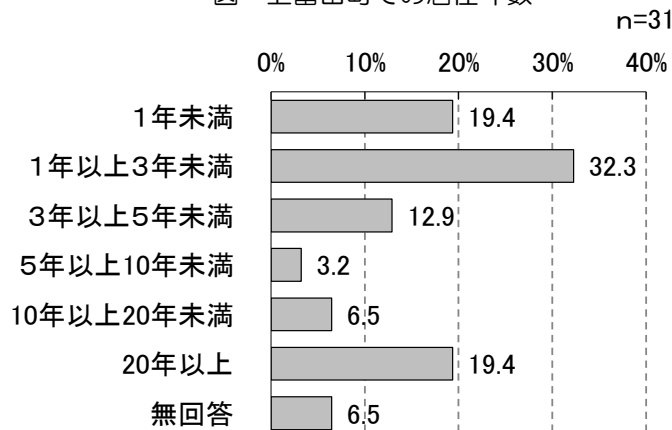
上富田町での居住形態は「賃貸のアパート・マンションなど」が48.4%で最も多く、次いで「持ち家の一戸建て」が29.0%、「その他」が9.7%となっています。(図 上富田町での居住形態)

転出後の居住形態は「賃貸のアパート・マンションなど」が41.9%で最も多く、次いで「持ち家の一戸建て」が38.7%、「その他」が9.7%となっています。(図 転出後の居住形態)

上富田町での居住年数

問9. 上富田町での居住年数は、何年でしたか。(通算の居住年数、1つに○)

図 上富田町での居住年数



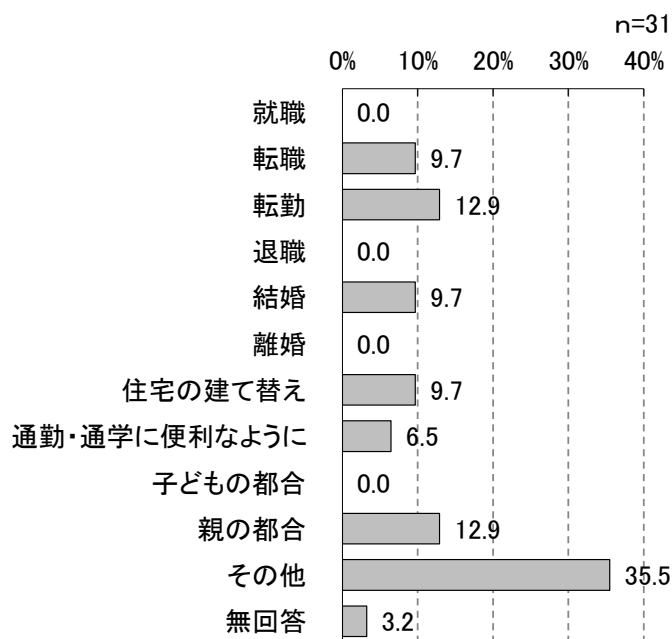
上富田町での居住年数は「1年以上3年未満」が32.3%で最も多く、次いで「1年未満」、「20年以上」が19.4%、「3年以上5年未満」が12.9%となっています。

転出の理由について

転出のきっかけ

問 10. 転出することになった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに○、または()に記入)

図 転出のきっかけ



転出のきっかけは「転勤」及び「親の都合」が12.9%、「転職」、「結婚」、「住宅の建て替え」がそれぞれ9.7%となっています。

「親の都合」の主な意見

子育て/介護の終了/親との同居など

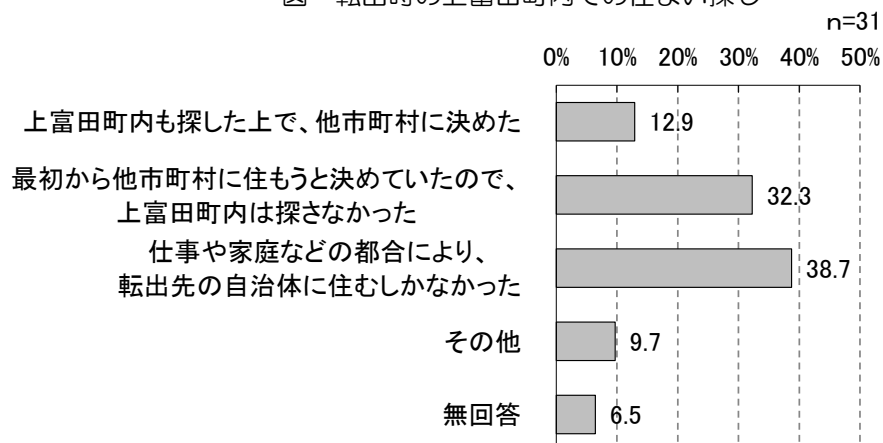
「その他」の主な意見

施設への入所、退所/貯蓄のためなど

転出時の上富田町内での住まい探し

問 11. 転出に際し、上富田町内でも住まいを探されましたか。(1つに○、または()に記入)

図 転出時の上富田町内での住まい探し



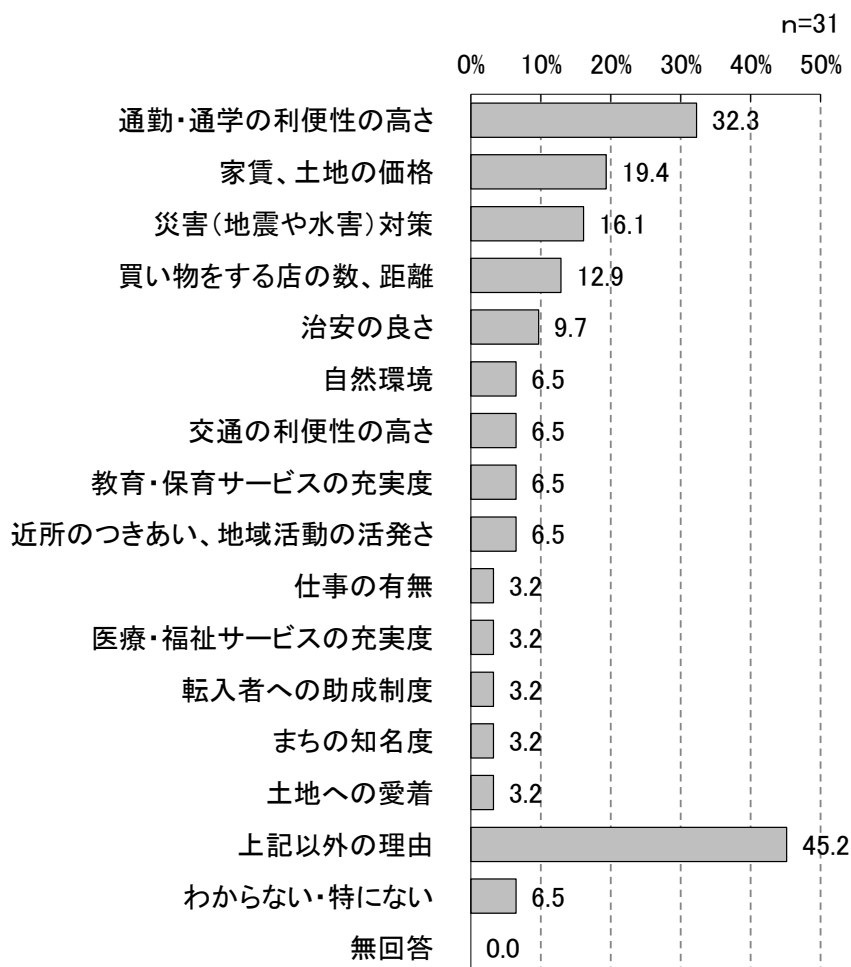
転出時の上富田町内での住まい探しは「仕事や家庭などの都合により、転出先の自治体に住むしかなかった」が38.7%で最も多く、次いで「最初から他市町村に住もうと決めていたので、上富田町内は探さなかった」が32.3%、「上富田町内も探した上で、他市町村に決めた」が12.9%となっています。

「その他」の主な意見 施設への入所/持家が有る など

住まいを決めた主な理由

問 12. 現在の住まいを決めた主な理由は何ですか。（3 つまでに○、または（ ）に記入）

図 住まいを決めた主な理由



住まいを決めた主な理由は「通勤・通学の利便性の高さ」が 32.3%、「家賃、土地の価格」が 19.4%、「災害（地震や水害）対策」が 16.1%、「買い物をする店の数、距離」が 12.9%となっています。

「上記以外の理由」の主な意見

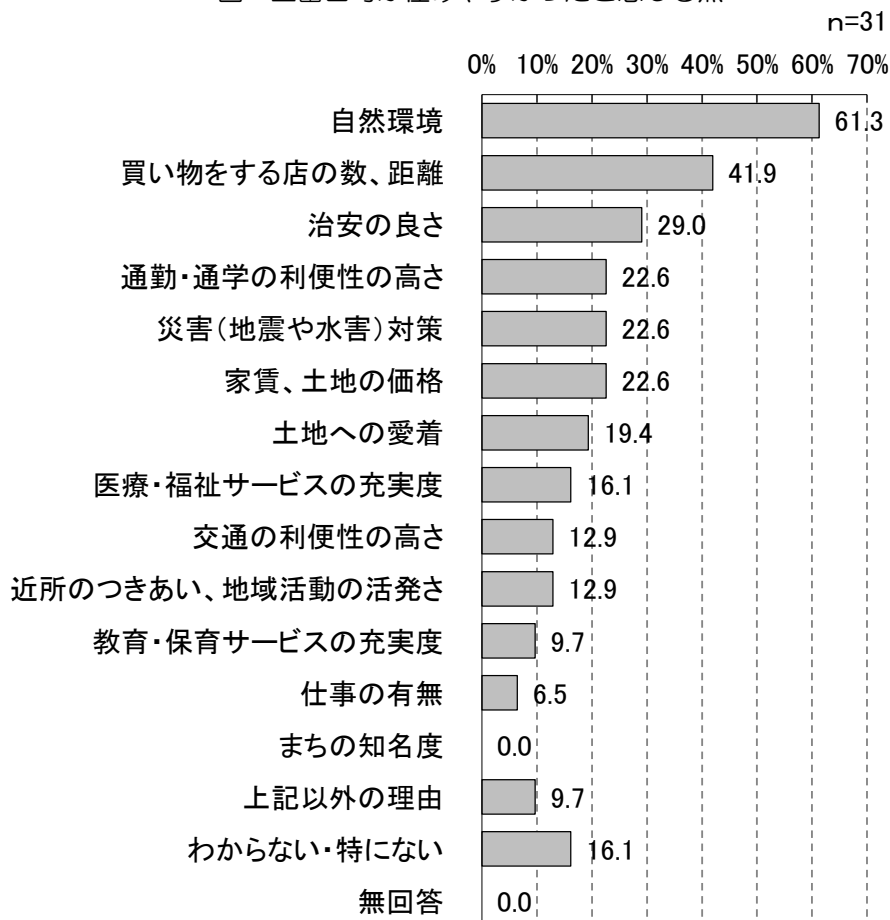
実家の近く/親との同居/駐車場がとめやすい/病院が近いから など

住みやすさについて

上富田町が住みやすかったと感じる点

問 13. 上富田町が住みやすかったと感じるのはどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町が住みやすかったと感じる点



上富田町が住みやすかったと感じる点は「自然環境」が61.3%で最も多く、次いで「買い物をする店の数、距離」が41.9%、「治安の良さ」が29.0%となっています。

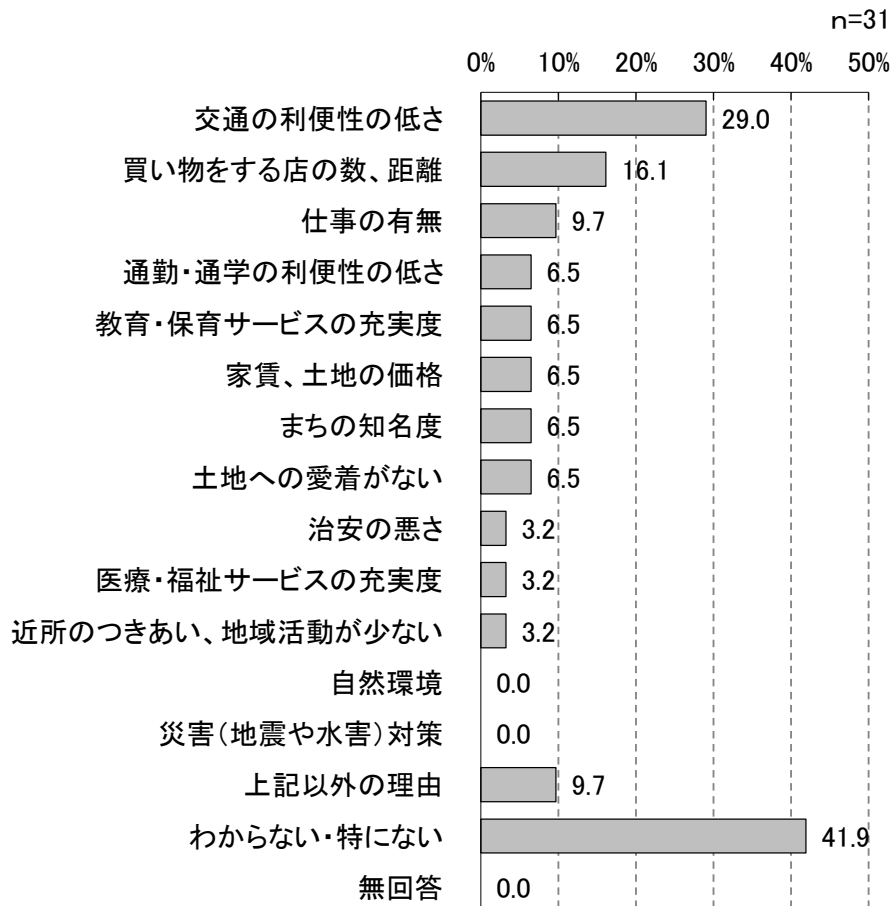
「上記以外の理由」の主な意見

高台/物価が安い など

上富田町が住みにくかったと感じる点

問 14. 上富田町が住みにくかったと感じるのはどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町が住みにくかったと感じる点



上富田町が住みにくかったと感じる点は「交通の利便性の低さ」が 29.0%、「買い物をする店の数、距離」が 16.1%、「仕事の有無」が 9.7%となっています。

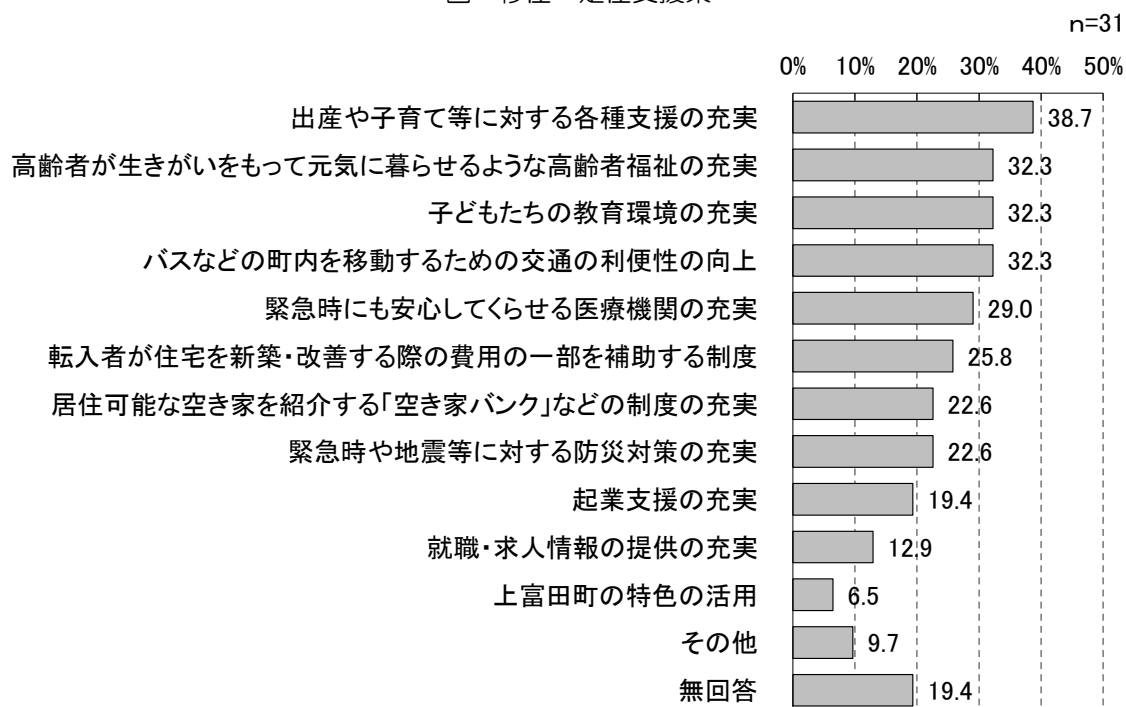
「上記以外の理由」の主な意見

駐車場が不便すぎる など

移住・定住支援策

問 15. 上富田町を住みやすいまちにするため、今後どのような移住・定住支援策に取り組んだらいいと思われますか。（あてはまるものすべてに○、または（ ）に記入）

図 移住・定住支援策



移住・定住支援策は「出産や子育て等に対する各種支援の充実」が 38.7%で最も多く、次いで「高齢者が生きがいをもって元気に暮らせるような高齢者福祉の充実」、「子どもたちの教育環境の充実」、「バスなどの町内を移動するための交通の利便性の向上」が 32.3%となっています。

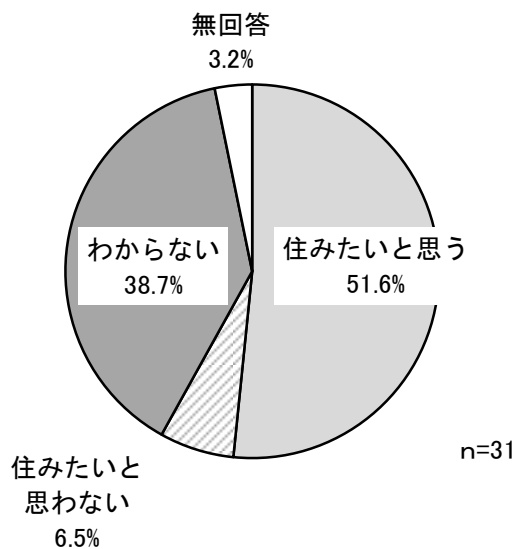
「その他」の自由意見

※報告書巻末に記載

上富田町への居留意向

問 16. また上富田町に住みたいと思いますか。(1つに○)

図 上富田町への居留意向



「住みたいと思う」が51.6%と「住みたいと思わない」の6.5%を大きく上回っています。「わからない」は38.7%となっています。

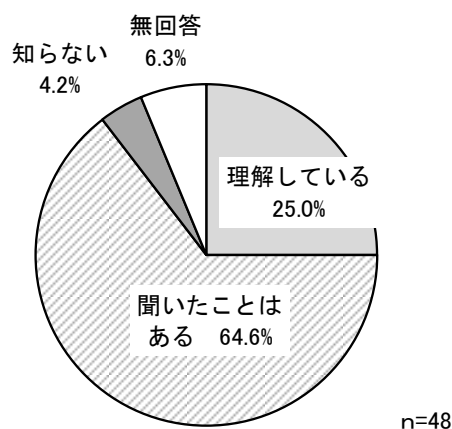
事業所
調査結果

「地方創生」について

「地方創生」の認知度

問1 「地方創生」とは何か、知っていますか。(1つに○)

図 「地方創生」の認知度

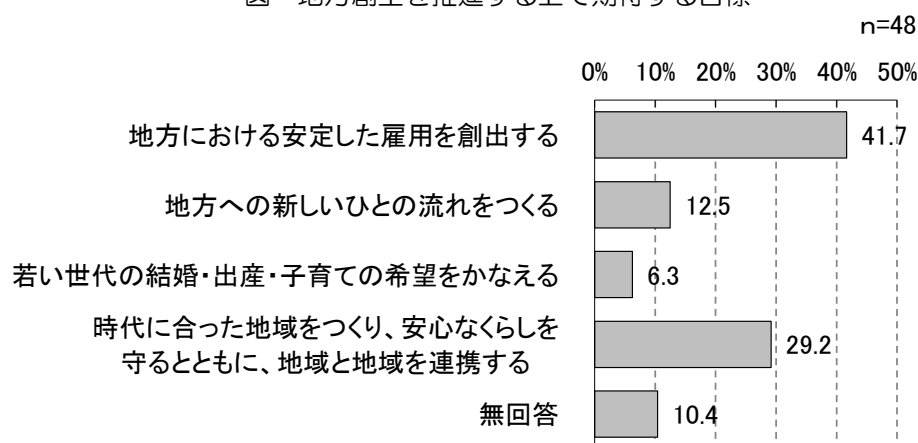


「地方創生」の認知度は「聞いたことはある」が64.6%で最も多く、次いで「理解している」が25.0%、「知らない」が4.2%となっています。

地方創生を推進する上で期待する目標

問2 国は、地方創生を推進する上で、4つの目標を立てています。貴社・貴事業所（以下「貴事業所」といいます。）が最も期待する目標は何ですか。（1つに○）

図 地方創生を推進する上で期待する目標



地方創生を推進する上で期待する目標は「地方における安定した雇用を創出する」が41.7%で最も多く、次いで「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」が29.2%、「地方への新しいひとの流れをつくる」が12.5%、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が6.3%となっています。

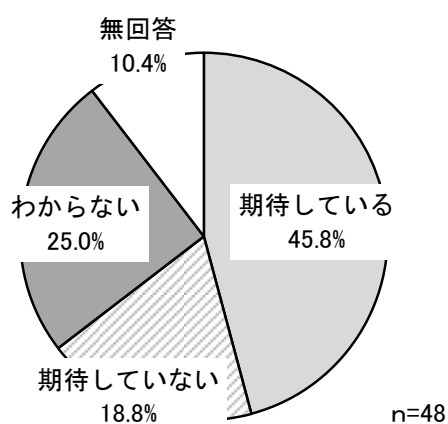
問3 問2でうかがったことについて、具体的に国や町が進めるべきだと思う施策があれば記入してください。（ご自由に記入してください）

※報告書巻末に記載

「地方創生」による業績向上への期待

問4 国の施策「地方創生」により、貴事業所の業績の向上などを期待していますか。（1つに○）

図 「地方創生」による業績向上への期待

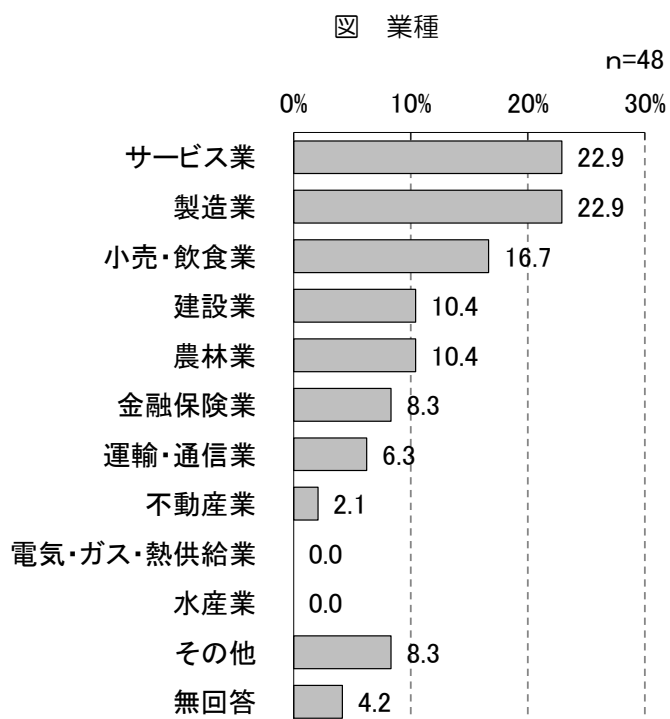


「地方創生」による業績向上への期待は「期待している」が45.8%と「期待していない」の18.8%を上回っています。「わからない」は25.0%となっています。

貴事業所の現状について

業種

問5 貴事業所の業種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



業種は「サービス業」及び「製造業」が 22.9%、「小売・飲食業」が 16.7%、「建設業」、「農林業」が 10.4%となっています。

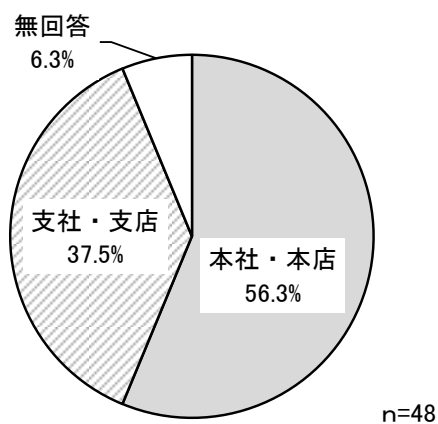
「その他」の主な回答

社会福祉事業/医療/農業協同組合 など

事業所の位置づけ

問6 貴事業所の位置づけは何ですか。(1つに○)

図 事業所の位置づけ

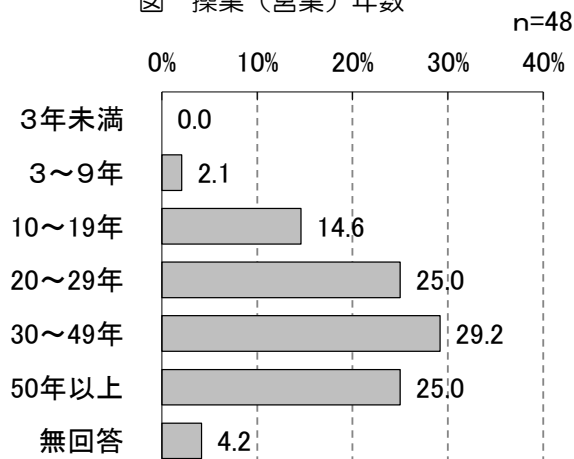


事業所の位置づけは「本社・本店」が56.3%、「支社・支店」が37.5%となっています。

操業（営業）年数

問7 貴事業所の上富田町での操業（営業）年数（通算）は次のうちどれにあてはまりますか。
(1つに○)

図 操業（営業）年数



操業（営業）年数は「30～49年」が29.2%で最も多く、次いで「20～29年」、「50年以上」が25.0%となっています。

現在の景況感・1年後の景況の予測

問8 実感でお聞かせください。1年前と比べた、現在の景況感であてはまるものを選んでください。
(1つに○)

問9 これから先1年後について、景況の予測であてはまるものを選んでください。(1つに○)

図 現在の景況感

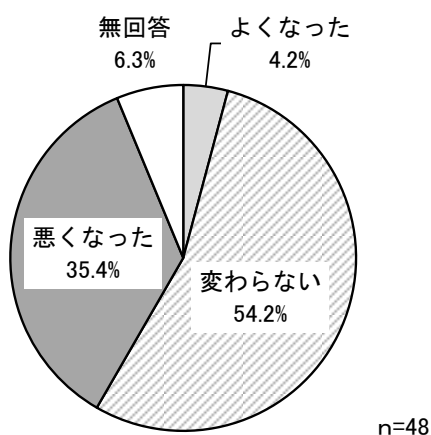
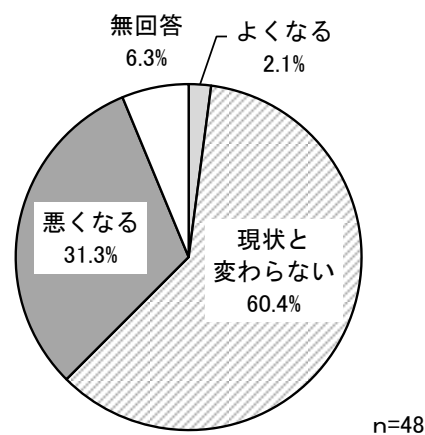


図 1年後の景況の予測



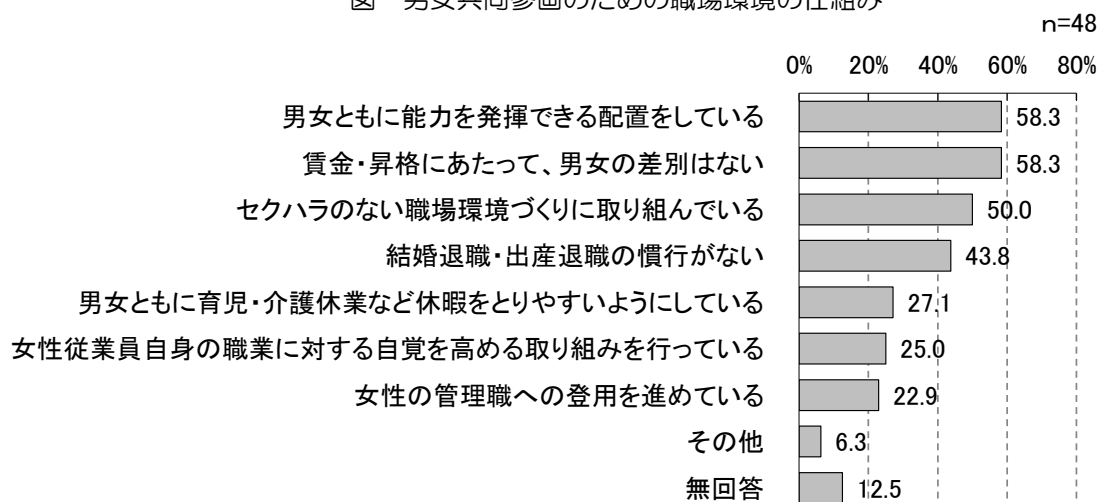
現在の景況感は「変わらない」が54.2%で最も多く、次いで「悪くなった」が35.4%、「よくなった」が4.2%となっています。(図 現在の景況感)

1年後の景況の予測は「現状と変わらない」が60.4%で最も多く、次いで「悪くなる」が31.3%、「よくなる」が2.1%となっています。(図 1年後の景況の予測)

男女共同参画のための職場環境の仕組み

問10 貴事業所に、以下のような男女共同参画のための職場環境の仕組みがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図 男女共同参画のための職場環境の仕組み



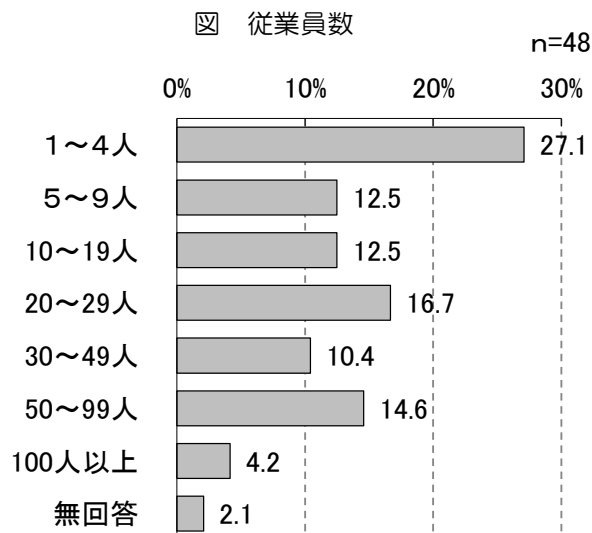
男女共同参画のための職場環境の仕組みは「男女ともに能力を発揮できる配置をしている」及び「賃金・昇格にあたって、男女の差別はない」が58.3%、「セクハラのない職場環境づくりに取り組んでいる」が50.0%となっています。

「その他」の主な意見 性による特別扱いをしない事が重要だと思う など

貴事業所の従業員について

従業員数

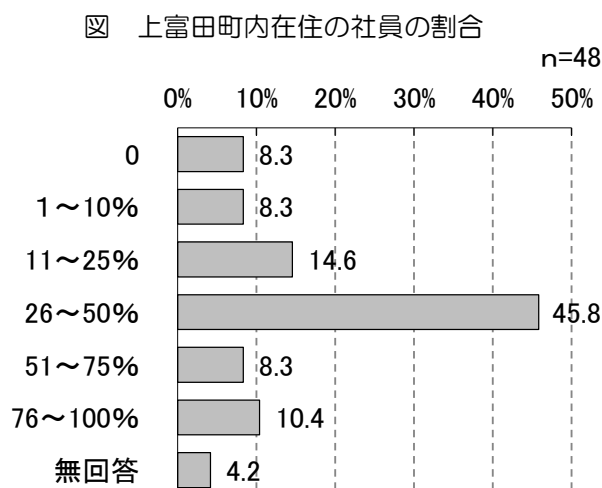
問 11 貴事業所の従業員数（パート・アルバイト等を含む）は次のうちどれにあてはまりますか。
（1つに○）



従業員数は「1～4人」が27.1%で最も多く、次いで「20～29人」が16.7%、「50～99人」が14.6%となっています。

上富田町内在住の社員の割合

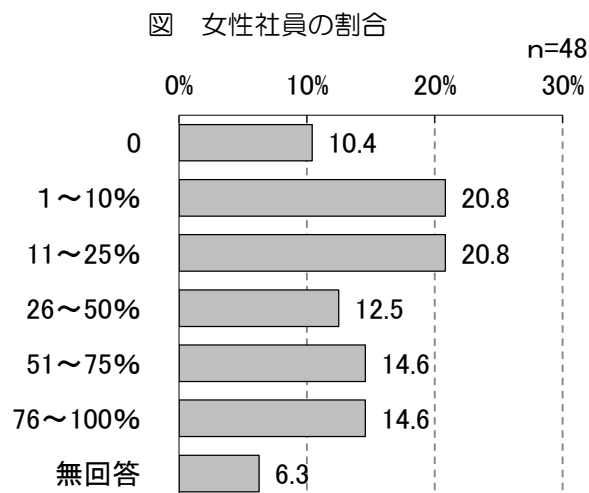
問 12 貴事業所の全従業員の中で、上富田町内在住の社員（パート・アルバイト等を含む）の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）



上富田町内在住の社員の割合は「26～50%」が45.8%で最も多く、次いで「11～25%」が14.6%、「76～100%」が10.4%となっています。

女性社員の割合

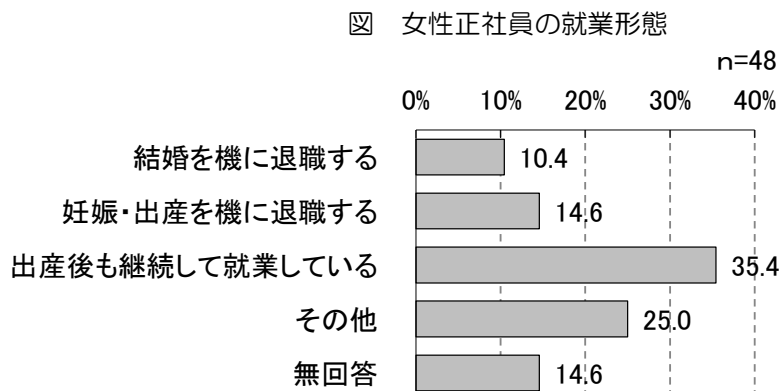
問 13 貴事業所の全従業員の中で、女性社員（パート・アルバイト等を含む）の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）



女性社員の割合は「1～10%」及び「11～25%」が 20.8%、「51～75%」、「76～100%」が 14.6%、「26～50%」が 12.5%となっています。

女性正社員の就業形態

問 14 貴事業所の女性正社員は、どのようなパターンが最も多いですか。（1つに○）



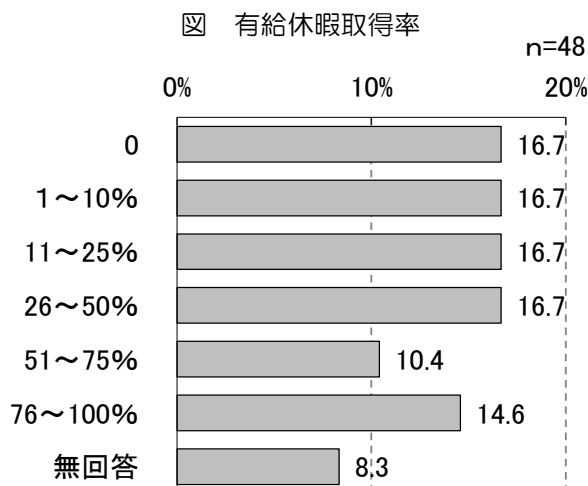
女性正社員の就業形態は「出産後も継続して就業している」が 35.4%で最も多く、「妊娠・出産を機に退職する」が 14.6%、「結婚を機に退職する」が 10.4%となっています。

「その他」の主な意見

転職/自己都合 など

有給休暇取得率

問 15 貴事業所の有給休暇取得率は次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

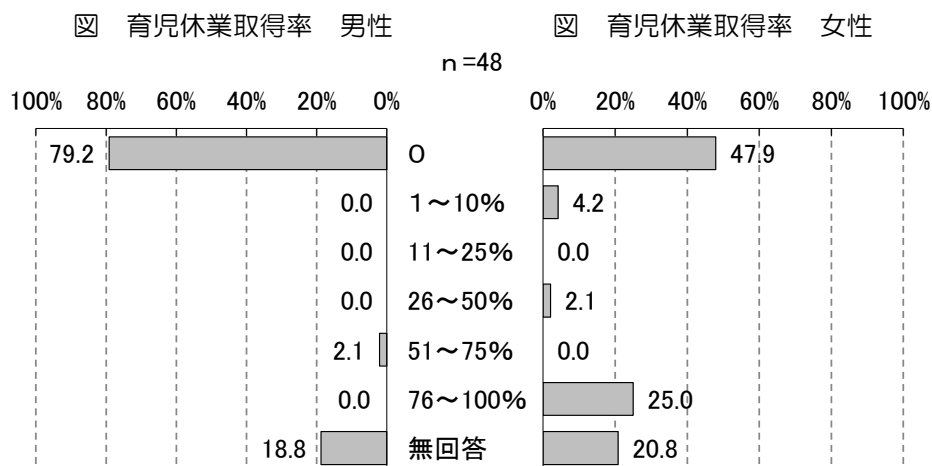


有給休暇取得率は「0」、「1～10%」、「11～25%」、「26～50%」がそれぞれ16.7%となっています。

育児休業取得率

問 16 貴事業所における男性・女性の育児休業取得率はおおよそ何%ですか。

(数字でご記入ください。※整数でお答えください)



男性の育児休業取得率は「0」が79.2%で最も多く、「51～75%」が2.1%となっています。

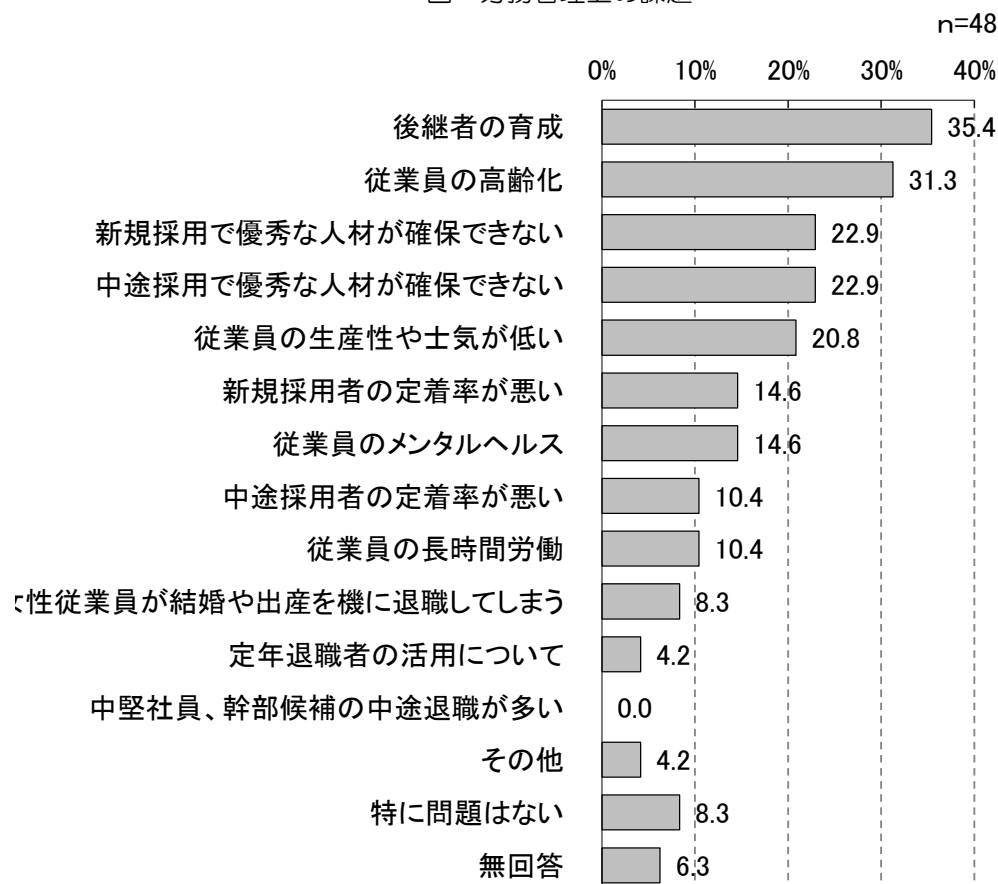
(図 育児休業取得率 男性)

女性の育児休業取得率は「0」が47.9%で最も多く、次いで「76～100%」が25.0%、「1～10%」が4.2%となっています。(図 育児休業取得率 女性)

労務管理上の課題

問 17 貴事業所では日ごろ労務管理上どのようなことが課題としてありますか。(3つまでに○)

図 労務管理上の課題



労務管理上の課題は「後継者の育成」が 35.4%で最も多く、次いで「従業員の高齢化」が 31.3%、「新規採用で優秀な人材が確保できない」及び「中途採用で優秀な人材が確保できない」が 22.9%、「従業員の生産性や士気が低い」が 20.8%となっています。

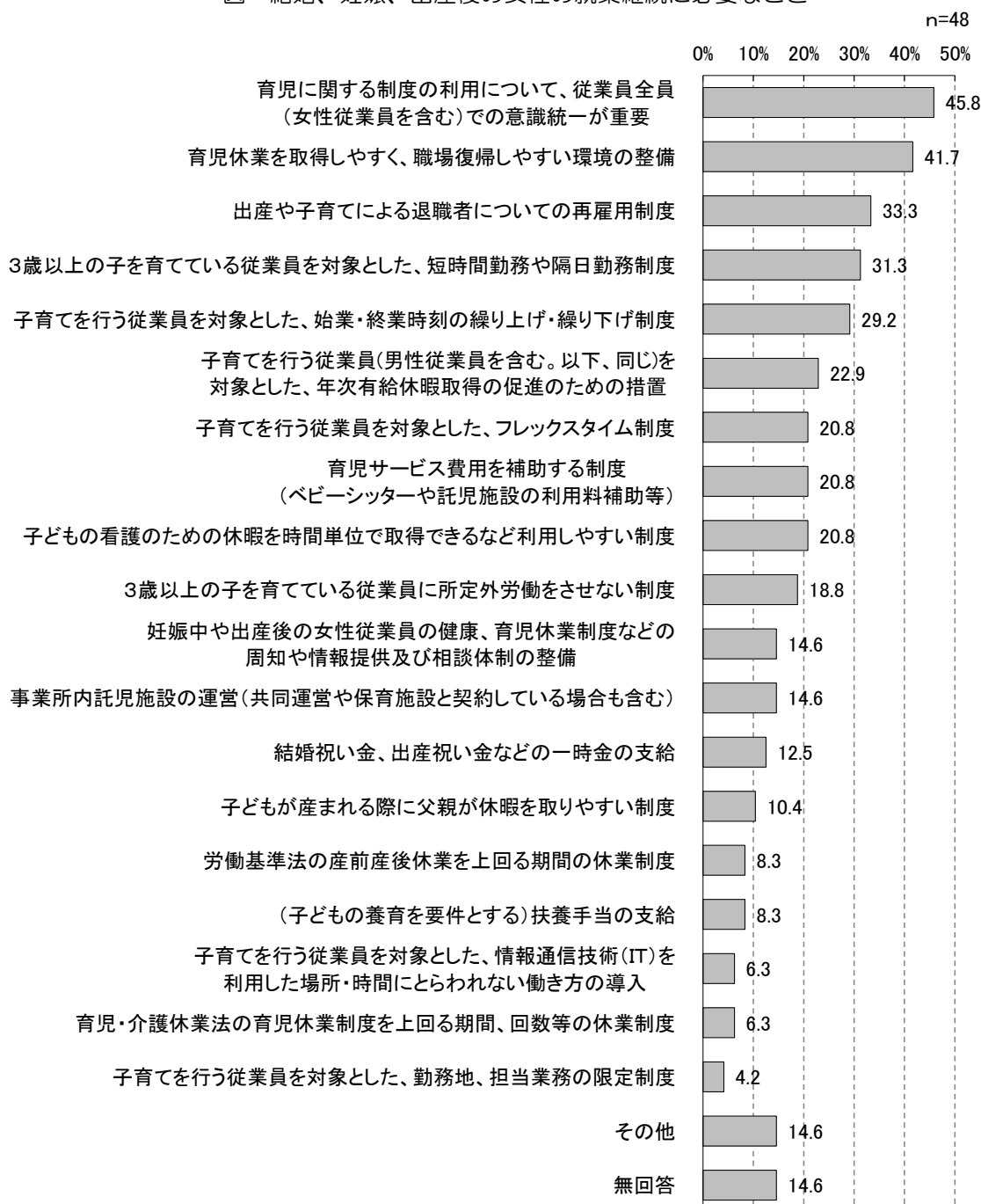
「その他」の主な意見

看護・介護の有資格者の採用が困難/人材育成に掛ける時間を取りづらくなっている
など

結婚、妊娠、出産後の女性の就業継続に必要なこと

問 18 結婚、妊娠、出産後も継続して女性が働くためにどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図 結婚、妊娠、出産後の女性の就業継続に必要なこと



結婚、妊娠、出産後の女性の就業継続に必要なことは「育児に関する制度の利用について、従業員全員（女性従業員を含む）での意識統一が重要」が45.8%で最も多く、次いで「育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備」が41.7%、「出産や子育てによる退職者についての再雇用制度」が33.3%となっています。

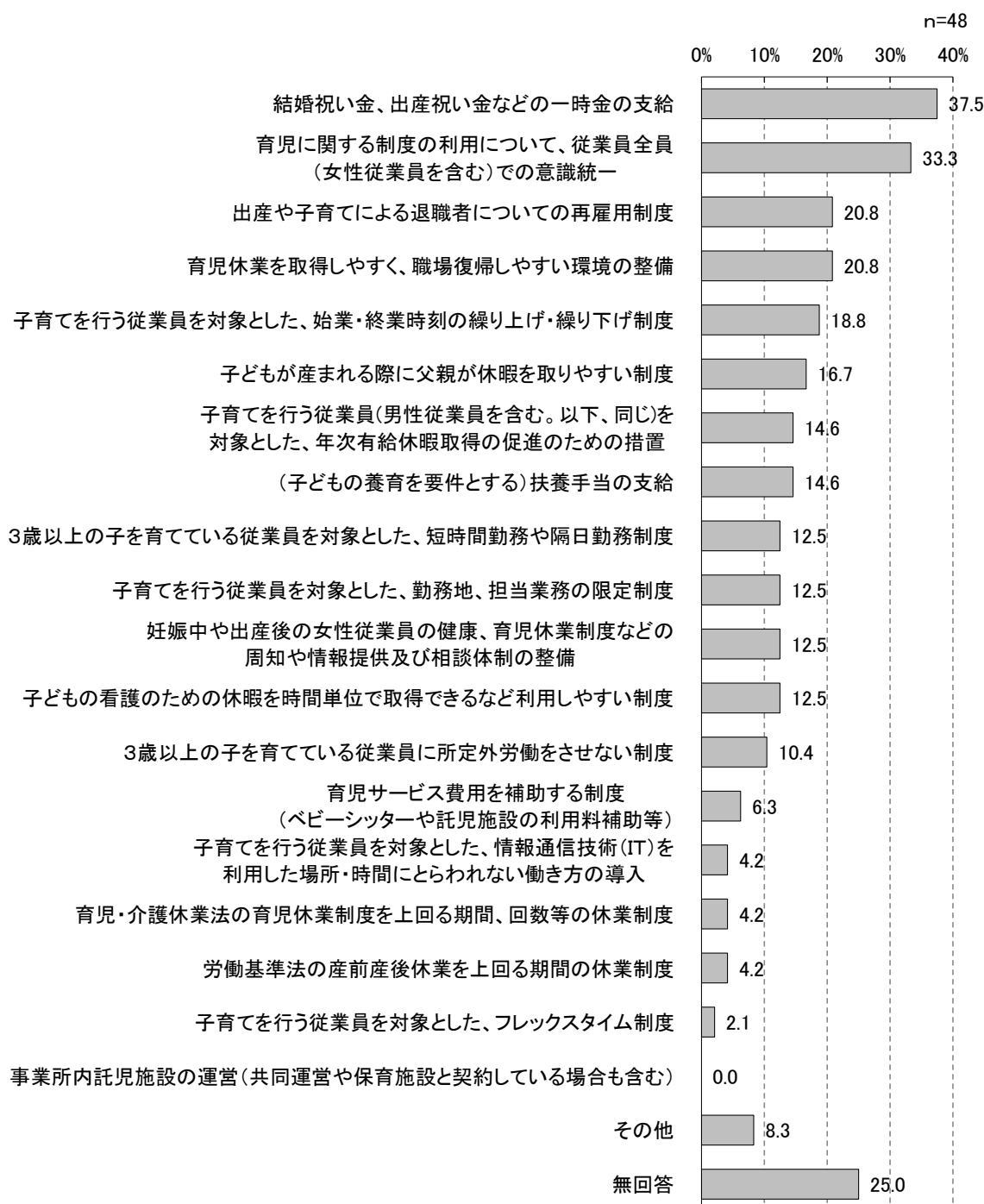
「その他」の主な意見

育児休業中の人材確保/保育園の体制をよくする(時間・定員)/保育所等に子どもをあずけて仕事をしやすい行政制度の充実/病児をあずけられる施設（保育所に医療従事者の配置等） など

実施している子育て支援策

問 19 若い従業員に対する子育て支援策として、実施されているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 実施している子育て支援策



実施している子育て支援策は「結婚祝い金、出産祝い金などの一時金の支給」が 37.5%で最も多く、次いで「育児に関する制度の利用について、従業員全員（女性従業員を含む）での意識統一」が 33.3%、「出産や子育てによる退職者についての再雇用制度」及び「育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備」が 20.8%となっています。

正規雇用での新規採用の有無・正規雇用での新規採用の女性の人数

問 20 過去5年間に、正規雇用の従業員の新規採用はありましたか。

【問 20 で、「0人」以外を選択した方にうかがいます】

問 21 過去5年間の正規雇用の従業員採用者のうち、女性は何人ですか。

図 正規雇用での新規採用の有無

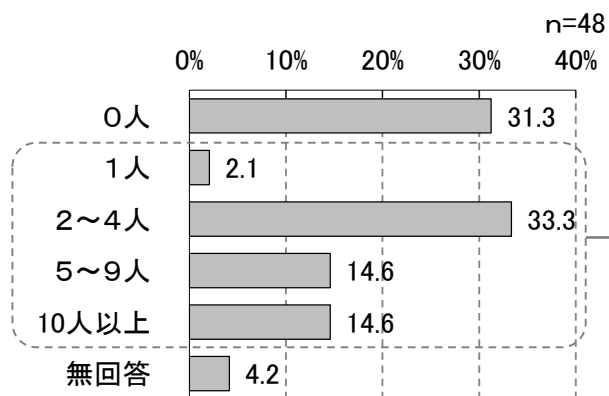
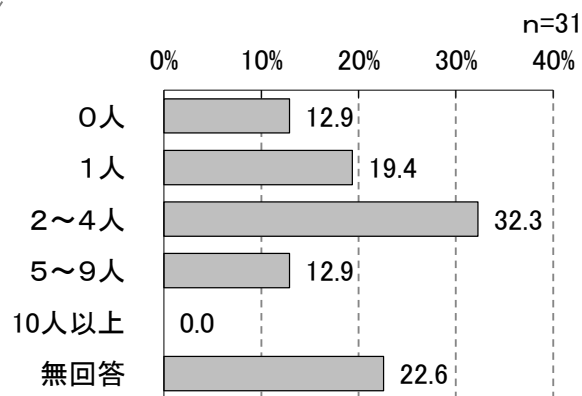


図 正規雇用での新規採用のうち女性の人数



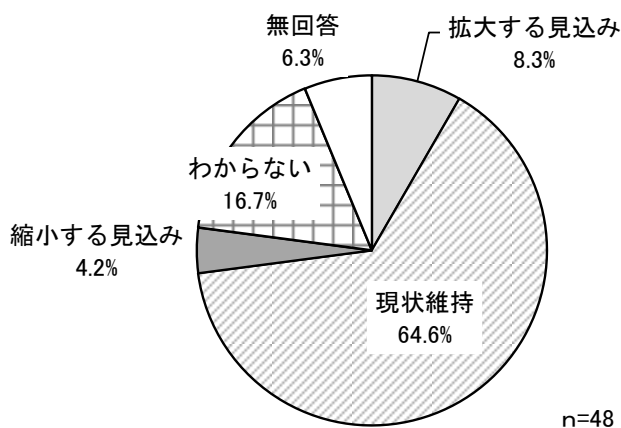
正規雇用での新規採用の有無は「2～4人」が33.3%で最も多く、次いで「0人」が31.3%、「5～9人」、「10人以上」が14.6%となっています。（図 正規雇用での新規採用の有無）
 正規雇用での新規採用があると回答した方にそのうちの女性の人数をたずねたところ、「2～4人」が32.3%で最も多く、次いで「1人」が19.4%、「0人」、「5～9人」が12.9%となっています。（図 正規雇用での新規採用のうち女性の人数）

貴事業所の今後の意向について

今後の事業規模の見込み

問 22 今後の事業規模の見込みを教えてください。(1つに○)

図 今後の事業規模の見込み



今後の事業規模の見込みは「現状維持」が 64.6%で最も多く、「拡大する見込み」が 8.3%、「縮小する見込み」が 4.2%、「わからない」が 16.7%となっています。

正規職員の募集予定・非正規職員の募集予定

問 23 貴事業所で1年間以内に正規職員を募集する予定はありますか。(1つに○)

問 24 貴事業所で1年間以内に非正規職員を募集する予定はありますか。(1つに○)

図 正規職員の募集予定

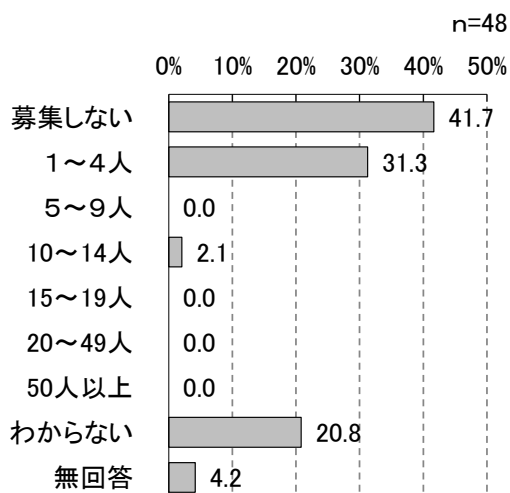
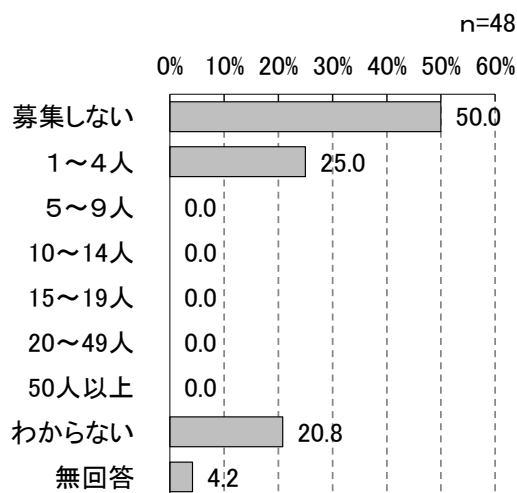


図 非正規職員の募集予定



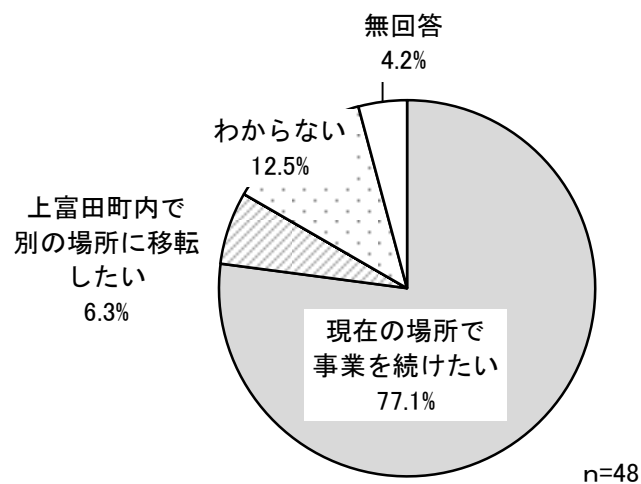
正規職員の募集予定は「募集しない」が 41.7%で最も多く、次いで「1～4人」が 31.3%、「わからない」が 20.8%となっています。(図 正規職員募集の予定)

非正規職員の募集予定は「募集しない」が 50.0%で最も多く、次いで「1～4人」が 25.0%、「わからない」が 20.8%となっています。(図 非正規職員の募集予定)

現在の場所での事業継続の意向

問 25 今後も現在の場所で事業を続けたいと思われませんか。(1つに○)

図 現在の場所での事業継続の意向

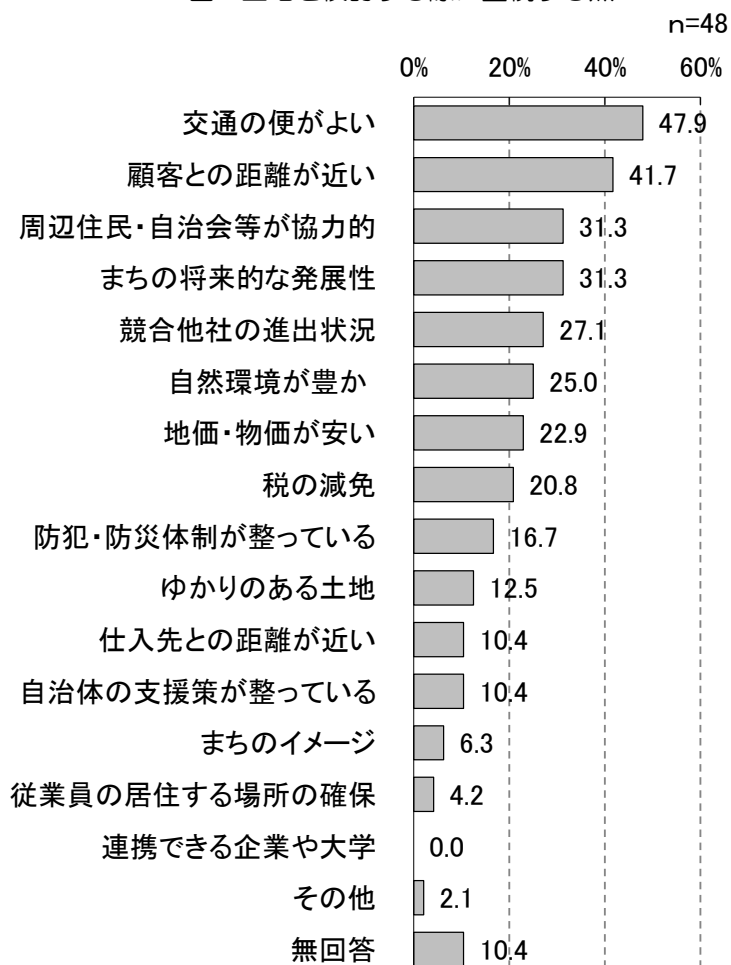


現在の場所での事業継続の意向は「現在の場所で事業を続けたい」が77.1%で最も多く、「上富田町内で別の場所に移転したい」が6.3%、「わからない」が12.5%となっています。

立地を検討する際に重視する点

問 26 貴事業所が拠点の立地を検討する際に重視する点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 立地を検討する際に重視する点



立地を検討する際に重視する点は「交通の便がよい」が 47.9%で最も多く、次いで「顧客との距離が近い」が 41.7%、「周辺住民・自治会等が協力的」、「まちの将来的な発展性」が 31.3%となっています。

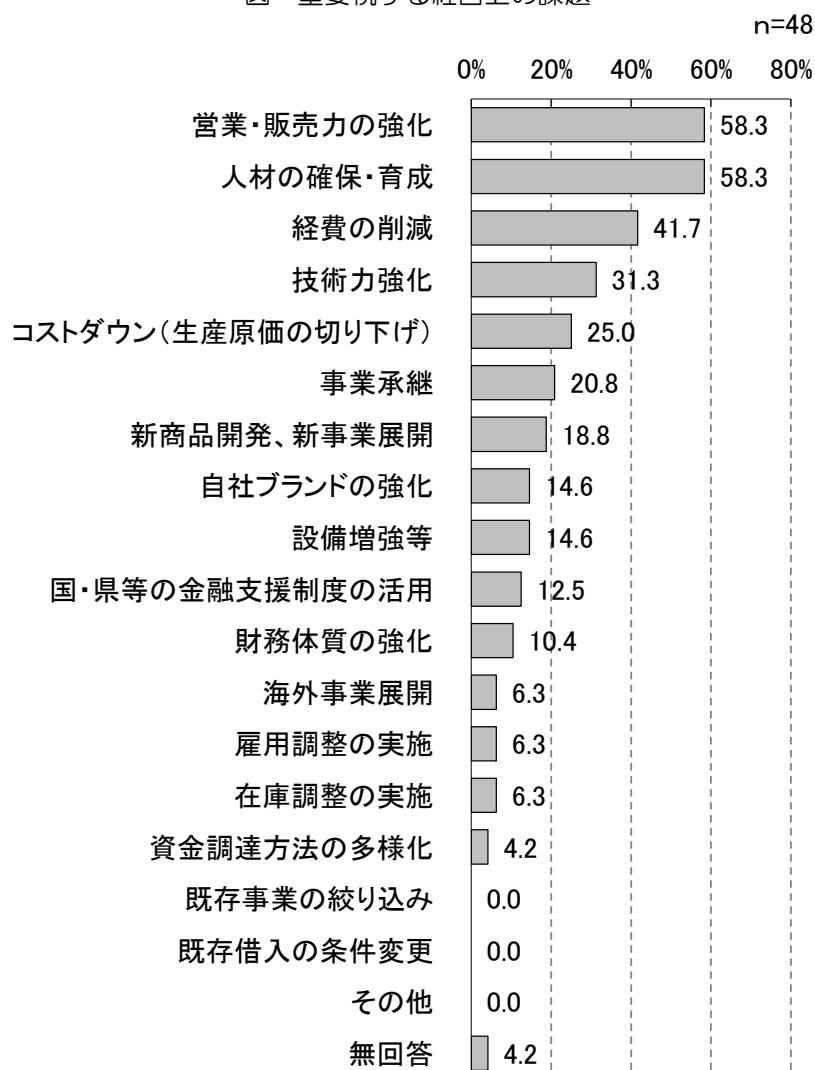
「その他」の主な意見

水源などのインフラ整備 など

重要視する経営上の課題

問 27 今後、貴事業所が重要視する経営上の課題は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 重要視する経営上の課題



重要視する経営上の課題は「営業・販売力の強化」及び「人材の確保・育成」が 58.3%、「経費の削減」が 41.7%となっています。

生産・技術連携の有無、連携の相手先

問 28 生産・技術連携（産学連携・産産連携）について行っていますか。（1 つに○）

【問 28 で、「連携している」を選択した事業所にうかがいます。】

問 28-1 生産・技術連携（産学連携・産産連携）を行っている場合、相手先はどこですか（1 つに○）

図 生産・技術連携の有無

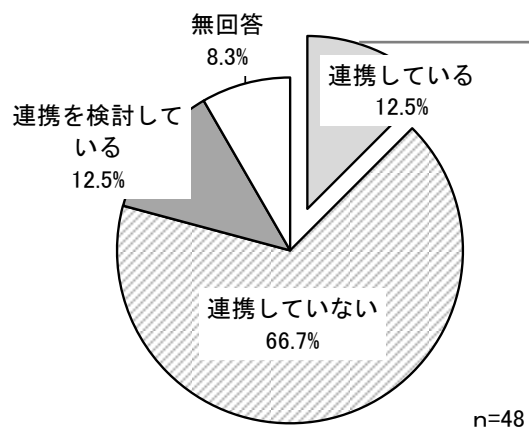
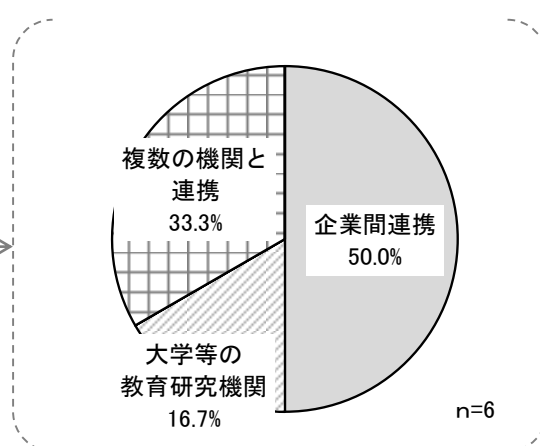


図 連携の相手先



生産・技術連携の有無は「連携している」が 12.5%、「連携していない」が 66.7%、「連携を検討している」が 12.5%となっています。（図 生産・技術連携の有無）

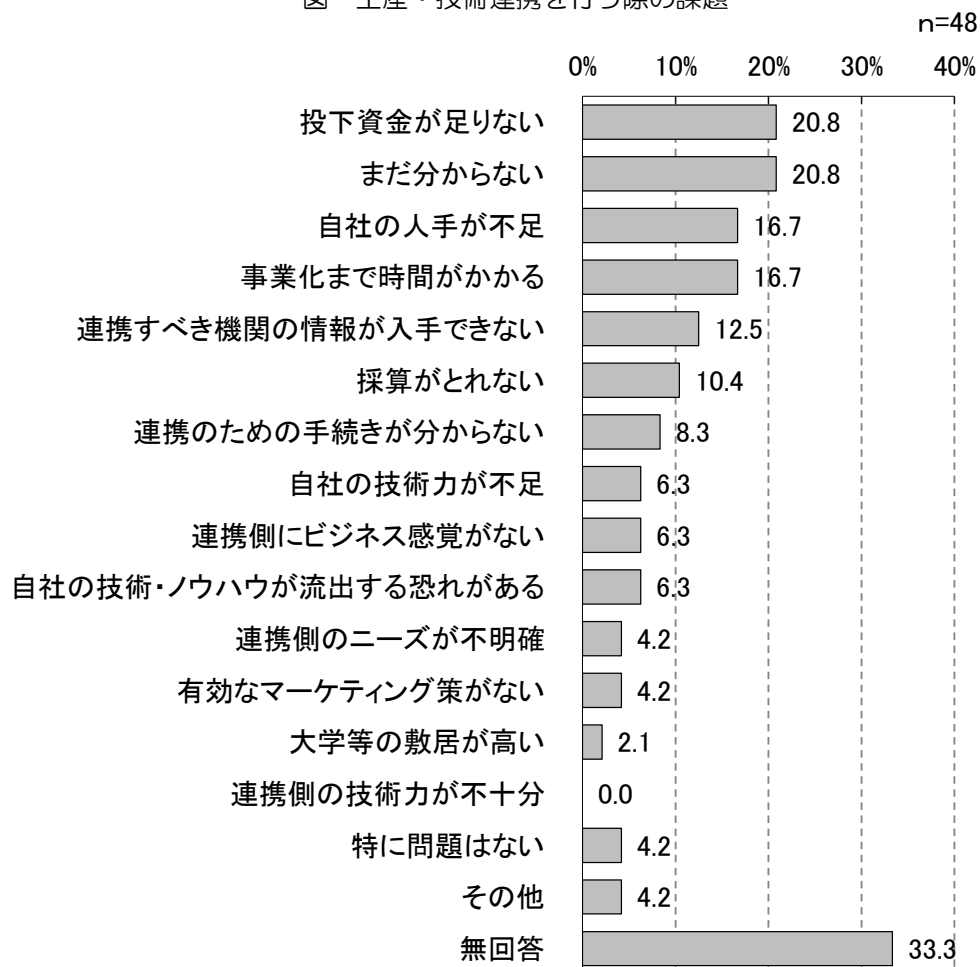
連携していると回答した方に連携の相手先をたずねたところ、「企業間連携」が 50.0%で最も多く、次いで「複数の機関と連携」が 33.3%、「大学等の教育研究機関」が 16.7%となっています。

（図 連携の相手先）

生産・技術連携を行う際の課題

問 29 今後、貴事業所が生産・技術連携（産学連携・産産連携）を行う場合、課題となることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 生産・技術連携を行う際の課題



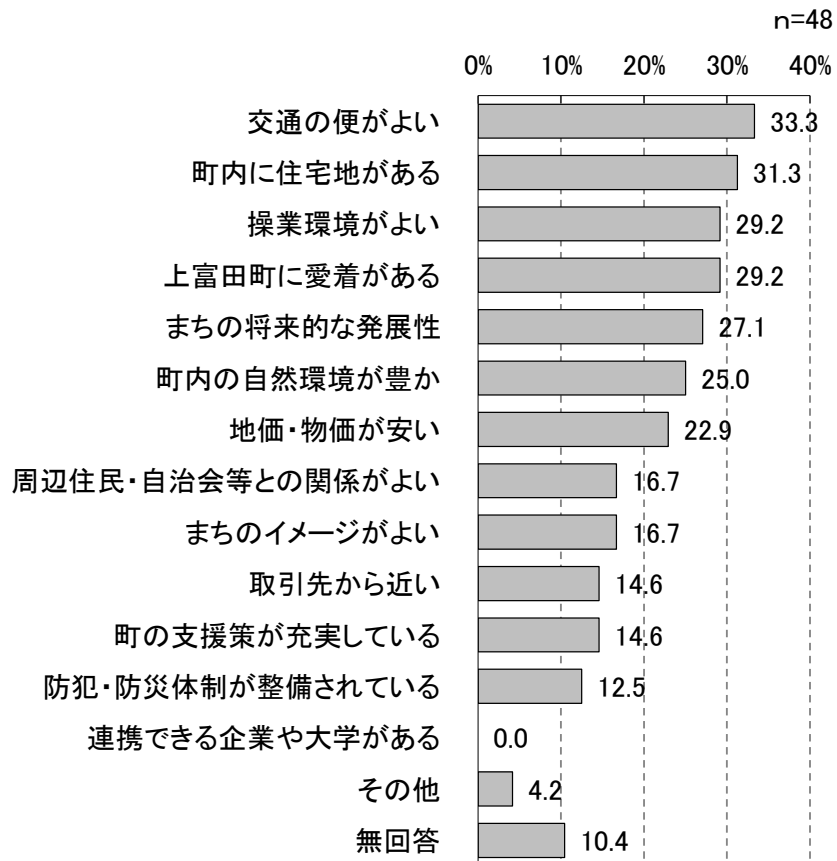
生産・技術連携を行う際の課題は「投下資金が足りない」及び「まだ分らない」が20.8%、「自社の人手が不足」、「事業化まで時間がかかる」が16.7%、「連携すべき機関の情報が入手できない」が12.5%となっています。

上富田町について

上富田町がよいと思う点

問 30 上富田町で事業を続ける中で、上富田町がよいと思う点は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町がよいと思う点



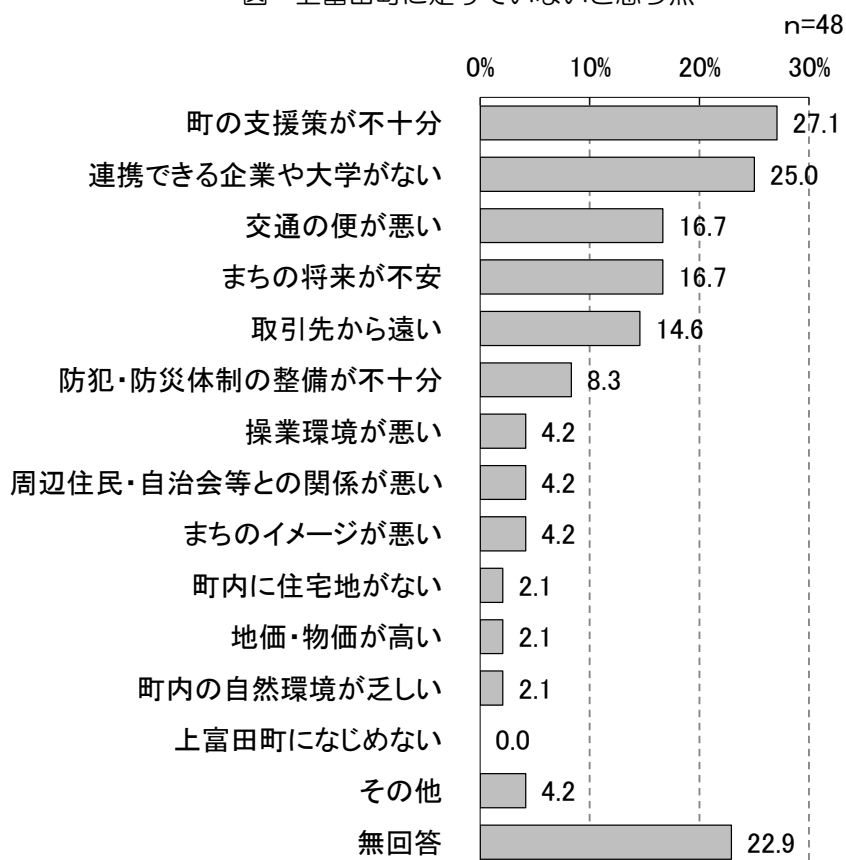
上富田町がよいと思う点は「交通の便がよい」が 33.3%で最も多く、次いで「町内に住宅地がある」が 31.3%、「操業環境がよい」、「上富田町に愛着がある」が 29.2%、「まちの将来的な発展性」が 27.1%となっています。

※自由記入は報告書巻末に記載

上富田町に足りていないと思う点

問 31 上富田町で事業を続ける中で、上富田町に足りていないと思う点は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図 上富田町に足りていないと思う点



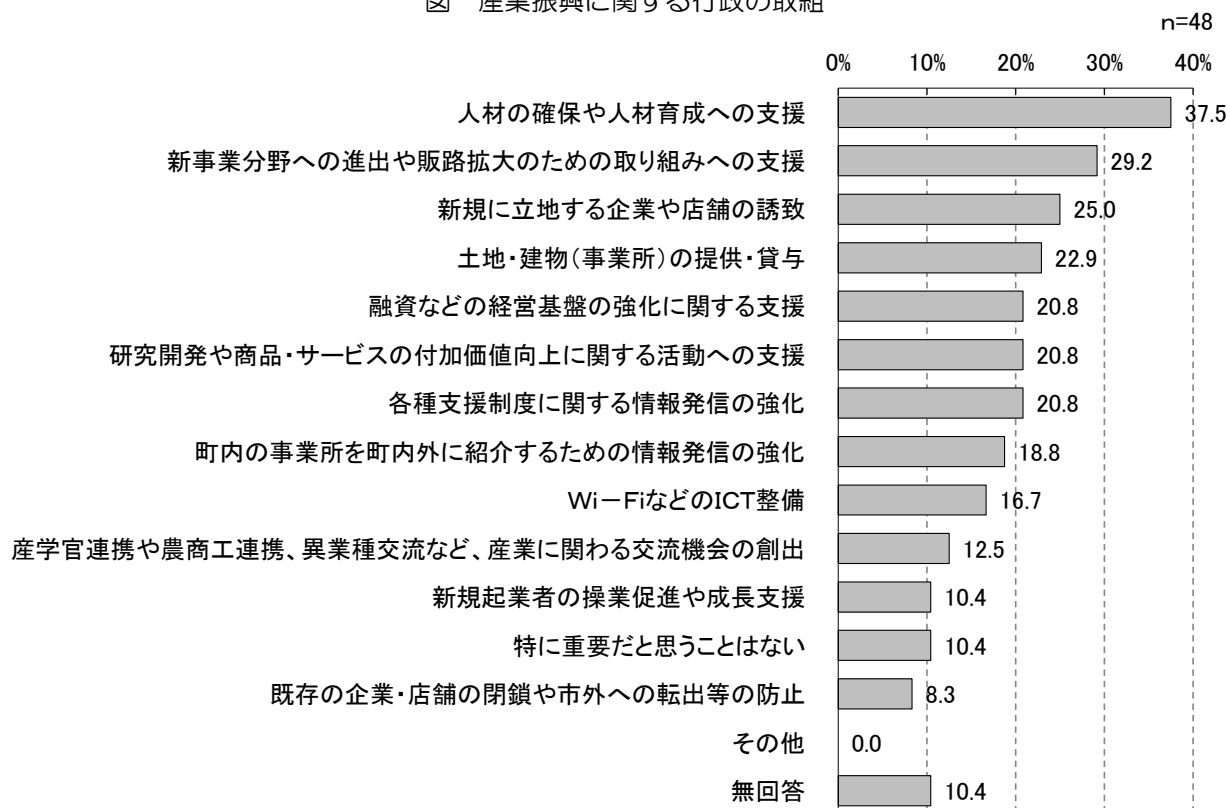
上富田町に足りていないと思う点は「町の支援策が不十分」が27.1%で最も多く、次いで「連携できる企業や大学がない」が25.0%、「交通の便が悪い」、「まちの将来が不安」が16.7%、「取引先から遠い」が14.6%となっています。

※自由記入は報告書巻末に記載

産業振興に関する行政の取組

問 32 産業振興に関する行政の取組について、貴事業所が最も重要だと考えるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

図 産業振興に関する行政の取組



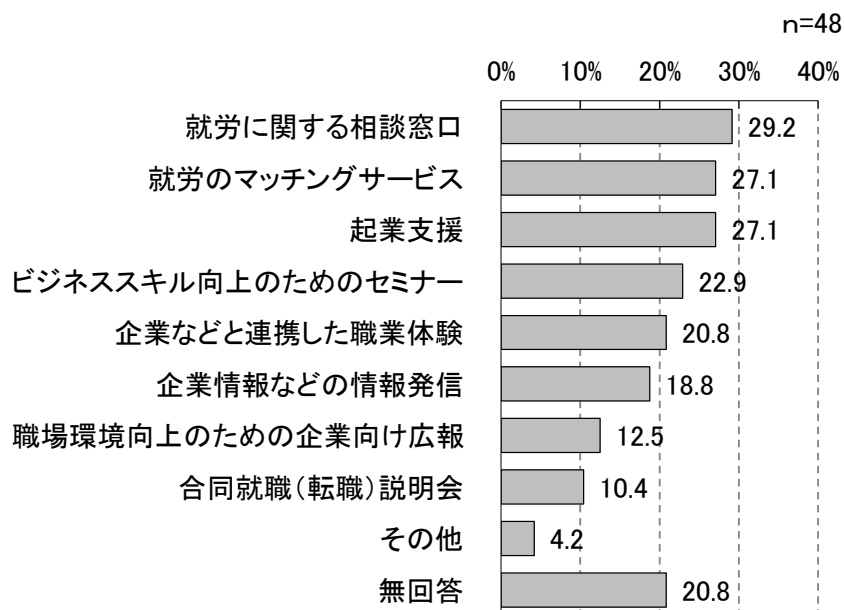
産業振興に関する行政の取組は「人材の確保や人材育成への支援」が37.5%で最も多く、次いで「新事業分野への進出や販路拡大のための取り組みへの支援」が29.2%、「新規に立地する企業や店舗の誘致」が25.0%、「土地・建物（事業所）の提供・貸与」が22.9%となっています。

※自由記入は報告書巻末に記載

就労機会の向上に必要な行政サービス

問 33 上富田町で就労機会の向上等に向けて、次の行政サービスのうち、必要だと考えるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

図 就労機会の向上に必要な行政サービス



就労機会の向上に必要な行政サービスは「就労に関する相談窓口」が 29.2%で最も多く、次いで「就労のマッチングサービス」、「起業支援」が 27.1%となっています。

「その他」の主な意見

就労場所の増加対策/既存の地元企業の事業拡大の支援 など

問 34 上富田町が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるために、町としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。（ご自由に記入してください）

※報告書巻末に記載

上富田町

「地方創生（まち・ひと・しごと創生）に関するアンケート」

自由記入設問 記述全文

※ 事務局で、明確な誤字や言い回しの修正はしましたが、それ以外は、記入原文のまま掲載しました。

居住者アンケート

問10. 問9でうかがったことについて、具体的に国や町が進めるべきだと思うことをご自由に記入してください。

▼1. 地方における安定した雇用を創出する

- 雇用が増えればみんなが生活していける。学生が卒業しても就職がない。(男性、10代)
- 上スポの設備投資とか、一部の人の役にしか立たない物に何億もかけるくらいなら、町民の全員が納得できることに投資してほしい。つまり、私のように納得できてない人がいるということ。スポーツ設備を整えるとしても、宿泊施設がない。上富田の特産品が無名(私は何が特産品か知らない)など、集客から派生する産業を活かそうとする動きが全く感じられない。(男性、10代)
- もっと人が働けるように、国や町で行う工事などに人を雇用するようにする。(アメリカのニューディール政策のような感じ)。(女性、10代)
- 安定した収入のある仕事があれば町内で住み町内が活発になれると思う。(女性、10代)
- 安定した雇用と賃金は絶対に必要だ。安定した仕事とお金があれば、精神的余裕もうまれ、自然と子どもの数も増えていくと思う。(男性、20代)
- 契約雇用の待遇改善。(男性、20代)
- 最近の上富田ICも出来たため、多くの人を訪れることを願う。今年は国体もあるため多くの入客数が見込まれるが、来年からどうするかを考えていきたい。(男性、20代)
- 出来るかどうかはともかく、産業を創出すること。補助金を使っても大きな経済効果を与えることはできない。金をもうける力なしに、雇用は生まれにくいし、そもそも健全でない。(男性、20代)
- 住みやすい町にするために、地域活性化に努めるべきだと思います。(女性、20代)
- 交通道路状況の更なる整備(高速道路・電車・バスの便を増やす)転入してきた人や、新しく町内で事業を始める人に対しての助成金、補助金制度など。(女性、20代)
- 進学のために県外に出て行ってもIターン・Uターンしてもらえるように、地方での就職支援していただけたらと思います。(女性、20代)
- 就職できる場所がないし、少ないです。(女性、20代)
- 給料が少ないので最低賃金をあげることと、正社員でやとってくれる所を増やしてほしいです。(女性、20代)
- 女性でも働きやすい環境づくり。子供の産んだ女性の社会復帰が難しい。待機児童の問題。預ってくれる施設が少なく、預ける事ができないと働きに行けない。そうすると、子供を産んで経済的な問題が出てくるので、産めても1人か2人というのが多くなってきてる。少子化問題。安定した雇用を創出できれば、若い世代の結婚・出産なども叶えられる事につながるのではないかと思います。(女性、20代)
- 放送等の地域の仕事を地域の人々が体験できる機会を与えて、地域と深く関わるができるようにする。(男女不明、20代)
- ・企画誘致・特産品づくり。(男性、30代)
- 新しい産業の開発。各種税金、費用の負担の軽減。(男性、30代)
- (今の会社に転職する前)ハローワークに行ったり求人情報を見ていても、条件が悪すぎて、将来的に家庭を持って、子育てなど(普通?)の生活を考えるにしても、ハードルが高いと言わざるを得ま

せん。問9の①がまず第一だと思います。(男性、30代)

- 若い人は仕事を求めて都会に出る人が多いので、地元就職先がきちんとあれば、地元にとどまってくれてよいのでは？と思うので、会社の誘致などしてくれれば良いと思う。(女性、30代)
- 雇用の安定が生活の基盤となり経済的にも良くなると考えます。(男性、40代)
- 地域創生について受け売りですが、～地域自治には「取りこぼし」は許されず市場の競争原理を持ち込むべきではない。正しい地域創生とは、インフラを整備し、そのうえで税制優遇し、民間企業が「投資したくなる」環境を構築すること～、との意見に賛成です。災害に強いインフラの整備（公共事業による雇用の創出）と、地域への企業誘致（さらなる雇用の創出）政策が重要と考えます。(男性、40代)
- 雇用を創出し労働人口を安定させ子育て世代等に税金の優遇を行う。(男性、40代)
- 地域産業で利益の安定。農業では農地の合理化、鳥獣害対策。(男性、40代)
- ・公共事業の推進。・第一次産業への補助事業、販路拡大などの推進。・プレミアム商品券などの消費拡大政策。(男性、40代)
- できるだけ地元の人を雇う。新規事業サポート。(男性、40代)
- 地元で職業につけるようにしてほしいです。(女性、40代)
- 若い世代の職場が少なく、希望する職種も少ない様に思います。人口が少ないので仕方がないのかもしれませんが、若い人達が働きたいと思える様な職場があれば良いと思います。(女性、40代)
- ①を推進すれば他の3つがついてくる。具体的に考え動くのが、役所の仕事だと思うのですが...(女性、40代)
- 確かに4つの目標すべて必要であり、推進すべきだと思うが私はこの4つの中で①を期待しています。質の高い雇用を確保し自ら事業展開を希望している企業、事業者等に援助、又は助言をすることで経済の循環を良くすべきだと思います。(女性、40代)
- 働く場所、雇用。(男性、50代)
- 地方にかかわる医療に対する所得が少ないように思われるのでたとえば施設なので働く者は非常に安く肉体労働にもかかわらず安いです。(男性、50代)
- 生活していく上で、一番大事なのは安定した収入が必要。(男性、50代)
- 若い人たちに未来ある仕事を。(男性、50代)
- 国の政策として法人税の減免等をてこに大企業を対象に都市部から地方へ雇用のダイナミックな転換を行う。(男性、50代)
- 地元事業所の活性化。(男性、50代)
- 農業について考えてほしい。生産している人が報われるような。(男性、50代)
- その土地にしかない特色を活かした物作りなど。(男性、50代)
- 1、の目標がかなうと下の2、3、4、にもつながっていくのではないかと。(男性、50代)
- 1. 地域にある企業の育成。2. 個人事業者の育成（創業含む）3. 企業誘致。(男性、50代)
- 財政改善と将来展望を示す。年金だけでは生活できない現状を改革。戦争のない平和な国・町を守り若者が戦争に行く事ないように政治で解決すること。エネルギー政策では原発をやめる。(男性、50代)
- 地元で工業・農業等雇用を生む職場を安定して、労働できる所を置く、又学校、大学等があれば良いだろう。(男性、50代)

- 大きな資本の企業（スーパーなど）は、パートタイム以上の社員の給与を正社員と同一にする。又正社員に採用への方法が有り、毎年数人は採用される事。（上富田町民が使ったお金が給与として町民に戻ってくる循環を強化する）地方創生のイベントとして口熊野マラソンを利用してほしい、特にマッチが来てくれている間が勝負だと思う。たとえば、白浜に来たついでに思い出の上富田を走りたいと来町→コースが整備され、着替え、シャワーの場所が有り、コース上にトイレが数ヶ所ある必要が有る。林間にクロスカントリーのコースも欲しい。連絡所も必要（一般家庭でもよい）人が集まる環境を作り、ここに住みたいと思う装置として口熊野マラソンを利用してほしい。（男性、50代）
- 県内に若者が定住できる環境を作り、過疎化を防ぎ町が活性化する施策が必要。その為、大手企業の誘致。その為その企業が来たいと思う環境、インフラ設備の整備、出ていった大学生が地元で就職したいと思う企業。観光地としての強気の戦略。一大リゾートの建設（スポーツ施設を含む）道路事情を早期に改善（トンネル工事）アクセスを良くする事と今までに無い斬新な発想で思いきった（金をかけない）手を打つ。「日本の〇〇」と呼ばれる様な。→雇用が生まれ、経済的に安定し町が発展。（男性、50代）
- 交通システムをもっと早く整備させて企業招致や大型施設招致を有利に進めていくべきだ。（男性、50代）
- 安定した雇用が若い世代の生活の安定となり、①が充実すれば自然と③も充実すると思う。正職が少なくパートやアルバイトばかりで長年働いても資格を取っても嘱託にすらならない。頑張りがいがなく結局転職を考えてしまう。例えば、5年勤勉に働けば又は資格を取れば嘱託にという様な規定があれば良いと思う。（女性、50代）
- 若い世代が安定した仕事につき、希望をもって生活できるような施策。（女性、50代）
- 安定した雇用→安定した経済で町を活性化させてほしい。（女性、50代）
- 企業の誘致。・仕事があれば、そこに人は自然と集まってくるので、がんばって企業を誘致していただきたい。（女性、50代）
- 企業の誘致。（女性、50代）
- 大企業の誘致。（女性、50代）
- 企業の誘致。（女性、50代）
- 働ける場所（会社）があり収入も安定することにより若い世代への希望にもつながると思う。（女性、50代）
- 文章にしていうまく書けませんがまだ地方に広い土地やとってもいい若者たちがたくさんいます。都会の大きな会社・企業などが地方に来てくれれば若者達の仕事先は少しでも安定し、また都会の方に出て行っている若者も地方に帰って来てもらえそうな気がしますし、生活の安定が保証されれば若い世代の方は結婚して子育てもしやすく何と言っても地方全体に活気があふれ出て来ると思います。いろいろな地域に若い世代の方が増えると、安心な面もありますし、またいろんな交流が助け合いが出ていけると思います。（女性、50代）
- 若い世代やシニアにも働ける場所がもう少しあればと思います。（女性、50代）
- 若い世代が結婚し、安心して子育てしていける環境にするためには雇用の拡充が大切だと思います。長時間労働の解消など、労働環境の改善も必要だと思います。（女性、50代）
- 高齢化に伴い、町に入所しやすい施設を増やし、子や孫が安心して働けるようにする。雇用を必要としている介護職を増やす為にはゆったりと関わられるような仕事内容にすべきであり働きやすい内容を町へ進めていってほしいと思います。（国への発信）。（女性、50代）
- 年齢によって雇用してもらえない職場が多く、片腕の痛みを家族も職場の人にもわかってもらえない。時給も安すぎる。生活出来なくてもバカにされている感がある。今後年齢が上がると早く死にたい。

（女性、50代）

- 雇用状況を調査し、地方でどのような働く環境が有るのかを知って頂いてそれに対して対策を立てて欲しい。（女性、50代）
- 企業を呼べるようにする。上富田は農業が盛んなので農業の会社を作るとか。（女性、50代）
- 雇用がないので、若い方は都会へ出て行く。（男性、60代）
- ・大企業の誘致。・地域の活性化。（男性、60代）
- ・企業誘致の推進。・若い人に安定した賃金収入。（男性、60代）
- 町有地、民間有地を活用し、企業誘致。（男性、60代）
- 企業誘致、安定した雇用を創出する。（男性、60代）
- 若い世代の就職先があり、安定的な生活のため企業の誘致。（男性、60代）
- 雇用の場所をつくる。耕作放棄地を再生する。人材育成をする。（男性、60代）
- 働く場所を作って若い人に多く住んでもらう。そうして人口をもっと多くふやすことが大切だと思います。（男性、60代）
- 1. 2. 3. 4. どれも大切なことであると思います。地方に住む人々が生き生きと生活するには経済的に安定することが大切であり、若者達が希望を持って生活できる事が大切だと思います。（男性、60代）
- 上富田町出身者で、県外に就職されている（大学生含む）方々に外からみた上富田の地方創生について意見を求めている事により、別角度からの視点で新たな発想が考えられると思います。（男性、60代）
- 紀勢自動車道が田辺ICからすさみICまで9月に開通します。そのことで、都市から地方への人の動きも今まで以上に活発になると思います。従って、企業の誘致を積極的に進め、正社員の雇用の拡大をはかっていただきたいと考えます。若者が地元で働ける環境づくりを進めてほしいと思います。（男性、60代）
- 町に対して、農業、工業に従事する場所、チャンスが足りない様に思う。若年の人達には地元で仕事に従事出来る様になればと考えます。他市町のベッドタウンにならない様に。そういう方向で行ければ町内にも活気が出て来る様に思いますが。（男性、60代）
- 農林水産物の地産地消の推進。会社（中小及び大企業）の誘致。（男性、60代）
- 老人や若者が住んで良かったと思える町作りを期待します。（男性、60代）
- 周辺市町村と協力して、地産地消の推進をする。特産品の県外への出荷を強力に進める。地域に合った独自の政策を進める。（男性、60代）
- 雇用の創出の一つとして、植込み林の間伐、枝打ちにより燃料として使用し、雇用につなげることが出来ないものか。ソーラ発電も悪くないが、設置すれば後は雇用を生まない。同じ補助をするなら山林にかけて植込み林に光が入り下草がはえ大きな木を育てて地力がつくようなことが出来ぬものか。そこから自然と共に雇用が生まれないか。後継者がなくなる田畑の取りまとめにより農業法人化を進め、梅のみではない農作物に目を向けて雇用とブランド力のある農作物に力を入れたいと思っています。（男性、60代）
- 海外友好都市との提携を加速させて独自性地域創生を確立させる。例：福祉文化のGlobal発信&交流など。（男性、60代）
- あまり、くだらない事はしない方が良い。役人のする事にろくな事はない。税金の無駄使いが多い。介護保険なんて業者の金儲けと同じ事。介護認定受けられないまま亡くなった人もいる。役に立たない制度はなくすべき。（男性、60代）

- 若い世代の人達がしっかり働くことが出来る様にしてやって下さい。(女性、60代)
- 何より仕事と安定した収入が全てにつながると思います。働く場所は、大切です。(女性、60代)
- 就労場所の誘致。(女性、60代)
- 企業が増える事により若い人達の働く所も子育てもでき住みやすい町になると思うので、企業が入ってくれたら嬉しい。(女性、60代)
- 安定した企業の地方への誘致。安定した雇用の確保。(女性、60代)
- 企業の誘致。(女性、60代)
- 若者を都会から地方にUターンさせるのには安定した雇用があれば、誰もが親や親族に守られ暮らしていけると思います。それで結婚・出産も子育ても助け合って、行けるのではないのでしょうか。今、私は娘の仕事に出た後の孫の見守りをしていますが、これが都会なら、子育ての自信もなく結婚しない娘になっていたかもしれません。何か一つここでなければ...という事が欲しいです。(女性、60代)
- 今年はじめて町内に高速道路というものが延進しインター、サービスエリアなるものまで実現し30年前には思いもよらない光景となってきた。高速ができると追加点となって衰退していく街が今まで多くあったが逆となれば大阪、神戸、京都共近くなるのだからスピードを活かした新鮮さを届ける業態を考える企業を誘致してもらいたい。熊野古道の(本宮地域との)入口でもある。(男性、60代)
- 安定した生活が出来る地方であること。未来に希望が持てる政策。若者が郷土で学ぶ間に進むべき所をしっかり認識出来る環境を体験学習等をさせて、高等教育へ送り出してほしい。皆都会の大学を目指す事を最上とする教育は考え直す時ではないかと自分の子供の養育の反省から思います。(女性、60代)
- 企業誘致をするためにしっかり道路整備をする必要があると思う。(女性、60代)若い人になるべく流出しないよう企業を上富田町に持ってくる。(男性、70代)
- ・安定した雇用。地場産業の充実。商業サービスの拡大。・国内のみにとらわれず広く外国にも目を向けて若人を招く。(男性、70代)
- スポーツ施設を利用して、地域外の企業・団体と各種共同事業を拡充する。古道や林業に関連する企業・団体・研究機関の誘致。(男性、70代)
- 私の事です。息子がおるのですが学校出てから仕事ないため帰ってこないんです。親が元気なうちに帰って来てほしいんです。それで地方における雇用をしてほしい。(男性、70代)
- 大企業の誘致不可能でしょうか？(女性、70代)
- 若者や良い頭脳が流出しないで地元で働ける場が沢山出来れば人口減少にもなるし、問9の3番にもつなげる事になると思う。(女性、70代)
- 若者が上富田町に帰ってきて、安定した生活ができるようにして頂きたいと思います。また、地域に根ざした教育及び社会に期待をもって生活でき、子どもたちの学力向上にむけて、しっかりとりくんでいけるよう町あげてのとりくみをして頂きたい。(女性、70代)
- 雇用のないところに発展はない。(女性、70代)
- 何はともあれ、若い人達の働ける場がほしい。(女性、70代)
- 安定した仕事がないと結婚できない。(女性、70代)
- 学校を卒業して帰って来ても身分保障、家族を養いながらの収入etcの働き場所が無い。大学を出しても帰ってこない。魅力も感じない。(女性、70代)
- 企業の誘致と活性化。(男性、80代以上)
- 中小企業の誘致促進。(男性、80代以上)

- 若い人がもっと仕事ができるようにしてほしい。会社が来てほしい。（男性、80代以上）
- 若い者が働ける場所が必要である。企業誘致を図り、県内・県外から人口呼び込み、将来人口増加を計画する。安定して職業につけば子供達も育てられる。人口減少を食い止め、人口の増加が図られる。（男性、80代以上）
- 熊野高校に農業科、林業科がなくなりました。しかし上富田町では農林業に頼らざるを得ないのではないのでしょうか。農協、熊高など英知を集めて、進む道を探られては…。働く意欲のある高齢者の活用、元気な高齢者が、短時間、低賃金で、介護関係の仕事の手伝い。農業、家事など幅広い分野で補助的な活躍が出来るのではないかと思います。（男性、80代以上）
- 孫達が帰ってきて働ける場所があれば良いと思う。（女性、80代以上）

▼2. 地方への新しいひとの流れをつくる

- 観光資源をもっと有効活用、宣伝していくといいと思います。自然が豊かなのに、生かされていないのがもったいないです。下水を整え、川に生活排水が流れるのをやめた方がよいと思います。（女性、40代）
- 半島であるため日本の国土軸からずれている。東北、東海道、山陽、九州新幹線および国道1号、2号、4号や東北道、東名、名神、中国、山陽道にも直接つながってないため、県内とくに紀南地方の道路開発が遅れている。阪利道・紀勢自動車道の対面通行（2車線）の自動車道路を早急に4車線化しなければ紀南地方は、ますます人の流れがなくなっていく。自然が多いことは開発が遅れていることである。（男性、40代）
- 東京都圏の一極集中は様々な弊害があると思います。例えば選挙の1票の格差などはおかしな話で、人口に対して議員が何人と考えるから広い地域に1人の選出とかおかしな事になってくるので一律の人数にした方が問題山積みの度合いはどの地方も一緒だと思います。それに極端に人口の少ない所で暮らしている方々はそこに住まわれているだけで国に貢献している訳ですから中心地よりもっと考えてあげるべきではないのでしょうか？（男性、40代）
- 高速道路に上富田インターチェンジが出来、これを利用して富田町に白浜だけでなく観光客を誘致したい、人の流れを取り入れる様にあらゆる面を検討したい。（男性、40代）
- 私自身別地区から引っ越してきています。物だけでなく、人の流れをつくって、その中から創造性のある考えが生まれるのではと考えます。古いものも大切ですが、新しいもの、人を取り入れ柔軟性のある対応が大事かと思います。（女性、40代）
- ふるさと納税の中身を工夫する。高速の店（くちくまの）、もっと、地域の産物などを置いたり工夫が必要だと思う。（女性、40代）
- 上富田町は安心な町だと思い住んでいますが、人が集まる場所が少ないように感じます。例えば、大型ショッピングモール等、遊べるような施設、せっかくの上富田の広大な土地をもったいたく思います。（女性、50代）
- 多目的ホール、室内遊具場、室内プール、大型ショッピングモール、遊歩道、半人工河川、イベント広場、公園、工房、アート、体験教室、カフェレスト、BMX、アスレチック、ボルダリング、スポーツフィッシング、グランドゴルフ、登山。（男性、50代）
- 空き家等を有効に活用（安価又は無料で貸す）して、起農する若者世帯をよびこむ。学校を少人数にしたり、図書館司書を雇用したりして教育環境を整備し、子育てしやすい環境をつくる。（男性、50代）
- 上富田町は民間の人脈を活かして都心（東京・大阪）に直接町役場の出向き機関（アクセスポイント情報発信扱い点）を創るべき。経費が必要になる為（上富田町が委託する民間企業）にボランティア

で支援して頂く事でうまく調整出来ると思います。→人の流れを創るのは人の知恵がなければだめ。重要な事は、イベント企画の発案は外部支援者（イベント運営委員会）が中心に実行する事に、その為にはまず、全国各地に税金支援者を（募集）する事。インターネットで公募すれば善いと思います。（ネット上の上富田住民）。（男性、50代）

- 各地方の特性を活用し、和歌山県上富田町にしかない活力源開発は少ない予算でも進めるべきだと思う。新しい人の流れは、空き家解消を短期的、長期的に見る事、他町運営の宿泊施設の建設は、上富田マラソンに来る方を増やす事もできるし、上富田スポーツセンターに来る他県の学生なども合宿などに使いやすいと思う。人口は増えている様だが、それにみあった住みやすい町づくりも必要。やまもプロジェクトには期待している。町一丸となり健康的効能を前面に売り出す事で固定客と雇用が生まれるように思う。（男性、50代）
- 交通手段の充実（流通、雇用を確保）道路（阪和道の2車線、紀陽線の早期完通、五新線の改修）鉄道（紀伊田辺～和歌山間の快速電車の増発、普通車の御坊乗り換え和歌山まで2時間は非効率、特急くろしおで通勤する者への資金援助）船（東京～田辺～九州の航路を新設、シルバー世代者の観光客確保）飛行機（北海道～南紀白浜～九州便の新設、観光客誘致）。（男性、50代）
- 大学や専門学校などを設置し、若者の都合への流れを少しでも止める必要がある。（男性、60代）
- 若い世代の人が町に興味をもてる町づくりをしてほしい。（男性、60代）
- 運動、文化交流（祭典参加）等で地域交流の場をつくる。（男性、60代）
- 1. 地域の自立2. 既存の仕組の改良(1)ともすれば性急に成果を得ようとするのではなく、自治体が自らあるいは地元の企業を支援し、もしくは地元の経済界と連携して、自然エネルギー開発や農業の6次産業化に取り組む。(2)「国会等の移転に関する法律」という法律があるが、あらためて首都機能移転に乗り出すことを勧める。東京の機能を地方に移すという点では、地方分権を進めることも重要。まずやるべきことは、首都機能の移転である。わが国は政治も行政も経済も、その決定権が東京に集中しすぎている。（男性、60代）
- どこも施策を推進するには財政的な裏付けがなければ実行できません。上富田町は人口が和歌山県では岩出市と上富田町が微増しているまれな町と理解しています。なぜ増えるのかどこに魅力があるのか正直なところ実感できません。スーパーマーケットも周辺に比して数多くありお客さんも多く近隣の地域や遠方からまとめ買いに来られているも多いのではと想像しています。人口増の魅力ある町とするのには私の所見としては住みやすい環境づくりが必要と思う。高齢化で健康に留意している人が多くウォーキングされている人も多く見かけるようになりました。川の土手を歩けるように舗装してやるくらいの費用はなんとかかなりそうに思うがどうだろうか。草が茂っていて歩けない現状にある。次に護岸工事です。費用の面でコンクリート張りで魚などが住みやすい環境にはないといつも思う。下が石積みですきまのある魚の住める護岸工事ができれば川の環境も様変わりし魅力的な町となり全国的に注目の的となると思う。そうなれば入口の流入も自然と増えてくる。まずは環境づくりに予算を投入されることを希望します。無理ですか。その次は学力ある学校づくり。そうすれば入口は流入してくる。時間はかかり、良き指導者の確保は基本となります。（男性、60代）
- すでに行われていることもあるが、1. 農業集落排水・下水道の完備などの整備を図る。2. 紀南には素晴らしい自然があり眺望、気候、そして文化など大都市にはない資源を持っている。これを全国に発信すると共に活用するための環境を作る。そして人々をひきつける。3. 東京の人々を引き付けるためには羽田・白浜間の空港料金を格安にする。4. 観光はトータル産業としては有益だが雇用の場の確保が大切である。（男性、60代）
- 人口を増やす。（女性、60代）
- ・安定した雇用。地場産業の充実。商業サービスの拡大。・国内のみにとらわれず広く外国にも目を向けて若人を招く。（男性、70代）
- 熊野本宮への入口、口熊野上富田は、観光資源にとぼしく宿泊施設の不足につながっていると思う。

町の進める、資源の掘り出しは、農工商の関係者の話し合が第一歩と思う。(男性、70代)

- 山、田、畑、自宅、自動車、全部無税にする事、そしたら都会から、いなかに人が来るようになる。人口がふえる。(男性、70代)
- 人と人のつながりをつくる事が大切だと思ひ若いときは雇用を創出とよく思ひましたが、老いてきたら思いが変わってきました。一日でも多くのみんなと仲良くしたらよいと思ひ考えがみんなになってきました。これからもみんなと少しでも仲良くしていこうと思ひますので宜しく。(男性、70代)
- 最近、空き家が増えています。それを活用出来る(方法)を(支援)をお願いします。(女性、70代)

▼3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・結婚、出産、子育てに関する情報の発信。・教育の充実(特に小学校の教育に力を入れてもらいたい。・上富田町の持っている“良いもの”(例えば、豊かな自然等)を利用した教育を行ってもらいたい。将来、「上富田町は良かったな」と思えるような、小学校生活を送りたい。・「人口の現状維持」などと甘えたことを言っているのは、人口減少は食い止められないと思う。目標は高く設定して、「人口増加」にすべき。(男性、10代)
- 高齢化社会のため早く結婚して子供をつくることを希望します。お見合いとかの場所を作ってもいいと思う。(男性、10代)
- 少子化対策。(女性、10代)
- 保育料を安く。若い夫婦でも子育てしやすいように。(女性、10代)
- 学校給食をもっと早く開始してほしいです。(女性、10代)
- 上記で丸をつけた目標のように、女性が子育てをしやすい環境をつくること。そうすれば、人口減少、少子化を止められるかもしれない。すると上記の目標全ての達成にもつながると思った。(女性、10代)
- 安心して子育てができる様に環境を整えて欲しい。(男性、20代)
- 子供の医療費無料制度の年齢を引き延ばしてほしい。(男性、20代)
- 若い世代への出会いの場を作り、結婚をしやすくすること。さらに、子供を育てるための環境として、教育機関の充実(特に大学)を行っていくこと。企業に対しても出産時のサポートを充実させるように働きかけていくことが必要だと考える。(男性、20代)
- 子供の医療費中学位まで免除。給食設置。(女性、20代)
- 子育てに関して、もっと援助金を増やすべき。(女性、20代)
- 児童手当の充実。(女性、20代)
- 教育と介護の充実。子育てしていますが、子供の将来が心配です。(女性、20代)
- 子どもを育てるにあたり、両親が共働きでも安心して子育てをできる環境をつくること。(例えば保育園のサービスの充実など)。(女性、20代)
- ・働きたくても働けないので、保育園の入園園児受け入れ数を増やして欲しい。・働く女性が増えて来ているのに、そのニーズに答えて対応して欲しい。こちらは生活がかかっているのに、「定員いっぱいです」と入園をことわられ働くのをやめて、休業して、育児をするしかないなので、何とかして欲しいです。(女性、20代)
- 上富田町に期待するのは子供の医療費を小学校卒業までかからないようにすること。(女性、20代)
- 少子化対策に力を入れてほしい。(男性、30代)

- 未成年者の医療の補助。(男性、30代)
- 不妊治療中です(現在)田辺市などは不妊治療に対する助成金があるのにどうして上富田町にはないのですか？(男性、30代)
- 若い世代に対する待遇の改善をしていかないと人口減少流出の歯止めにはならない。人口の減少は町、国の衰退へとつながる。(男性、30代)
- 安定した雇用と医療制度の充実。お金を使う場所を間違えない事。(男性、30代)
- ・乳幼児医療を中学校まで無料にして欲しい。・2人目・3人目の子どもが産まれても普通に保育所に通わせて欲しい。(女性、30代)
- ・子供の医療費無料の延長。・老人ホームの建設。(女性、30代)
- 医療費無料は小学六年まで延ばすべき、小学生ではまだまだ医療費がかかります。上富田が合併しないのは多額の借金があるからと周りからよく耳にします。それは本当でしょうか。全国の小中学生で90%以上が給食といわれる中、唯一上富田は弁当…。これも早く改善してあげて下さい。(女性、30代)
- 町営住宅に入居する際の条件等について、現在の所得ではなく、出産した後の所得等の方が重要なのでは？共働きでないと、生活していけないのでは、出産が希望出来ない。(女性、30代)
- 待機児童をなくす。(女性、30代)
- 子供がいるので、働きやすい条件の所があると良いのですが・・・。(女性、30代)
- ・保育所事業の内容充実(土曜保育・0才児保育等)・給食の実施。・社会見学等、体験学習の拡大。・早期の英語の授業取入れ(小1～初めてもいいくらい)←他地域との差をつけ、学力向上を目指す。無料(低料金?)の塾の様なものをするとか。子供の学力向上に力を入れてほしい。(女性、30代)
- 共働きが多いので、働きやすい職場づくり、子育てサービスの充実。(女性、30代)
- 教育費の充実。奨学金(無利子)の拡大。(女性、30代)
- 上富田町はまだ給食の学校がないと聞きました。今は、夫婦共働きの家が多い中、給食がないのは大変だと思いました。給食はおいしいですし、健康のことも考えているので、ぜひ給食の学校が出来ることを願っています。(女性、30代)
- 正社員、非正社員の格差が進んでいる中で、特に非正社員であれば、なかなか結婚→出産の流れになるのは難しいと思います。正社員でも、2人目の出産には、とても慎重になってしまいます。会社に迷惑がかかるとか生活していけるとかの不安があるので、非正社員ならなおさらです。そのためにも地方に安定した雇用場所を作るのは必要です(都会への流出を減らす願いをこめて)さらに子育てには、安心、安定したくらしも必要不可欠です。全てが自然とつながると思うので、問題になっている人口減少にも少し歯止めがかかるのではと思います。(女性、30代)
- 給与や収入に対して物価や家賃が都心部とそう変わらない気がします。税金も高い・・・。収入が低すぎて町内、県内での就職を断念する若者が多いのが現状。収入向上する対策が最優先事項ではないでしょうか。時代は、田舎暮らしを希望する人々の増加へと私達にとって追い風となっておりチャンスです。迅速な対策を期待しています。(女性、30代)
- 子供の医療費の無償化。学校の給食。(男性、40代)
- 上富田町は、他の市町村にない子供に対する手当などをつくるべき。給食さえないのに、その分を手当金で還金すべき。他の市町村との差別化すべき。若者を住まわせないと。(男性、40代)
- 一昔前の様に、少し不便でも、公共交通機関等の利用にて家庭の経済環境を少しでも良くし、その為にも、サービスの向上を計り、現在の様な、1人に1台という様な状態、これは、携帯電話も同様で皆が、必要以上にムダなものにお金をかけすぎている現在、もう一度、シンプルな生活が送れる様な事

を進めて行ける様な政策を進めて頂きたいです。(男性、40代)

- 生活するなかで住みやすい環境を作るべき。(女性、40代)
- 学校給食。上富田スポーツセンターが良いので、それに伴い宿泊施設等の設備。(女性、40代)
- 学校給食を一刻でも早く進めていただきたいです。小学校においては全国普及率99.9%に達していると聞きます。上富田が出来ないのはどうしてでしょうか？財政難は分かっていますが、夏場は保冷剤を何個も入れたかちこちご飯、冬場も温かいみそ汁を飲ませることも出来ず、おかわりもさせてやれません。傷みやすいので味を濃くして、限定されたおかずになります。1時間かけて大きな荷物を持たすことは他の地域と比べて不平等に感じます。(女性、40代)
- 給食を、早く始めてください。白浜、田辺ではやってます。働く、お母さんは給食があると助かります。ないのは上富田だけです。(女性、40代)
- 小・中学生の医療費の負担無料化。(女性、40代)
- 保育、教育への支援。(男性、50代)
- 町内の人口が増えるようにすれば一番良いと思いますが、子供が増えれば町の活性すると思います。町内に企業増え雇用を創出できればいいが、町外でも住む所が町内あればそれも人口を増やすことができる。(男性、50代)
- ③のためには1も2も4も必要です。すべてのこと（上富田町の今日もこれから）の基本に3があると思います。(女性、50代)
- 私は共働きで子供を3人育てましたが、仕事と家庭を両立していく上で、学校給食があればどんなに助かるかと何度も思いました。夫が家事や育児に協力的だったので何とか乗り越えられましたが、祖父母も近くにいない中で、日々自分の仕事とのバランスで悩み、体調を崩すことも多かったです。一般に男性の家事、子育てへの参加がまだまだ少ない中で、女性が働き続けるのをサポートしていただけるととても有難いです。そして、農業が盛んな上富田町の特徴を活かして、小規模の地産地消の食材を中心にした給食施設を望みます。(子供たちの食生活の問題点も多いと感じるので)。(女性、50代)
- ・中・高の学費や医療費の工夫。・具体的にわかりませんが安全で安心できる生活の保障。(女性、50代)
- 独身の男女が出会える場を提供して若い年齢で結婚出来るようにしたら、出産人数が増えるのでは。(女性、50代)
- 今の若者は出逢いの場がなく、異性に魅力を感じる出来事と出会う機会がない。町をあげてそういう場を作るべきだ。出産や子育てが安心して出来るよう、町の補助や呼びかけ、地域をあげての取り組みが必要それが実れば子供も地域で増えていくだろうと思う。若い子供や青年たちを増やすことが第一だと考える。(女性、50代)
- 子育ての政策が充実できれば地域が安定していくと思う。出産費用援助。義務教育終了までの医療費免除。学童保育の充実。病気園児の託児etc。これらが充実されてくれば若い世帯はおのずと上富田に集まり、地域が活性化すると思う。(女性、50代)
- 子育て環境、保育園、幼稚園は親が選べる位の余裕ある施設を作る。子供は町の宝です。(女性、60代)
- 地方の活性化のためには、地域の人口を増やす事が非常に重要だと考える。人口が増える事により産業が活性化し地方の活性化、国力の充実につながる。その為には、若者の結婚、子育て支援等が何よりも大切である。そうした意味から保育施設の充実や保育機関の延長に力を入れる必要があると思う。(男性、60代)
- 今の時代多くの人は専業主婦は嫌いだから保育所。(男性、60代)

- 若い世代が希望をもって子育て（特に医療費無料化）が出来るようにしてほしい。また、若い世代の雇用も大事だと思います。（男性、60代）
- 後継者が育つ手立てをしてほしい。後継者が育たな産地がつづいていかない。（男性、60代）
- ①地域コミュニティの充実ーおせっかい屋さんの充実。②地域にある得意なものを売り出す。（男性、60代）
- 共働きや1人親の為学校給食実施を早くしてほしい。（女性、60代）
- 小中学校の給食。（女性、60代）
- 手当を増やしたり、社会福祉を充実してもらうことはとても助かりますが、一時だけで本当の救援になりますでしょうか。結婚の素晴らしさ、子供を育てる喜びそして社会の為に又は国の一員として為に生きる喜びも味わって欲しいです。路上にゴミがよく捨ててあります。あきらかに車から路上に捨てた感がありますが、それを毎日拾い集めている婦人も知ってます。胸痛む光景です。どうしてこうなったんだろうか・・・人の為に生きる姿勢が欠落している現実を毎日見ながら大人も改めなければなりません。町や国はこのようなことにもっと感じをもたなければなりません、未来がないです。（女性、60代）
- 出産後の若いお母さんへの援護が必要だと思います。そばで世話してくれる人のいない方に対しては毎日1時間でも赤ちゃんから離れてゆっくり、心身共に休める体制を作ってあげる事が大事だと経験からつくづく思います。次に子供も保育所などに預けて働きたい人には仕事があり子供を中心にして働けるのが理想です。働ける場所を沢山作って下さい。上富田にもシルバーセンターを作って下さい。高齢になっても働き続けなければならない現実があります。（女性、60代）
- 鳥取県では出産が多くなりつつあることがテレビで放映したことがあったが、なんといっても金銭的な支援をしていること。医療費の中学校まで無料であり、働く場が多くあること等、平均的な考えだが最も大事なことであり、鳥取県は有名な大臣の出身地であるからかなと思う。本県も二階大臣が中国でよい顔をする前に足許を見て欲しいと思う。（女性、70代）
- 若い人の未婚者が多く見受けるので町や県が結婚相談所を何回か行って頂けたらと思います。（女性、70代）
- 自分の生まれ育った所で働く所が少ないという事は悲しいし淋しいですね。私自身も九州から出てきた人間だから。今の上富田を見ているとほとんどが外に働きに行っている様子が見受けられます。（女性、70代）

▼4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 消費税も含め、色々と税金で支えてるのかもしれないけれど高いと思う。もう少し使い方を考えてほしいと思います。（男性、10代）
- 電車の本数を増やすこと。（男性、10代）
- パチンコ店が多いので減らしてほしい。そしてショッピングモールを増やしてほしい！（女性、10代）
- 税金が高い。（男性、20代）
- これまでは若年層のみや老年層のみといった改正や推進が多かったようにみえます。当然、そうでないもの（プレミアム商品券等）もありましたが、一時的なもので潤ったかと言われると疑問に思います。町や地域内に二世帯で生活する人等、世代に渡って安心できる内容のものにして欲しいと思います。（男性、20代）
- 流れに敏感になり、積極的に取り組むべき。みんなが平等でかたよらない町作りをしてほしい。（男性、20代）

- 近隣市町村との情報や資源の共有。住民への行政サービスや町政について、誰もがわかる様に説明し、住民の意見を聞いて対応する。年をとっても住みなれた、家や土地でできるだけ居れる様、多種多様なサービスの拡大。若い世代が何が必要としているのかを確認する。できる事から対応していく。(男性、20代)
- 若者、高齢者、障害者が共に生きる町づくり。過疎地域への対策。(女性、20代)
- 時代に合った政策をしてほしいです。(女性、20代)
- 税金の正しい使い方。財政支出の透明化。(男性、30代)
- 災害時の市町村をこえた連携。(男性、30代)
- 市民税の減額。(女性、30代)
- ・子供が安心して遊べる環境。・雨でも遊べるような、屋根付きの遊具があるスペース。・図書館などに併設した憩いの場。・年配の方も集えるスペース。(女性、30代)
- 新しい世代の世帯が増えるにあたり地域のコミュニケーションをとれる場が少ないように感じます。地域で色々と皆で出来るボランティアや催しイベント…もっと増やして欲しいです。子育てで子供を育てやすい環境づくりをして欲しいです。公園を増やしたり、治安の面でも、もっと防犯カメラを設置するなどの対策を町をあげてして欲しいです(年々不審者が増加してるので)。(女性、30代)
- 給与や収入に対して物価や家賃が都心部とそう変わらない気がします。税金も高い……。収入が低すぎて町内、県内での就職を断念する若者が多いのが現状。収入向上する対策が最優先事項ではないでしょうか。時代は、田舎暮らしを希望する人々の増加へと私達にとって追い風となっておりチャンスです。迅速な対策を期待しています。(女性、30代)
- 町内の放送がききとりにくい。(警報など)街灯が少ない地域があるので暗くて危険。(男性、40代)
- 防災への備えと、クリーンエネルギーの導入努力時代にふさわしい法整備。(男性、40代)
- 水源の管理と保全。公共下水の普及推進(海洋での高規格養殖)天候に左右されない農業育成(工業的農業)地域の総資源の情報集積(植物、鉱物他)金、希少金属、食料、エネルギー資源などの大規模備蓄。(男性、40代)
- 安心して子育てができる、経済的にも余裕のある地方創生を願っている。(男性、40代)
- 年金問題、おとしよりが安心して、くらせる町づくり。(女性、40代)
- どんな立場の人でもくらしやすいと思える地域が必要だと思う。(女性、40代)
- 上富田町は、今現在行われている様に、スポーツへの取り組みに力を入れて、その効果で他県より人を呼びスポーツをしに来るために、人が集まってくる、町の活性化につながっている。外国との関わりも力を入れているし、とても今、これからの一歩進んだ取り組みをされていると思っています。これからもより、力を入れ他県や外国とのつながりを深めていってほしい。地域での働き口を増やしてほしいのと、今、力を入れてほしいのは動物愛護です。犬猫の殺処分をなくす事をお願いしたい。処分＝殺す事にお金を使うのではなく、逆に保護施設を作りボランティアの方たちでお世話したり、里親を探す、補助金をそんなところに当てていただき、職員さんをふやしていただいたり、広島ではふるさと納税でピースワンコジャパンの活動を知った方からの募金もあり、色々されています。和歌山県も、ぜひ一歩進んだ町、県にしてほしい。お願いします。(女性、40代)
- 私も上富に来て16年目になります。私は地域の人がよくしてくれてたいへん良い所に来たと思います。なので私も新しく地域に来てくれた人には、親切にしたいと思っていますのもっと町民同志が交流できるようなことがあればと思います。あと災害時の安全な避難場所があればと思います。やはり水害が恐いので川の近くの避難場所では不安です。(女性、40代)
- 周りの市町村との合併もせず単独で行政が続くのか財政の確保に未来はあるのか、疑問や不安が多い働く世代にとって税金の負担が大きい。どの世代も安心して暮らせる町にしてもらいたい。(女性、

40代)

- ・透明感のある行政。(男性、50代)
- 現在の国のエネルギー政策、安全保障政策を見ていると本当に未来のことを考えた方向を目指しているとは到底思えません。地方創生についても、目先や一部の者の利益重視の中で現状がつくられ、今後も改善していけるとの見通しが見られません。根本的に地方の問題を直視し、本気で改善策を見直してほしいと思います。(男性、50代)
- 子育て世代への支援。待機児童をなくすように、保育者の充実を。老年世代の支援の充実。買い物や生活支援、安否確認。(女性、50代)
- 災害時のことを考えて、もっと内容の充実した取り組みをすべきだと思う。(町内放送も町外に比べて連絡事故が少なく、放送も場所によってはとっても聞こえにくい)。(女性、50代)
- 問9にある、1, 2, 3をまとめた事が、4ではないですか？1, 2, 3を進めて老若男女すべての年代が住みやすい環境を生み出す事だと思いますが。(女性、50代)
- 高齢者や障害のある方に優しい町づくり。福祉サービスの明確化。(女性、50代)
- 減税。行政改革。(男性、60代)
- 何かをしてやってるでは進みません。新しい提案に言いわけをしてないでやってみては。町民運動会だって手段だよネ！若い人達、良く育ててると思いますけど。(男性、60代)
- 箱物行政には終止符を打つべき、若い人達の意見を吸収しそのニーズにあう行政を行うべき、地方創生を推進し成果を上げるにはこれからの人達の尽力なくして成し得ない。町としても旧来の手法では成し得ないことは承知のことと思う。上層部は余り口を出さないこと。(男性、60代)
- 若者たちが安定した生活出来る町作りをしてほしい。(男性、60代)
- 現在の住民が安心して暮らせ満足度の高い施策をしてほしい。教育（保、幼、小、中の教員、職員の質を充実、研修は今、受け持っている児童・生徒に即、役立つもの、抽象論は必要だが個人で！）・文化（意識が低い人が多い。町は質の良い公演等を企画実践している一方、町民の意識に影響・薄い。住民自身の自己改革必要。）・経済の充実を期待します。(男性、60代)
- 運動、文化交流（祭典参加）等で地域交流の場をつくる。(男性、60代)
- 地方創生と言っても決して一律ではないので各地域に見合った元気のある地域を造り出して欲しい。現在の国会議員をはじめ地方の議員に至るまで一部のふしだらな議員が目だって、一生けんめいにガンバッてる議員がかすんでしまっているのが非常に残念でなりません。より立派なリーダーの出現をきたいしています。(男性、60代)
- 車輻依存の町には人の流れがなく町の活気が途切れれます。朝来駅前から寺原までを時間帯歩行者道路にして毎月1日のみイベントしてお金のかからない七夕や平灯供養等をするとか、金清の移転に伴い庁舎までの溝に溝蓋をして中学生の通学路として安全を図る。(男性、60代)
- その地域に合った地域づくりを町が国へ要望し、実施においては地域に予算を配分して、その地域が行うようにする。(男性、60代)
- 安心、安全な街。(男性、60代)
- 昔ながらのことをしては段々ひからびていくように思います。この地にある魅力、地場産業をもっともっと前へ出して大勢の人々に来所してもらえる地になれたらと思います。そして地元の人を雇用出来るように願っております。(男性、60代)
- 高齢化社会に対する対策。道路の整備他。(男性、60代)
- 高齢に伴った老後の暮らしの安定を図る。(男性、60代)

- 現在の田舎は若者にとって魅力があるだろうか？能力に応じた仕事と出会える環境があるだろうか？地方のジリ貧は止めるのは難しく思い、悲観的に思っています。上記4つの目標は若者にとって夢物語にならぬよう施策を講じて頂きたい。（男性、60代）
- 介護保険が高すぎると思います。収入（年金）が少ないのに生活出来ません。（女性、60代）
- 必要な所に予算を入れムダをなくす。（女性、60代）
- 南紀の台は高齢者が増えています。退職してから来る人（町外や県外からも）若い夫婦、子供の人数も増えています。高齢者の人達にはなじんでいこうと努力されている人達もありますが、外との関係を築けない人もいます。どこともよく似た地域も多いと思いますが、時代の流れでしょうか？甘える気持ちを持って人を頼りすぎる人、なるべく面倒をかけないでいこうとしている高齢者の人達もいます。どうバランスをとって行く事がいいのかとよく思います。私自身もこれから老いていきます。考えさせられます。（女性、60代）
- 今現在、介護する夫がいる者です。施設に入っていますが、料金や色々と疑問や不安。年金での生活で高齢者になってくのに働く事ができないうえ、年金が多いとかで利用料も上がっています。生活していけるのか不安です。家族として、子供には負担はかけられない。家のある者はいいいですが家のない者は家賃を支払って、その上施設の利用料金、年金の半分、少しの生命保険も払わなければ。年金が多いからとむしり取るような政治はやめてほしいです。（女性、60代）
- ・戦後めまぐるしく発展した日本はすばらしいのだと思う反面、この70年間の中に見落としてきた人の心と体への影響は大きなものがあると思う。機械化ばかり進み、人の心はついていけなく、人とのつながりもきはくとなり、結婚する若者もへり、少子化。若い人の多くもやんでいる。高齢者は年々寿命は延びているがはたして満足のいく残りの人生を生きているのだろうか・・・？と思ったりする。どんな社会になろうが、一番の人間の強みとなるのは、人とのつながりしかないと思う。いいつながりが増えれば、1つ1つ力強いものになると思うが。人間のあたたかい心が全ての元だと思うが。（物質的なものばかりが充実し、ギスギスしていると思う）。（女性、60代）
- ・国産材の需要が減り森は荒れています。山が荒れると、大雨の時に災害や洪水が発生します。国や県は安価な外材に対抗できるように、国産材を守る施策を立てるべきです。・家庭で老人を世話し看取る等の介護は、難しい時代になっています。国民（住民）が安心して老後を過ごせる低価格で利用可能な老人施設を増やすべきだと思います。・介護保険制度に疑問。事業者は増え、ヘルパーを抱えて仕事はほしい。元気な老人も利用を勧められ、掃除にきてもらい、デイサービスにもいく、介護保険料は上がる一方。これって何かおかしくありませんか。（女性、60代）
- 隣接する田辺市、白浜町と協力、取り組んでいく。例えばイベントを行う場合、単独で終わってしまうのではなく、田辺市のイベントが上富田、白浜町へも波及して行き、宿泊は白浜町で翌日は上富田町のイベントに参加してもらう等と滞在型イベントが取組めたらと思う。幸い交通の便やスポーツ施設面、紀南・熊野には遺跡もあり歴史的文化、芸術、民芸的な物も脈々と続いているので、県全体に波及していけたらと思う。（女性、60代）
- このまま合併もせず単独で上富田町はいいのですか？（女性、60代）
- 安心、安全に心がけ。平和な国づくりにつとめるべき。（女性、60代）
- 安心して暮らせる老後にして頂きたいと思います。私も今病氣中ですので不安な事ばかりですので…。（女性、60代）
- 身近な事で恥ずかしいですが、町巡りの企画をして、月1位で町内をくまなく歩き良い所を見つけ出す。中高年の足腰きたえにも役立ち、コミュニケーションもとれる。空いた民家等を宿泊に使ってイベントを盛り上げるのに一役買う。小さな所からの町興しはどうでしょう。町民を巻き込んでいくというのも……。今の中高年には有り余る力があると思うのですが。（女性、60代）
- 大学や専門学校などが通学できる所にあればと思います。（女性、60代）

- 若い人達に希望を持って仕事に取り組んで頂くのはもちろんですが、老人の年金が年を経る度に少なくなっていくのにはあきれてものが言えない気がします。国民年金生活者にはお前達は長生きするなと言われている気がします。これをもう少し何とか、仕事を与えて下さるとか、仲間同士で起業する事をしやすくして頂くとか、とにかく働く事は出来る限りしたいとは思いますが、今は動く事が出来ないのが私達の切ない気持ちです。(女性、60代)
- 上から目線ではなく、住民の目線で公平でなおかつ暮らしやすい町づくりをもう少し考えていただけたらと思います。住民税やいろんな税を仕事してないからと免除されている人とかいると聞き、一方で老人からいろんな税金をなんの躊躇もなく取り上げてると話聞けば... う～ん、なんか違うって思うんですね。(女性、60代)
- 本当にこの地方創生の目標で地方が良くなるんでしょうか。(女性、60代)
- 若い人達には多くの職場を、老人には安心して暮らせる施策を。(男性、70代)
- 税負担をなるべく少なくしてほしい。(男性、70代)
- 常時、民間の意見を吸い上げるようなシステムをつくる。(男性、70代)
- 年老いた人からお金を取る事ばかりで生活が苦しい。働けるのに福祉にかかってる人が多いのは知ってますか？もっと調査して、公平にしてほしいです。(男性、70代)
- 市の瀬下鮎川、生馬など、上富田町の中でも、交通の便が悪く高齢者にとって、非常に住みにくい町になりつつあります。公共交通機関にたよるのでなく行政は積極的に小型バスなど具体化すべきです。(男性、70代)
- 老人介護をもっと進めてほしい。老人施設をふやしてほしい。(女性、70代)
- 「日本版CCRC」構想について、高齢者が元気なうちに移住して、社会参加しながら暮らせる街づくりを構築する。「隠居」ではなく「第二の現役」として、「受身」の関わりではなく「主体的な社会参加」に積極的に取り組み、生き甲斐を作り出す。知恵と経験を以って「時代の流れを引き寄せる」高速道路も繋がった。「健康で地域に貢献する元気な高齢者を呼び込むべき上富田町は地方中核都市として最後まで暮せる「日本版CCRC終の棲家」の構想をホスピスの上富田ではなく「上富田のホスピス」安心して暮し、死をむかえられる様な都市を。これからは地方中核都市の時代である。上富田の時代がくるという事である。(女性、70代)
- 4つとも大事だと思いますが私にとってはだんだん老いていくので安心なくらしができるようにと望んでおります。(女性、70代)
- 特にありません。暮らしやすいです。(女性、70代)
- 1. 特定支援の財政負担をなくして、町全体が潤う政策、均整のとれたお金の配分を考え、願わくば町の後世に継ぐ為の研修費を増やし若い有望な人材育成に力を注いでほしい。2. 新しい時代とか町づくりでは無く基盤のしっかりした町。即ち、この地に住んで良かったと思える安心・希望のもてる暮らしが出来る様な確かな行政、老いても、若くても上富田なら倅せな人生だと言える心ある地域性を希望します。3. 河川の改修について、この町は比較的水害、災害は少ないので安心ですが、馬川など、へどろや草で覆われている所を改修する必要があります。何年も、このままではやがて水害に見舞われるでしょう。せめて、3年に一度は河川の改修に取り組んでほしい。しじみがいる馬川を一度きれいにしましたがボランティアは“馬鹿がする事だ”とののしられました。社会の非常識に随分泣かされましたが老齢となり今は手を引きました(女性、70代)。
- 昔から「向う3軒両隣」と連携する様な地域づくりを望む。(女性、70代)
- 地域を生かし伝統を守って、行事を大切に盛り上げて皆が参加する事に意義がある様に、日頃の付き合いを大事にしていきたい。行政では形だった事が選ばれません？(女性、70代)
- 老人、安心なくらし。(男性、80代以上)

- 90才になり1人暮らしも皆さんに支えられ生活しております。(男性、80代以上)
- 若い世代の人が安心して暮らせる町づくり。(男性、80代以上)
- 買物難民です。週に一度でもよいから、移動販売等でも買物が出来るように望んでいます。(女性、80代以上)
- 行政はのんびりしすぎ職員手もちぶさた、アクビ多い。もっと、住民とふれ合い、地域の事知って欲しい。地方創生のお金を住民のために。(女性、80代以上)
- 何年か前には、スーパー栗田の前の川の清掃を重機を使って美しくしてくれてたんですが、何年も清掃をしてくれなくなって今では、川の中から大きな木が育って、汚いままになって暑い時には緑色の苔で臭い時もあります。何年か前みたいに清掃してもらいたいです。(女性、80歳以上)
- 高齢者の権力で若者を委縮させないでほしい。(女性、80代以上)

問27. 人口減少社会への対策として、上富田町はどのようなことを重点的に行っていくべきだと思いますか。あなたが普段感じていることを教えてください。(ご自由に記入してください)

▼ 19歳以下

【男性】

- スポーツの町として活動してほしいです。
- 出産体制の充実。(具体的なことは、良く分からないが、町民の意見を聞くことが出来たならば、明確な「答え」が分かると思う。・上富田町への誘致も重要だと思うが、上富田町で育った子供が、将来、上富田町に戻ってきたいと思うような、体制を充実させていくべきだ。・田辺市への通勤・通学が可能だという点を大いに活用していくべきだ。これが、他の市町村にはない大きな武器だと思う。
- 子どもをたくさん産むべき。やはりそのためにはきちんとした育児休暇を取れる就業場所が必要だと思う。後は、給料の引き上げも大切だと思う。
- 学生(子供)が遊べる場所が欲しいです。使っていない田んぼや土地を宅地にすれば良い。
- 治安が良くて、就職があって、交通が便利。16歳の僕なら。
- 学生にはまだよくわからないのでお答えできません。できればもう少しアンケートの内容をわかりやすくして下さい。

【女性】

- 遊ぶ場所がほしい！就職する会社も増やして。
- スーパーなどばかりなので、本屋など若者が来そうな店を増やす。
- 町のアピール。
- 町のアピールをする。(若者がきやすいような町にする)。
- 女性が育児しやすいようにする。育児でのストレスなど、結婚での相談口も増やす。あとは上富田町の予算も考えながら実行する。お願いします。頑張ってください。
- 赤バスはあまり利用されていないので廃止して、みなべのように予約制にしたり、もっと無駄のないように考えるべきだと思う。市ノ瀬診療所は患者が少なく、皆がもったいないと言っているのをよく聞くので廃止するべきだと思う。全体的に上富田町は赤字なのにお金をかけすぎだと思う。

- 大型スーパーなどの便利な店を増やしてほしい。でも、田舎には田舎で良いところもあると思うので、自然環境の整備などしたら良いと思う。（例：川のゴミ拾いなどをイベントのようにする的な）。
- 地域で老人から子供までいつでもコミュニケーションが取れる場所、助け合える、いつもオープンな場所を数カ所作ってほしいです。社会全体で地域全体で助け合っていけるつながりがほしい。
- 今の現状を上富田町は保っていけばいいと思います。でも、やはり住みよい環境づくりが大切だと思います。

▼ 20～29歳

【男性】

- 町外からの住民獲得。
- 町として行う事であれば、子供がいる家庭への税制優遇や相談体制の充実だと思います。ただ、それで他の負担が増えては意味がないため全て良くなるとは思えません。結婚や子供がいる家庭への更なる優遇や改善等、人工増加に向けた改善を行うか、老年・富裕層への負担増加や年金内容改善等の人工減少に向けた対策のどちらか又はどちらも国や町一丸となって進めていかないといけなく感じます。
- 人口減少は仕方がないので、それに見合った生活をしていけばいい。あまり気にする必要なし。
- 就職支援や子育て支援を充実させるべき。
- 働く若い世代へのサービスの充実。給食サービスの実現により親への負担軽減が見込める。
- 僕のように若い世代の結婚などへの関心が低いと思われる。もっと積極的に行動しやすい場を設けるべきだと思う。
- 少子高齢化が進む中、若い世代の人が住みやすく子育てしやすい環境作り、又働く場所の確保と、共働きでも安心して子供を預ける事ができる施設の確保が必要。又、よく耳にするのは、「上富田町の小・中学校は給食がないから、働く母親にとっては辛いから、住みにくい」と。お弁当にすると、食費が増大、家計を圧迫するという話しがあります。色々な問題はありますが、若い世代の人を増やす為にできる事から実行するべきだと思います。高齢者には福祉サービスの充実、福祉サービスの事業所との連携や経済的支援が必要。
- 教育施設の充実化が進めば若い世代の転入が増加すると思います。
- もっと地域の人達とコミュニケーションをとるべき。少なすぎる。雑すぎる。

【女性】

- 就職できるところ増やして下さい。就職したいと思える就職先が上富田にはないです。
- 労働者それぞれにきちんと休日を取るようにし、家庭での時間を作り家族との時間を作るようにしたら良いと思います。なので、きちんと休暇がとれる制度をつくるべきだと思います。
- 7月に開通した高速道路を生かして、県外の大企業の工業の誘致などを図り、雇用の創出や定住者の増加を期待しています。その為にも、もっと上富田町の良さを全国にPRし、知ってもらふ事が大切だと思います。自然の美しさと、インフラ等の利便性を兼ね備えた上富田町は最高なので、行政の力でもっと盛り上げていってください。
- イメージが悪い。給食がない。
- 問10と同じで子供を保育できる環境が整えば預けて働ける。経済的にも余裕が出る事から、子供の養育が可能になり、1人しか産めないという環境から、2人→3人へと増加できるんじゃないのかなと思います。雇用と子供を預ける施設が整えば、人口は増えていくのかな？と思います。

- 子育て世代への優遇を重点的に行っていくべき。
- 少子化対策。
- 若者、子育て世代への支援が少なすぎる。一部の人が利用する施設を充実するのではなく、他市町村で実施しているような施策（給食・医療費の無料化など）を最低限でも実施してもらいたい。ずっと上富田町に住んでいる人は分からないかも知れないが、私のように他市から引越して来るとこんなにイベント等を開催していて、お金を掛けてスポーツセンターが改修されているのに、住民に対しての扶助が少なくて異常だと感じます。また、毎月のように講演会が開催されているように感じますが、果たして町費（税金）でやるべきことなのでしょうか？一般企業や民間団体などで講演会・セミナー等は頻繁に行われていますので、わざわざ町がやるべき事ではないように感じます。この事だけではないですが、企業や民間がやるべき事を上富田町が実施し、上富田町がやるべき事を住民に負担させているように感じますので、是正してもらいたいです。
- 子育てがしやすいよう、補助を行ったり、学校の給食設置、医療費の問題、せっかく人口が増えている町なのに、がっかりです。
- 将来を担う子供達への行政サービスに力をいれるべきだと思う。
- 子育て支援政策や転入者への助成金等の仕組みを整えるべき。
- 子育て支援。
- 上富田町で子どもを産んで育ててもらうために医療費は義務教育終了までにする。小学校の給食を町内全校にする。子どもを産んだ時、田辺市みたいな支援もあった方がよい。上富田町はお金がかかる。もっと若い世代にやさしい町にしていけないと上富田で子どもを産んで育てる人は少なくなっていくと思います。
- ・ずばり、子そだて支援です。一番大きな役割である子そだては地域の行政の考え方次第だと思います。サポート、相談、支援、地域で子そだてを支援して、不安なく子育てができるような、環境を整えて下さい。働く場所は、自由に選べますが、教育機関は選べません。教育の内容のレベルアップと、安心して働ける地域であってほしいです。
- 車などの移動手段がないお年寄りが買い物や病院に行きやすくなるシステムを作れたらと思う。寄り合いタクシー、移動販売が可能なお店など。
- 人口減少社会になることで何か不都合なのかわからないです。人口減少がダメなことなら、田辺市や白浜町と合ぺいという選択もあるのでは…と思います。

▼ 30～39歳

【男性】

- ・安定した雇用の創出。・文化的なレベルの向上。→人口減少とはあまり関係ないですが。
- 紀南全体が雇用の安定が見込めない状態が続いているのかと思います。（町内だけの問題ではありませんが）経済の縮小が止まらないとなれば、それこそ若い世代は町外どころか県外に流れていってしまうのではと考えてしまいます。
- 転入者を増やす施策。
- 子育て支援へ重点的な援助、医療費等、同和対策費の減少。
- 子育て世帯への支援を充実させ、より多く子供を育てていける環境作りが必要である。子育て世代には学校給食が無いことも大きな負担です。毎日弁当を作るのも大変です。また高齢者福祉も大切ですが今後の町を担っていくのは、子供たちです。その子供が減っていくようでは町の将来も地方創生も絵空事ですしょう。

- 3月にはるかぜ保育所を退所させられました。制度の問題だそうで2年間慣れ親しんだ保育所から田辺の幼稚園にいきなり通うことになりました。4歳児にとってはとてもかわいそうな事で、これが町民にサービスを行う役場の行政かと感じました。この事実を行政に携わられている方々が知っておられるのか田舎の人間味あふれるべき（実際あふれていると感じていた）役場が、こんな杓子定規なことをするのかとショックでした。同じ思いをする町民が出ない町にしてほしいです。給食、子供の医療費の問題も他市町に比べ情けないと思います。町立の幼稚園がないことも不満です。追伸、幼児が家にいる家庭にとって昼の町内放送の音量は迷惑かなと・・・昼寝いつも起こされます。
- 少子化対策。
- 医療費の補助で日高町は人口が増えているみたいな話を聞きました。若い世代は、お金に余裕がないので子供をあきらめたり、上富田に住んでいるのに町外の実家に帰ったりとか、周りに何人もいたので、とりあえず子供の医療費の優遇ができていればそういう人も少なくなると思います。若い世代に限らず医療費がかかるので病院に行けない人や、病院までの交通手段がないお年寄りの人もたくさんいると思うので（います）上富田町人全員が住みやすい、住めて良かったと思える町にして下さい。それが上富田町役場の仕事だと思います。役場がひっぱてくれれば協力する町人は必ずいると思います。
- 子育て支援。
- イベントの数を減らし、その分のお金を他の事に使って欲しい。例えば、国保税や介護保険料を安くしたり、小学生の医療費を無料にしたりすることに使ってほしい。イベントの数を減らすだけでは無理だと思うので、企業誘致を積極的に行い、税收UPと雇用の創出を図るとともに、若い子育て世代が住みやすい環境にする為に、教育・保育サービスの充実を希望します。

【女性】

- 安定した雇用がまず第一に考えなければならない。それから地域活性化するために何かあれば良い。しかし、今でも十分なくらいにいろいろな取り組みがなされている。新しいことも必要かもしれないが、今まで行ってきたことを続けていくまたは発展させていくのも一つの方法かもしれない。私は生まれ育った上富田町が大好きです。
- 企業誘致。
- 口熊野マラソンのように町外、県外の人に知ってもらえる機会が増えれば…。
- 若い人に来てもらい、上富田で子育てしてもらおう（上富田がふるさとになる人を増やす）その為、保育、子育て支援、教育の充実、小・中学校の学力向上等に力を入れる。田辺、白浜へ働きに行く事が可能な場所なので企業を増やすより、ベッタタウンになる方がいいと思う。ただ土地が安い…というので人が増えるより、上富田の教育がいいという土地にした方が治安もいいし、良い人間が育つ、上富田から世界へ活やくする人をたくさん出してほしい。自然豊かでいい所だと思います。でもただの田舎でなくできる、力のある田舎になるべき！！未来の明るい子を増やすしてほしい。
- 生活支援（金銭面）が大きいと思います…。格差社会の広がりから6人に1人貧困で苦しんでいる現代と聞きます…。金銭的に支援が無いと…人口減少は進むばかりに思います。
- 医療サービスの充実。私はお弁当を作る事に全くの抵抗がないのですが、友人達は給食のない事に驚き、転居してくる事への一番ネックになっていると思います。
- 医療サービスの充実。
- 新しい命を確保する為には、若い世代のニーズをとらえる事が大切で、龍神の様に結婚し定住した人への御祝金などの補助や家賃の安い物件、子供が産まれた際の受けられるサービスの情報公開（ex. 無料で遊べるイベントや場所）。
- 医療費を中学卒業又は高校卒業まで無料にしてほしい。

- 子育て世帯にとって住みやすい街づくり。安定した雇用と後、仕事中に安心して子供を預けられる環境がそろっていると、自然と子供を2人目、3人目と産もうと思えるようになるのではと思います。何も考えずに2人目、3人目を産めるようになれば、素晴らしい世の中になっていると思います。
- 財政難だとばかり言っても何も変わりません。子育ては本当に支援対策して下さい。医療費も完全無料が現状無理なら何らかの負担軽減策をして下さい。幼児教育も町内に幼稚園1つ、しかも私立で保育園に入れない場合、田辺市へ通うしかない、仕方ない状況なのに私立幼稚園の奨励金の対象者所得の上限が低く支給金額も低いのは納得できません。田辺市と同じにして下さい。人口減少への対策は子育てと人口流出を少なくするしかないと思います。なのに子育てしにくい。若者の雇用、所得のアップが見込めないのは対策としてできていないのではないかと思います。白浜、田辺、近隣市町村の中で上富田の子育て支援が一番劣っていると感じています。早急に対策下さい。
- とにかくにも、子供の医療費無料化を願っています。
- 今のまま子育て支援と治安の良さが継続して欲しいと思います。
- やっぱり、子供の数が少ない。少ないことのメリットもあると思いますが... 出産、子育てしにくいという事だと思います。金銭的な助成を多くすれば楽になるのかもしれないが、長期的に続かないと思うので、金銭面だけでなく他の対策を充実し、長期的にサービスを提供できるような支援をしてほしいと思います。家賃も高いなと思います。津波の心配も少ないので、小さい子供がいる家庭には良い町だと思うので、皆が住みやすい、生活しやすい町になっていけたらいいと思います。がんばって下さい。(住民にも行政まかせにしない、自分たちも考えることも大事だとも思います。)
- 子供の医療費無償制度の年齢を上げたり、子育て支援の充実をはかれば子供を産んでも住みやすくなるように思います。
- 幼稚園、学校の給食を早く実施してほしい！！子どもの医療費無料の年齢をのばしてほしい。南紀の台など若い世帯（子育て世帯）が増えつつある気がするので、子育て世帯に力を入れてくれるともっと若い世帯が増えると思う。
- 田辺・白浜のベッドタウンとして推進するために道幅を広くし、歩道を設置する。
- 通学している上中と熊高生が自転車で通学している時間帯、あまりにも道路が狭すぎます。安全を考えるとのであれば、もうちょっと道幅を広げて安全確保してほしいです。バスで通学している子もいるし、バスがとまるたび道路が混み事故につながると思います。
- 地域の活動を参加しやすくしてほしい。(草刈りや部落の活動など) 新しく引っ越して来た人にはなかなか参加しづらいものがあると思う。高齢の方と子育てをしている世代で色々考えも違うので、常に一緒ではなく別々の活動もあっていいと思う。
- 上富田町居住者が生活をする上で生じる問題解決に必要な情報・解決するサービス(業者・人材等)を提供してもらえ総合相談窓口。(たらい回し不可) この電話番号にかけると“次に何を、どこにお願いすればよいのか”が明確になる”いわば町のコンシェルジュが必要です。業者との癒着は問題外ですので、コンシェルジュとなる方々の人間性・専門性の高さを希望いたします。

▼ 40～49歳

【男性】

- 高校卒業後の教育施設の絶対的な不足から一度は県外へ転出し、多くはそのまま地方で就職といった若者が多いと思います。都会への憧れや利便性を求めて出て行く一方、資格取得などスキルを身に付けてUターンを目指していたものの、適う仕事がなく帰ってこられない者も多いはず。因みに紀南地方の高校生全員が地元での就職を希望した場合、受け入れられるだけの雇用があるのでしょうか？現役世代が生活の本拠地とする最優先事項は、安定した収入を得られる仕事の有無であり、次い

でその通勤圏内となるはずで。紀南地方と大阪や名古屋を短時間で結ぶ新幹線などが整備されれば問題解決に向かって大いに前進すると思われますが、実現は難しいのでしょうか？まずは高速の延伸が地元の利便性のみならず、企業誘致のPRとして実を結ぶことを願っています。

- 良質な雇用の場の確保。
- 国全体の対策、措置は高齢者、障害者に向きすぎている気がします。未来を支える若者に目を向けて欲しいと感じます。
- 企業誘致や、安定雇用の確保をすることにより子育て世代が、安定して子育てをできる環境づくりが必要である。地域コミュニティを密にし、情報交換をできるようにする。空地造成など。
- IT企業などの誘致。
- 企業誘致。
- 多くの若い世代の人を受け入れるだけの仕事が、紀南には無い様に思います。他の地域に出て行かなくてすむ様な安定した雇用があればと思っています。
- ・合併・企業誘致（水が良いのだから、ビール工場とビアガーデンのセットなどオリジナル製品も）・町役場のアナウンスを標準語に・教育・医療施設の拡充。地方ブランド力のある町名への改称（西牟婁も良くない）・地方ブランド力をもった企業の創出。
- 他府県からの永住者の募集と広報活動が必要。
- 結婚の推進（若い世代）具体的に婚活などをしてみては。
- 若者が住める町、あつまってくる町、帰ってくる町にしてほしい。専門学校や専門施設の増設スポーツ施設を生かした宿泊施設を設置。
- 給与アップ、それがないと、子供にお金をかけられない。
- 給食実施等地域の少数意見に惑わされる事なく、税金を有意義に活用して頂きたいです。
- 人口を増やすには子供が増えないといけないと思うので子供が2人以上産まれた時には育児補助金などがあればいいと思います。
- 婚活をしていくべきだと思います。
- 色々な支援があればいいと思います。税制優遇、補助金など。
- 収入が少ない上、税金の支払いも多い。これじゃ人口減少していく。特定の優遇措置はやめて欲しい。特定の人達の子供の人数が多い現実。
- ベッドタウンとしての上富田町を推進整備するのと同時に、人は自然の中で子育てをしたいと思うでしょうから農業などの土地を必要とする所は残しておいた方が良いでしょう。手あたり次第工業団地や住宅地開発をすると儲かるのは企業側で、上富田町としての魅力が半減します。景観も考え、せつかくの口熊野ですから外国人観光客が来てもがっかりしない様日本ならではの有り様を造っていくべきではないでしょうか。
- 自家用車がなくても、利便性のいい町づくり。
- 自立した町づくりをなすべきだと考えます。

【女性】

- 企業誘致と就労支援。地元を活性化して若い人々がこの地で働きたいと思えるように。観光資源が豊かなのに商業的に（また自然保護もしつつ）まだまだ発展できると思う。
- アパート・マンションなどの家賃の見なおしなど仕事の選択肢を広げて欲しい。現在高齢化社会にな

るつつあり就労体系も考え直す時なのでは。

- 企業を誘致して若者が他県に出ていくのを食い止めると同時にネットで上富田町の魅力を発信していく。
- ・子育て世代で共働きの家庭も多いと思いますが、保育所は延長で18:00か19:00位まで保育してくれますが、小学校へ入り学童が17:30で以降延長料金を払っても18:00はどうかと思う。田辺市は1ヵ月8,000円で教員保育経験者が指導員になっていて安心できたし、18:00まで預かってくれる。なごみは10,000円も払い、働いてるのはパート主婦、時間になると子供のランドセルは玄関におかれて、職員も自分のカバンを持って出口で待っている。あいさつしない！子供のケガの報告もない！謝罪もない！ひどい学童でウワサ通りですぐ辞めました。安心して預ける所がないので、1人で留守番させてます。学童保育を見直して下さい！
- 給食施設をつくって子育て世代を呼んでください。
- 今後、女性も働かないと生活出来ないと思うので小・中学校の給食は必要だと思います。
- ・給与をアップさせること。・働く場所、時間をもっと選択できる企業が増すこと。
- 学校給食は、絶対必要です。「食育」という言葉があるように、お弁当ではカバーしきれないものがあると考えます。全国的にもかなりめずらしい町です。優先されるべきです。
- 小さな子ども（幼～小学校）たちがおもいきり体を動かして遊べる場所が欲しい。例えば、昔、古道ヶ丘にあったようなアスレチック施設や町営プール。ボール投げをしたり、走りまわったりできる場所が少ないような気がします。上富田スポーツセンターは遠いし（小学校の足では）、彦五郎公園はせまいし。小学校のグラウンド以外で、何かないかといつも思います。夏は、白浜の阪田のプールが近くにあれば、もっと行けるのに…と思いながら過ごしています。
- 上富田町は土地を購入するに当たり、安いので家を建てるのには建てやすかった。実家は、田辺ですが、20年間上富田に住んでいたこともあり、上富田に住むことにしました。人口が唯一増えている原因は、それではないでしょうか？人口は、今位が一番良い気がします。母子家庭等不正に受給している人達もいます。そういうのは良く確認して改めて欲しいものです。給料が多い人から税金を取るといっていますがそうなるのには、努力しています。休みもなく仕事しています。
- ・給食（学校）は早く行ふべき。働く母親が安全・安心して子供をたのめる、病気でも土・日でもたのめるような所もあるといいです。・働き先をもっと増やしてほしい。・治安が良いとたかをくくり、パトロールがうすい！駐在所に人がいない事もしばしば…。夕方、熊校、上中～311号線と、ビールをのみながら、軽トラを走らせているのを何台か見ます。スマホをさわりながらダンプが走り、信号無視する車…。パトカーが走るだけでも、注意をうながせます。
- 若い世代が住む場所を決めるのに給食があるかどうかは重要で、ないところはさけると思う。ないと本当に大変です。
- 子育て支援。福祉の充実。
- 行政サービスの充実、福祉や医療の充実など、この町に住みたいと思えるような施策を考え魅力ある町作り。もっと町の情報を発信し、わかりやすいようにしてほしい。
- まず子供の医療費を高校卒業までただにしてもらいたい。南紀の台にスーパーを建ててほしい。南紀の台からの学校（小中）の通学路をもっと安全に整備してもらいたい。
- 子育て世代が住みやすい町を目指してほしいです。学校給食、医療費無料化、その他の優遇など。他の行政が出来て上富田町が出来ない事はないと思います。一番先に解決すべき問題であると感じます。
- 学校給食の実施や子供の医療費無料制度を先に（早急に）行って下さい。
- 子供は元気でイキイキと過ごせるよう。高齢者も生きがいを感じながら過ごせる上富田町であってほしいです。

- ・学校給食・子育て支援。
- 上富田町の人口が増えてきていると聞きます。質問の内容が今ひとつ理解出来ません。実際に南紀の台は災害等の事を考えて、引越されてくる方が増えてます。ならばこれからはもっともって教育・福祉などに力を入れていかなくてはならないのでは…。
- 医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制、地域包括ケアシステムの構築を実現すればと思っています。それによって仕事づくり、人づくり、町づくりを実現又は充実する事を普段感じています。
- 高齢者の方が、住みやすい環境を作っていく事。
- 上富田町は明らかな人口減にはなっていないように思うので現状維持できればよい。地域のコミュニティが大切とは思いますが、仕事柄近所の方と接する事が少ないので、みんなが参加しやすいイベントがあったらいいのかなと思ったりします。
- ごみの収集について、ひとり暮らしの人はゴミが少ないので、スーパーの袋（ビニール）でも収集してほしい。コミュニティバスは運転が乱暴であった。もっと丁寧な心ある運転して下さい。健康のため、ジム（スポーツ）もできる公共の施設を作してほしい。上富田スポーツセンターも一般の人々も利用できるように。例：早朝ランニング・ウォーキングetc。夕：ランニング。
- 田辺市や白浜町と合併してもいいかもと思う事があります。大規模商業施設もなく、不便に感じる事が多く、休みの日はほとんど田辺市に出て行きます。便利な所に人は集まるだろうし、病院も大きな病院だと田辺市に行くし、自然が多いのはいいけどやっぱり便利な方がいい！白浜町は子供の医療費無料だし、学校給食もあるし、とても魅力的だと思います。上富田町の魅力…土地が安い事くらい？
- 今の上富田町に不満はない。

▼ 50～59歳

【男性】

- 雇用の創出。財政の健全化。
- 雇用の充実。その為の大胆な施策の展開。トップ又は担当責任者の大胆な発想を重点的な施策（優先順位を大胆につけて実行する）が大切になると思います。
- 若い人たちに生きがいのある職場を確保してあげてほしい。
- 町の知名度が低すぎる。全国に向かって発信。全国一なものを創生する（農作物、福祉、医療、子育て）上富田のゆるキャラを作る。救馬谷、だるま寺、スポーツセンターをもっと売り出す→宿泊施設（町営）を併設する。冬美さんかがんこ寿司小嶋さんのネームバリューを活用する。ひょうたん（水筒、スピーカとして売り出す）。
- 安定した人口を維持していくためには、安定した仕事場所があることが大きな条件となるのではないのでしょうか？熊野古道、白浜温泉、龍神温泉等が近くにあり、高速道路も開通した利便性を生かし、就労対策をうつことが大切だと思います。
- 急傾斜地などを宅地化して若い人を呼び込み、町内で働き続けた人が優先的に入れる格安な老人福祉施設を作る。
- ますます高齢化が進む上富田町で必要なのはやはり若い世代を呼び戻す魅力的な町にする事だと思います。大学を出た世代が上富田町にUターンしたいと思えるような就職先の充実も必要だし、専門学校等も招致するのも一つの案だと思います。高齢人口と若年人口のバランスの修正が必要だと思います。
- 問10に書いた事もひとつになるのでは。それに関係する事業。ひと昔前のような「田舎に帰って百姓

するわ」みたいな。

- 1. 子育て支援。2. 不妊治療の補助。3. 結婚支援。
- 住宅など優遇や補助金、保育、学童の充実や医療費の無料制度を。年配の人などにも施設の充実をはかるとともに自宅介護の支援も力を入れてほしい。
- 1. 田辺市への吸収合併。2. 町内のすべての小学校および上富田中学校の給食の開始。3. 上下水道の普及率をもっと上げること。
- 安心して子育てをする事が出来る町作り。
- 商業施設の誘致。住宅地の整備（町営住宅の整備）。
- 商業施設の充実を含め住環境の整備、小児医療、育児福祉の向上を進め、若者、子育て世代の人口流入の促進と定着。
- 子育て施策の充実と負担軽減。教育環境の充実（図書館の充実）ひとり親に対する税軽減。雇用確保。
- 人口減少→子供を産む→子供を産むのは女性。女性は生活家庭の中心→女性を誰よりも大事にする女性重視の町として宣言して、町作りのテーマを「女性」にすれば（重点）必然と「女性」による男性の心が動きますから「男女」の活発な交流が生まれ、子供を産み育てる世界がのびます。全てのカテゴリーで女性（若者・老人）を大事にするテーマでアイデア創出すればすぐに結果が出ます。上富田道の駅は女性にアイデアを出してもらえばきっともっと活性化します。
- 学校給食を考えてほしい。
- 夫婦2人に子供2人で現状維持なのですが、結婚しない人や子供のいない夫婦もおられるので3人目を育てやすい環境を作ってもらいたい。3人目に対する教育費の助成が効果があると思います（親に払うのではなく）。健康なりタイアされた保育士や教師の方に託児所（施設でなくてもご家庭でも良い）になっていただく。許可が必要なら基準をゆるやかにしてもらおう。モデルケースを掲示できれば引き受けてもらいやすくなると思います。取り組みのサンプルが増えればよりやりやすくなると思います。
- 住みやすい町になると人口も増えると思います。近年上富田の人口は増えている様ですが、この町に引っ越されて来た方の年歳で子育て世代が増えるのか、年配の方が増えているのかそこにこの町の住みやすい魅力があるのではないのでしょうか？そうすると悪い点も解かると思いますよ。高齢者にとっても住みやすい町は、歩道を充実させるといいと思います。丹田台の上下水道代、空き家ですが仏壇があるので水道つなげてますが、下水道代も水道代と請求が来ます。基本料金、下水道代1550円と水道代の請求は親子3人の生活水より高くなります。人が住んでいないのに基本料金などと下水道代をとられるのはぼったくりに値します。このシステムに怒っています。上富田町に税金を沢山納めていますが、あまりよくならないので腹が立ち、ふるさと納税してます。今後の上富田に期待して見ていきたいと思います。
- 自然な環境は保全しつつ、万が一の時のライフラインがすぐ立ちあがる安心な町、安全な町を目標にトータルの福祉、学業、起業などバランスのとれた町が住みよい町になるのではないかと思います。
- 問10の回答のとおり。町長はじめ町役場の皆様いつも御苦勞様です。小出町長の勇退のうわさがあり、事実であるなら大変残念に思っています。上富田町には無くてはならない人物と確信しており、是非今後とも継続していただき「町のご意見番」として正しい道に進む様尽力していただきたい。

【女性】

- 企業誘致。道路整備。小学校の設備充実。自然災害に強い町。
- 収入が少なすぎるので結婚できないのでは。結婚しても共働きでないと食べていけない人が多いと思う。仕事、家事両立するのは難しい。親に余裕（金銭・余暇）がなければ子育ては難しい。結局、安定した雇用がなければ人口は減少すると思う。

- 若い世代が働ける場所を提供して欲しい。賃金が安い為、都会へ流れて行ってしまうので、賃金をあげて欲しい。
- 働く場があること。特に若い人の働く場、一生懸命働いて収入を得、この豊かな自然の中でゆたかに暮らしていけたら、若い人が「住み、結婚したり、子どもを育てたい」と思うようになる（はず！）。今すぐ「保育園を作ろう」とか補助金を！～とか目さきのことにとらわれず、もっと広い意味でそれがより豊かな富田町になることが住みやすい街になること。住みやすい街には必ず人が集まってきます！
- 田辺市、白浜町と隣接するため、立地条件はいい。加えて安定した雇用が望めれば、人口は増加していくと思える。和歌山県でも岩出市と上富田町は人口増。長年住み慣れた土地であるからこそ自然や地場産業を活用した町起こしを進めてほしいと思う。田辺市上秋津の町起こしを始めとして町起こしに成功している先進地に学ぶことも一方法（既にされているかもしれないが）。地産地消の上富田町であってほしい。
- 上富田町をアピール（住みやすさ等）し、転入者を増やすべき。
- 他町の人でも上富田へ住みたいと考え感じられる町づくり。住みやすさのPR。都市部からの受け入れ。子作り支援、子育て支援など。
- 若者の定住ができるような環境作り。まずは、雇用促進。居住するには、すばらしい土地環境であると思われます。若い世代の人口流出を防ぐべく、手立てが急務だと思います。
- 1. 出産及び乳幼児・児童の医療費を無料にする。2. 食育の上でも、早期に給食の制度をすすめて頂きたい。（1日1食だけでも栄養バランスの取れた食事を提供してあげて欲しい）。
- 結婚して住居環境、子供の育てる環境への配慮に努力すべき。スーパーも増え高速道路も通り住みやすい町になってきていると思います。
- 土地購入しやすくする。企業誘致して若者の就職先を保障する。農業活動保障。
- 子育てをしていくにはやはりお金がかかるので町内で働け安定、安心出来る生活が送れば良いかと思う。
- 若い世代が増える為に教育施設の充実、内容向上に力を入れて欲しい。（たとえば、スクールバスの取り組み等）歩道が少ないのも安全な町とはいえない。
- 子育て支援。産休、育児休暇の充実。雇用。
- 子供に対して、医療費無料制度、保育・学童保育の充実。若い夫婦への子育ての為に支援。高等学校卒業までの学費・制服など無料制度など子供をたくさん産める様に支援を高めたらよいと思います。
- もっと職場の受け入れを多くしてほしい。若い人が多いと年齢制限が発生し就職しにくくなる。
- 子供を育てやすい環境を作る。
- 老人介護の施設やマンパワーの充実。
- 子供の医療費無料制度の見直し。ご年配の方々の交通手段の利便性。
- 若い世代も年配の人も世代に応じた住宅の不足と格安物件が不足している様に思います。最近、治安の悪さがちらほらと耳に入ってきます。場所によっては外灯がなく真っ黒な所も多いので気になっています。
- 上富田の人口は微小ながらもプラスの状態が近畿圏でもまれな地区です。福祉を重視して転入を計り、元気で長生きな長寿生活を助成して、住みよい上富田の人口増加を期待したい。
- 人口減少を意識し、考える前に上富田町としてもっと若者に住みやすく、魅力のある町であることを、伝えて行かなければならないと思います。初めは町内会同士での若者の交流。次は地域と地域での交流、若い世代がもっと前に出て自分達の上富田町のことを話し合ってもらいたいと思っています。上富田

町に嫁いで35年以上たち4人の子供も独立しています。4人の子供達も町内会または地域での集まりや活動があまりなかった様に思います。家ではよく町内会や上富田町全体で何か出来たらいいなあ～と言っていました。2人の子供は上富田町で世帯をもって過ごしています。私もこの上富田町が大好きです。

- ・スポーツセンターの利用のしかたがわかりづらい！・個人的に利用がしにくい！
- 上富田はとても住みやすく大好きです。大型の店が増え町外の方も沢山買物に来ます。若い人は車を使って便利ですが高齢者及び過疎地の人にとってはどうでしょう。赤バスの本数が減って本当に必要な方が困っている現状です。又上富田は口熊野なのにあんなにただの通り道になってしまうのではないのでしょうか。空家を利用し、喫茶店や宿泊施設を作り、熊野古道を歩くお客様に利用してもらう。東京の府中に優歩道という自転車と歩行者だけの道は、最高です。上富田にあれば、子供やお年寄りのいる家族にとってとても嬉しいし、住みたいと思うでしょう。あちこちに小さくて良いので子供達が遊べる公園があれば嬉しいです。
- ・コミュニティバスが広範囲により、運営、運転されてほしい。鮎川、生馬等の便がない。上スポへの便も増やしてほしい。
- 同和対策に力を入れすぎだと思う。
- 納税者を大切にすること。
- 一番心配なのは将来自分のもらう年金です。せめておさめた分くらいいただければ・・・。
- 子供もいないので普段上富田町より何か恩恵を受けている感があまり、ほとんどない。(ゴミの収集くらいかな?)。

▼ 60歳～69歳

【男性】

- 安定した雇用が必要だと思う。
- 雇用の創出。医療介護の充実。教育の充実。治安の良さ。
- 就労ができる場を拡大していく。
- 雇用の充実と子育て支援に力を入れてほしい。
- 若い人の雇用の安定、住まいの支援。
- ・若い人が、働き場所賃金が安定する事。・社会福祉が充実している事。
- 頑張って働けば普通の生活が必ず出来る様をお願いしたい。
- 学校を卒業すると就職や大学へと都会に流失してしまう現状では、人口減少はあたりまえで歯止めは効かないと考えます。都会の給与が良くても家賃や生活費に消えてしまうにも関わらず都会の魅力に負けてしまうのは何故か、吹田市には吹田で育ち吹田市以外は知らない方がたくさん居られます。一つは地の利も有るでしょうが、大阪市を必要としない魅力が有るのではないのでしょうか。
- 大・中小企業の誘致。例えば救馬谷観音の周り付近に、観音様に関するような施設を作ったり、室内競技場を大々的に作ったり、国道42号線をただの通過道路にしないようにしたり、町を整理していけたら。
- 仕事をする場の確立。市内岡地区と田辺市三栖地区の道路整備（バイパス）。教育現場の整備。
- 若者が定住出来る職場。定年者より若者にアンケートに書いてもらうべき。
- 働く場が少ない。企業誘致もいいが、町に人が遊びに来る様な何かがあれば良い。

- 企業誘致の確保により、雇用を拡大して若い世代の定住を生み出し、子育て支援を行う。又、学校においては、給食を実施する事によって若い世代が増大する。
- 若い人達の働く場所（企業）をもう少しつくり、県外へ出ず上富田に定住してもらい、賃金に対しても子育てをしている家庭には時間給を考えてあげてほしい。（会社が認める仕事をする人の事で若いけれど怠け心のある又は態度の悪い人は例外です）。
- 積極的に、企業誘致を行なうため、山を切り開き大企業を進出させ、住宅開発をして、若者が定住できる地域にしてほしい。高齢者の支援を大事にするためにも大規模な開発で税をふやし、若者が定住できる環境づくりをしてほしい。それから、観光面に力をそそぎ、PRをして、なにか、上富田町だけの観光ブランドができないかしっかり考え発信して多くの人を呼ぶような、イベント、観光開発を考えてほしい。
- 人口減少に伴う税收減、教育等のサービス低下、不都合は出てくると思う。しまいました、町の落ち着き、ストレス減少など数字として出ない住みやすさが出てくると思う。経済・商業など働く場の確保とともに、文化の町としての施策を希望します。
- 小農地を整理し大規模な農地に変へ作業の能率化を図り宅地の増加、人口増につとめる。
- 旧来のどこの市町村も同じ様なことをやっている様では人口減少は止まらない。全国に発信出来る様な上富田町独自の行政を行うべき、その為には若者の新鮮な意見を吸収し上層部は余り口を出さないこと。又こういうアンケート結果はフィードバックすべし今回も少なくとも抽出した2000人にはこの結果を報告すべき、この様に町としても民間と同様強い意識改革が求められているそれなくして人口減少の歯止めにならない。
- 昔のような仲介する人、見合いお婆さんがいない。町内会の仲介会を作り会合する事。
- ・子育て支援の充実。・住居に関する不動産情報の提供。
- 子育てしやすい環境づくり。
- 人口減少の最大の要因は少子化であり、若い世代の町外流失を防ぐ策をもっと考えるべきである。又、町内には男女共に年齢を問わず独身者（離婚者含む）が多く、「結婚について」の設問にもあった様に、異性とうまく付き合えない若者が増えていると思われる。そして結婚というごくあたりまえで一般的な事に不自由さと不安を感じている。個人的な問題もあると思うが、町としてもっと大々的に出会う機会を設け、夢をもてる講演を開く等、考えて頂けたらと思います。
- ・今、移住推進を進めているようですが、子育て支援（給食、健康保険の支払等）が不十分なので、上富田町に引越してこようと考えてた人が、田辺市に決めてしまった様に、移住等するには魅力に欠けると思います。・税收を増やす努力をして下さい。
- 1. 子供の遊び場の少ないのはなぜ？空地は立礼ばかり。2. 減少すると誰が困るの。3. 子供達の登下校時のあいさつがどんどん少なくなってる。さみしいよね。4. 次の世代を育てる事が大切！教育委員会頑張れ！
- 子育て世代への精神的、金銭的な支援。
- 子育て支援、老人の健康対策。
- 若者が生活しやすく、生活の安定すれば子育ても安定して多くの子供も生まれて人口も増えると思う。
- この町に住んで良かったと充実感みちる町の風土を求めてまず人間としての人格や思いやりにあふれ何でも頼みがいのある人々で依頼されたことに的確な返事や結果の出せるようなあたりまえのこの出来る人間形成の教育が大事と痛感している。この地の半農半業の風土をチェンジする教えや指導で人と人の約束を重んじ思いやりや報告・連絡・相談・了解を求める習慣をその教育の徹底をし、感謝の精神を身につけた人間性に富んだ人が育ち、暮らす街を目指してこそそこから色々な文化や経済・学問が充実する町があると思います。

- 現状維持に努力、一夫婦に3人の子供育成。
- 買い物するスーパーふやす。若い人の働く場所、会社などふやす。
- 上富田町は紀南で人口増（維持）の町であるが町外からの転入によると考えますが、一方今後老人世帯（独居老人）の空家が増えると思いますが、個人資産であり行政がどうこう出来る問題ではありませんが、今後の課題の一つではないでしょうか。
- 下記の意見は上富田町というよりも国レベルの問題ですが。1. 子供を産み育てるのは夫婦のプライベートの問題と認識していますが、昭和30年代の頃と現在と比べて社会の仕組みに課題があると思う。もっと国において議論を深めて欲しい。以下2. 3. は関連です。2. 都市に企業の本社があつて紀南に出張所がある場合単身できている。3. 所得があつて、能力を持っている子の家庭の一部は子供を都会の学校に行かせているケースがある。上富田町としては、現状では、子供を安心して産み育てられるように、長時間保育の体制が必要だと思う。
- 育児環境や通学環境が良ければ子育てしやすく又、これからは女性も働きながら子育てする方が多くなると思いますのでそんな援助も必要ではないかと思います。（長期の休みとか病気の時とか・・・）又、元気なお年寄りがもっと社会に参加できる仕組みを作って頂けたら、労働力を補えるのではないのでしょうか？若い人も老人も助け合って生活できる町になるといいですね。
- 住宅地開発整備（不耕作地の活用など）現に庁舎付近を見れば分かる通り。
- 減税。行政改革。
- 財政の健全化。借金を無くす。
- 上富田は町村合併をしなかったのだから小ぶりの町なりに今の町政を進めていくべきである。他の市町村からもスポーツが活発や（マラソン等）新聞紙上を飾るニュースをよく出しているという言葉も聞く。今までのところ地震、大水害という大きな災害から不思議とはずれている感じがする住よい町かも知れない。津波も心配ないのだからその分少しでも心配される防災地点を点検していくようにすると良い。
- 役所のする事に良かったためしはない。人口減少は生活苦からきているもので、皆それぞれが考えて子供一人に金をかけて育てなければやっていけないからだと思う。国民は自分の生活が出来る様に工夫してやっているのに、消費税、介護保険とかいらん制度作るな。ムダ使いのしすぎ。議員も減らせ。おかしい質問してムダ使いするより年金だけでも生活出来る様にしたら！

【女性】

- 大手企業誘致で働く場所を拡大し、若者の定着を考える。
- 若い人達が町外へ出て行かなくても十分な仕事につけるようになればよいと思います。
- 口くまの道の駅などを充実して、今よりもっと品物を多くして楽しくなるような、もう一度行きたいと思える場所にすればいいかと思います。
- 若い夫婦の住宅支援。安定した雇用の支援（60才以上でも安定して働けるように）。
- 若者の結婚、出産が何より大切と思うので、婚活イベントをして結婚をうながす文館等結婚式をしたり、安価で式をして町民で祝福する。子供が出来たら時間のある経験のある者で子供を見守る体制ができれば心配なく出産し老若で助け合えるのではないかと。
- 若い世代の方が住みやすい町に。具体的には学校給食の充実。医療費の負担減。河川敷に子供公園を。
- 保育所、学童保育の充実等子育て世代が共働きしても安心して住みたいと思える町づくりを。
- 結婚をしない若者が沢山いると聞いています。幸福の原点と平和世界のベースは家庭です。夫婦、親子が仲良く暮らすことそこから全ての解決の道が見えるはずで。教育はとても大切です。何故結婚したらいいのか、何故子供を産み育てるのか、核心的な事を大人がまず知り、明るい家庭、家庭再建

運動をしなければなりません。「家和して万事成る」と古事にもあります。せめて学校時代からこのような教育を受けていたらどれ程私達も助かったでしょうか。あまりにも無知ゆえ路頭に迷ったり罪も犯したり自己中心になってしまいます。町おこしも人づくりもベースは心のあり方を正すことからではないでしょうか。外的なことだけに走っても行き詰ります。

- 環境、治安の良さ年寄りから若い人まで住みやすい町をアピールすべきだと思います。
- 日本全体少子化が進んでいるので、人口減少はやはり仕方ないと思う。2年前に転居して来たが、近所のつながりもあいさつやほんの少しの言葉がけで終わってしまう。自分が子どもの頃の様なつながりはなかなか望めない様になっている。人と話す事により、情報交換ができていろんなイベントや催しの話題も判ったり、次々と広まるのだと思うがー。色々といふ面倒で。自分の友達とのつながりにいってしまう。各地区の中でリーダー的な方がいて、みんなに声かけし、一緒にできるものがあればいいのにーと思ったりします。
- 教育に他の市町村とちがい、特徴のある学校がある事（英会話の時間が多い、学力のレベルが高い）上富田町で子育てしたいと思う様にさせる事。
- 上富田町は他町に比べて若者家族が多いと思う。子育ての環境を整えて、2〜3人の子供を持てるなら人口増になるのではないのでしょうか？
- 幸い上富田町は今は人口減少は心配ないようですが若い人達が結婚しない、又はすぐ離婚という現代の風潮ではいずれ減少していくと思います。直結する事はないですが、「家庭」の価値観を若い人に再認識してもらう教育が大切だと思います。個人の自由ばかりを主張していくと人口減少は免れないと思います。
- 将来的に希望が持てない社会。今の若い人の子供達が大人になった時に今より良くなると思えない社会になっているのではと思っている若者も多くなっている様に思う。子供を持たない若夫婦も増えていると思う。
- 住民のローンを組み仕事をしている人に聞いた話だが、若い人が住宅を買う場合「給食」がない上富田はいや。田辺市にしたと言う人が多い様だ。子供を大事に若い世帯を多くするには早急に「給食」をするべきだ！今どきとても遅れていて上富田の最大の弱点と思える。（我は大阪だったが今70才少し前だが小学生の時から給食である。）子供の為にも、大人の為にも上富田の為にも給食はすぐ必要である！（経済的にも苦しいとは思いますが、御協力下さい。その価値はあると思えます。）。)
- 上富田町は人口が増加している。地方中核都市の中心に位置している。病院の充実、南紀の台の住人は、あまり行政や国の施策に頼る人は少なく自己資金で暮し、住民団体への参加も自由に行っている。自由市民として「日本版CCRC」は既にある。65才以上の大阪方面から移住して来た人々が多く元気なうちに地方に移住し「終の棲家」としている。人口増加は、少子のみならず高齢者といっても税金を納めてくれる人々が増えた場合有意義である。医療についても管に繋がれてまで生きたくないのでホスピスの充実を願う人が多いとすれば自然死の施策も今後の課題である。元気な自由市民として活動し、死期が迫ればホスピスで早く死にたい、過剰な医療は控えたい。税を納めて医療費は使わないように元気でいたい。
- 上富田町は福祉施設がたくさんあり、障害者に対する助成が手厚く、他町では有料になるサービスも、上富田町に住まうと無料と聞きました。結構なことですが、一方、小学生の医療費は他町では無料なのにここでは有料です。なにか、納得できません。スポーツ施設等の充実も有難いことです。しかし、その分、住民が欲している、生活に根ざした細やかなお金の使い方が出来ていないように思います。限られた予算が住民が本当に望むところで使われているのでしょうか？人口減少社会の対策というのなら、やはり、子育て世代への助成、そして、若者の雇用場が必要。企業誘致も。
- 大きな店が出来て、身近にあった店が消えてしまい車で行ける間は問題なく暮らして来ましたが、車のいなくなり弱った足腰で買物をしなければならない事が困って来ました。大きな店が増え他町村から買い物の客が来て、にぎやかそうに見えますが、近所に店もなくなり、人と人のつながりも浅く

なって来た事は、上富田町の弱味になっていると思います。老人世帯が増えているのに、老人が不便になっている事に不安を感じています。

- 最低1時間に1本はバスを運行して欲しい。
- 町民税が高いのではないのでしょうか？他の市町村と比較してどんなものでしょうか？企業の誘致を行ない安定した生活が出来るようこれからの人達の雇用をしていくこと（上富田町に住んでいる人達を優先して雇うようにしていく）。
- 水道料金。介護保険も高い。税金面を少し考えてほしい。
- 交通の利便性。雇用場所。
- 定住希望者には土地を安価で売る、もしくは貸し出す。住人が居なく少しリフォームすれば住めるような家のデータを確保し、希望通りリフォームしてもらう。犯罪を防ぐ意味でも廃屋は避ける。農業従事者の希望者は少ないと思うが、いると思うので農業体験や放置された果実畑の貸付、資金援助をする。作物は安全性を重視し、無農薬に近い物、有機農業の物を町内での給食等に使えないでしょうか。
- 老人社会になっているのは仕方のない事なので、若い人ばかりに頼るのではなくて、老人同士が手をたずさえて生きて行く事を考えるべき。不自由な人が居る所では、近所で見守って行く事、どの程度の不自由さを持っている人が何人いるのか、助けられる人が何人いるのか。一人暮らしの人の家に、何人かの人を同居してもらい、見守りながら助けていき、できればそれなりに動ける人を3人ぐらい入れたら、動けない人を2人ぐらいにして5人ぐらいのグループホーム的にしていれば、社協や包括も少し手が抜ける様になるのではと考えています。
- 子供達が戻ってこようかな？と思える事がひとつもない今、それが現実町の方が頭で考えるのではなくもっと地元の方の気持ち（考え）を直接聞いて（すぐやる課位の心意気）動いて下さい。他の地では住宅や仕事など用意したり、いろんな手段（だて）考えて実行し成果をあげてると聞きますよ。
- 病院などが、近くにあるといいです。学校や、保育所などあるといいです。若い人が、住みやすい町、年よりが住みやすい町、国民保険、介護保険が高いと思いますので、もう少し安くなればいいと思います。介護がこんなに、なって老人ホームに入りたくても、費用が高くてこまります。
- 人口を増やす事を考えずに、今の状況で出来る事を考えれば良いのでは？
- 今の生活に特別の不安も不服もないのでよくわかりません。
- 人口減少の対策ではありませんが、転入してきた家（人）の町内会への入会の話をしてほしい。家と家の横のつながりが減ってきている。古い人でも町内会を出る（やめる）人が出てきている。空き家の、畑の、整備をしてほしい。

▼ 70歳～79歳

【男性】

- ・働き場の確保・となり同士話しあえる、地域コミュニティの充実。
- ・企業誘致。・公共料金を安く。・町遊休土地の活用。
- 農林業、水産業に力を入れる事。熊野高校に林業科、建築科を復活する事。
- 問16, 17, 18, 19, 20設問について、現代退職して農業についています。答える方法がわかりません。
- 町の知名度と医療、福祉の充実。
- ・婚活イベントの充実。婚約成立のカップルには祝金等をプレゼントする。・行政と商工会議所などが協力してイベントを盛り上げる。・結婚についての窓口を開き充実させる。

- 昔は、世話好きのおばさんがたくさんおられ、独身の人を結婚させる為放っておかなかった。今は、その人がなく人口減少のひとつの原因と思う。人と人との交流をひそかに行う「タウンメイト」ボランティアを養成してはいかがですか。結婚まで行けば成功報酬を支払っても良いし、その人の努力をたたえる方法も考えてみては、いかがですか。
- 遊園地を造ってほしい。公園を造ってほしい。（みんな逃げ場所にもなる）ブランコ、すべり台、広場を集まる場所。
- 各町内に空家が増えているようですが、空家利用を町自体が貸し借りにもう少し積極的にやってもらえたらいいと思っています。
- 上富田町は県下でも人口が微増している方であるが、高齢者を多くかかえている現状で福祉問題に力を入れるのも良いがこれでは活気ある町づくりとはいえない。若い人が働きがいのある町、活気ある町づくりに知恵をしばり出す組織をつくり出すことが大切である。幼児の医療の無料化。地場産業である梅や柑橘類作りのあと押し。企業の誘致等。
- 町内で働く所を増やしていく。子育てのしやすい町。
- 教育委員会の不備。子供の安全性を保たれていない。
- 子育て世代への優遇。育児休暇も積極的にとれるようにする。
- 若い世代の定住促進のため、持ち家取得をしやすくする。（税制優遇・空き家紹介と改修のための補助etc）第2子・第3子への教育費の補助。
- 我々はもう老人故、もっと若い人の意見を参考にして下さい。
- 若い人達が上富田町はすみよい所だと思える町づくりが人々を減少するポイントと思うが。
- 年金生活者にとっては、非常に解答しにくいアンケート項目でした。地方創生という言葉だけが良く耳にしますが、一体なんの事か充分町民に理解されているのか？住民が解らないまま、行政サイドですすめられて、行って本当に町民の協力を得ながら、魅力ある上富田町になるのか、疑問です。人口減少がけが問題でないと思います。上富田町で働く若者が、安定雇用で安心してくらせてこそ、結婚も、子育ても可能と考える。子供から、おとし寄りまで、安心して暮らせる町作りが大事です。今、高齢者が住みにくい上富田町になりつつ有ります。例えば、市の瀬診療所を残して欲しいという声は何か？一人になった時車に乗れず、買い物や、医者にも行けない、という不安からです。もっと気軽に使える交通があれば市の瀬診療所は、にぎわっているのではないと思う。もっと困っている人の声に行政は耳を傾けるべきである。住民が安心して老後をおくれる町政であって欲しい。地方創生計画も、住民の声を生かしてこそ上富田町もすみやすい町になり、町の発展もあると考えます。高齢者の声をもっと、アンケート項目の中に入れるべき、きっと良い知識があると考えます。
- 他の市町村の事はよくわからないが、町長さんを始め、町職員さんも皆さんよく頑張っていると思います。少子化はしかたないにしろ、老人社会になっていくので、町内の人だけが入れる様な安い老人ホームなど考えて欲しい。
- 1人1人の人間が強くなしないと、なんでも福祉に頼りすぎだと思う。国を支える大臣は給料を減らすべき！

【女性】

- 働き口を充実させて下さい。
- 若い人達の働く職場が必要だと思います。県内で働き結婚後もずっと暮らしていけるようになれば一番いいと思います。
- 若い人たちが選べるいろんな企業がある事、ある程度の給与が貰える。私事ですが子供たち、こちらで就職してほしかったのですがやりたい仕事が無い給与が安いからと言って都会にでております。

- 人口が安定した（町づくり）社会、上富田町にするためには就職について、仕事があり、安全に生活できる町づくりを希望しています。若者たちが外へ出られないためには、しっかりした会社などがもっとふえればいいと考えています。また、親と子どもが楽しく生活できるよう、もっと広げていくべきだと思います。親と子と孫との生活は、本当に楽しいと感謝しています。
- ・やはり若い人達が生活しやすく、安心して働ける就労の場所の確保が第一であると思う。・年寄りには望まれればいつでも相談に乗れると思う（子育て、教育等について…）。お金をかけなくても、力になれるのではないのでしょうか？
- 一生、生活出来ていけるだけの収入で仕事があれば安心して暮らせると思います。現代、子供も孫も他県で働いています。
- 子供の学費を無償にする。
- 結婚、出産の条件を充実させるようにする。以上。
- 以前、田辺市の知人が曰く、上富田町は福祉が充実していると言っていました。より一層がんばってもらったと思います。
- 安心して子育て、教育、医療が受けられる。居住環境が良い事。職場がある。
- 福祉の町らしく私達老人に対しても心遣いに感謝しております。若い人達とのふれ合いの場がもっとほしい、若い人達の人に対することの教育もお願いしたい、上富田だけの事ではありませんが尊う精神に欠けている様に思えるのです。もっと優しい心があってもいいのではないかと思います。そうした人間の根本的な教育に取りくんでほしいと思います。
- 1. 大人のいじめがあり、村八分や、よそ者扱いがあり非常に悪い人間性の地域だと思います。（例えば他人の悪口をよく聞く、よそ者扱いで40年もこの地に住んでる人なのにいまだによそ者扱いで淋しいと聞く。又、一度何かあると仲間外れに（みんなに伝えて）する。日頃誰も口をきかない。空き家を再生して住めば面と向って軽べつする。挨拶しない。特に大人の方が多い。ボランティア精神に欠けている。「町づくりは人づくりから」です。最々子供も大人も、人間性を養い声をかけ合う心ある者でなければ町は栄えない。優しい心、思いやりのある人柄が多ければ自然と人口も増えます。2. 豊かな水量と美しい自然があり、災害も少なく、医療や保健の充実したすばらしい上富田町です。行政の努力も大いに感じられる。公共設備もあり外から多くの人々が来て利用し、発展と同時に子供達への意識向上に大貢献の施設に感銘している。このまま発展する事を期待する。
- 私は25年田辺で生まれ育ったが特に不便は感じず54年生活をさしてもらってますが特に？
- 年齢を重ねるごとく、自分の車でも運転できなくなるのが上富田町では困ります。毎日の買い物、病院、その他、バス、電車があってどこでも行く事の出来る町にしてほしいです。現在のコミュニティバスは、便利のようでそうでもないのも、もっと買物に少しは役立っているが、自分が行きたい時間とかにコミュニティバスは乗れないのが困ります。残念です。もっと便利の町に生活したいと思うのです。
- 人口が増加すれば自然も壊されて行く3年程の間でもずいぶん山が消えていっている。便利も大切だが都会的な事は望まない。
- 子供と同居したいと思っても同室ではいやなものです。その為に昔の様に同じ土地に離れを作りたいと思いますが、その為の資金等難しい問題がいっぱいで呼び寄せようと思っても不可能です。何かそれなりの支援があればと思います。
- 企業や学校、保育所、学童保育の施設又医療機関等が整っていて交通便も良く、自然にも恵まれ、良い住宅地も有る様に思われる。更にこれらの充実に関心をもち、力を入れて下されば自然と人口も増えてくるのでは？と思われます。

▼ 80歳以上

【男性】

- 若者が安心して働ける企業の誘致が大事。県内外から人を呼び込み人口増加をはかる。そのため宅地、住宅を安くする事。若い者は金がないのでそれを望んでいると思う。仕事、住む場所が決まれば安心して子育てが出来る。人口増加につながっていくと思う。
- 現在朝来駅前にて在中生活して居ります。夫婦生活でした。現在子供は3人皆別居生活です。今振りかえってみれば常時の我々の生活は体さえ丈夫であれば働き口はありました。働く意欲さえあれば満足な生活も出来子供達の将来の事にも考えられました。此の時代はしあわせでした。現在は核家族で良いか悪いか疑問です。
- 移動販売車など老人世帯の便利な暮らしを考えて下さい。

【女性】

- 若い世代への子育て支援働き口の確保（安定した）等に力を入れて預けたらと思います。
- 若者の働く場所がほしいと思います。
- 働く場所が少なすぎ、環境（自然）ばつぐんなのに。高校就活に力をそそいだら、若者定住する。
- 結婚を、しない人が多い。出会いがないのか、収入が少ないためか便利すぎて、不自由を感じないのか、収入が少ないためか便利すぎて、不自由を感じないのか。わずらわしいのかも、子供が増えないと人口減が、止まらない。
- 大規模でなくてもよいので買い物が便利に出来るようになって欲しい。移動販売車など考えて欲しい。
- ・もはや年齢的に希望も夢もない80才すぎの私にアンケートはだめですね、むりですね。・お若い方に色々アンケートで協力していただき住みよいい上富田町になることを願ってやみません。体力も思考も弱って、自分が協力できないことを、只、みなさま方若い方々にお世話にならぬよう自分のことは自分で頑張って生きていきたい日々です。

▼属性不明

- 雇用と収入の安定。
- 働く場所の確保。古民家の有効活用。
- 少子高齢化の波は我町にも迫っています。我市、県の平均年齢を聞き少々淋しく思いますが、安心して住める（街）町、子育てから老後までですが・・・まずは働く場所、充実した職場があって仕事が充分出来て収入を確保出来て、家族が元気で安心して子育てが出来る町づくりが何よりと思います。豊かな水源を利用した企業が多くなればうれしいですが・・・。希望が持てる我町を期待します。
- 現在子供はいませんが将来的に考えたとき、仕事を続けながら子育て環境が整うとありがたいです。高速も開通し、交通の便は良いと思いますが、現在の住まいから、買い物ができるスーパーがなく結局あまり変わらないので、その様な施設があればより住みやすい町になるかと思っています。
- 自力で人をふやす事が最後は勝つと思う。今生れた子供が20年たてばかならず税金を支払い今まで子供達の為に使ったお金はかならずもどしてくれます。私達の年令を大事にするのですかそれともこれからの人達の為に使うのですか使いばなしではなく帰って来る事をわすれてはいけません。
- 年金の問題を解決していくこと。
- 広域合併による新しい町造りを遅まきながら今からでも遅くない。根本的な原点に立ち返って考え直して、新しい国際的な時代感覚をも含めて、住民を大切にする行政・公正な行政感覚、広い視野で地方自治体の在り方を先読みすること。先取り実践する考え方が今一番大切な事と思う。無人為・無策

で自然の流れに従っていただけでは、国に見放される地方は減んでしまうと思う。有能な識者の町民からも積極的な意見を聞くことも大切である。理想論かもしれないが、革新的な思考力・意見も無視するべきではないと思う。それも何が役にたつ考え方がある筈である。現状維持思考状態であっては時の流れに見放されると思う。国の考え方の中に追従するのではなく、積極的に広域的に豊富な人材の中より新しい意見に耳を傾け積極策を打出すべきである。マンネリではだめである。

- 上富田は他に比べても15000人は保たれています。私は他町村からこちらへ入ってきた者ですが高齢になっても「ここで住んでよかった」と満足しています。人口が多くてもよい町（市）だとは思わない面もあります。少なくとも「ここに住んでよかった」と思える充実性が感じられる方が幸せです。この少子化の中では、人口を増加させようと力を入れるよりも、大切な方向があるように考えます。

問15. 上富田町を住みやすいまちにするため、今後どのような移住・定住支援策に取り組んだらいいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・大型ショッピングモールがあればいいなと思う。・小・中学校を給食にするべき。（女性、20代）
- 家賃が高すぎる。アパート等の賃貸物件が古すぎる。治安が悪い。道が狭い。（女性、20代）
- 給食があれば良かった。（男性、30代）
- 保育料・学校給食の無料化。（男性、30代）
- 人口（特に若い世代と子ども）を増やすために必要な取り組みがされているとまるで感じられない。行政の政策も必要だと思うが、まず必要なのは、子育て世代を具体的に支援しようとししない企業やその他住民たちの意識改革だと思う。（女性、30代）
- 地域交流の機会や場所が欲しいです。あるんですかね？防災のことや、情報交換のできるような！小さな子供も楽しんで過ごせる場所的な。そしてそういうのがあるよーって知らせて欲しいです。（女性、30代）
- 役場の窓口担当者の対応について、それぞれの立場で仕事をしていただいているのは理解できるのですが、上司が悪いのか保身のためか、前向きな意見が出ない……。『地方創生』初めての見案とか苦手な分野もあるのだろうけど、『新しく聞いた事で事例がないので』では、創生できないと思う。（男性、40代）
- 南紀の台に住んでいましたが将来、老後は今も家があるので南紀の台に住みたいと思っていますが、道路の舗装が全くできていない（穴を修繕する程度）近所に壊れそうな空き家が（大きな台風でつぶれそう）あり、強制的に撤去してもらいたい。（町の判断の上で、法律とかないものか？近所に被害があってからでは遅いと思う。今年は台風が多いので、建物が壊れて、何か飛んでこないか。近隣住民心配している。町が暗く、街灯を明るくしてほしい。（男性、50代）

事業所アンケート

問3 問2でうかがったことについて、具体的に国や町が進めるべきだと思う施策があれば記入してください。

- 都市部に若い人が集中するのは大学、企業等が多くあり地方にはそれらが集まらない。もっと地方が活性化する森林を活用したり、化石燃料ばかりに頼るエネルギーではなく木を使った建築方法（耐震性のある）バイオ燃料等に国はお金をかけるべき。ドイツはそれで50万人の労働力を創生し、地方活性化に成功したとか…。
- 地方での就職先が少ない為、若者は都会に行き、増々若者の人口が減っている様に感じる。その為地方の企業に力を付けさせる為の施策が必要になってくる。
- 町民が町の活性に動きやすい環境をつくってほしい。施策をここに書ききれないほどありますが、町が消極的では、スピードが遅くなる。
- 若い人達が働ける職場はあるが、まだまだ定年退職近い人の働く場所がない時間も短い所が多い。
- 住人（若者）が安定して生活可能な企業や事業所を作ることが必要。
- 新規事業所を地方に誘致するのもいいが、既存の元気ある事業所をあとおしする事で事業拡大を促し雇用につなげる事も地方を活性化する方法だと思う。
- 若い世代に地方に戻っても安定した雇用が沢山あると安心して戻れる環境を整えてほしい。
- 費用対効果で考えるならば、創業支援よりも、既存の地元企業の成長を促し、事業規模拡大させる施策をとるべき。具体的には、例えば事業用地の移転、集約を支援し、町内土地の有効利用を図ること。
- 安定した雇用が増えれば町は必ず発展すると思う。
- 効率の良い社会基盤の構築。ハード面では道路、水道、電気の未来創生。ソフト面では高齢社会へ対応策、学校教育の充実。
- 地域企業と全国の地域とのパイプ役や地場産業や特産品のPR活動など地域の産業のバックアップ的な役割を期待します。
- 都会から当地域への交通アクセスをさらに強化する。
- 介護サービスの充実。
- 老人介護（在宅）。
- 中央官庁の地方分散、自治体裁量による特区の拡大、バラマキ一時的でない交付金創設。
- 豊かな自然環境を生かしたまちづくり。
- 犯罪防止。

問30 上富田町で事業を続ける中で、上富田町がよいと思う点は何ですか。

- 代々この地で開業していたのですが、次世代はどういう風になるやら…。田辺市の郊外居住地の様な所もありますが、人々の意識も変化しつつある様に思います。

問31 上富田町で事業を続ける中で、上富田町に足りていないと思う点は何ですか。

- 教育（公的）は充分とは言えず私立が中学・高校がなく、まず知的レベルを上げる様に努力して欲しいし、民度が必ず上がって来ているとは感じられずかえって昔の方が素朴さやまじめさ、勤勉な人々が多かったし、地域が仲良い集合体だったが、他人の事はどうでも良い、自分さえ、自分の家さえ良ければ…という人が多くなって来ている様に感じます。
- 町で事業を続けていくメリットがわからない。町で事業をする会社に税の優遇や規制緩和などバックアップをしてほしい。田辺市は田辺市に本社がないと入札に入れないとかがあるので、町の業者も何社か、本社を田辺市に移転させて町の税収入が減っていると思うのでそこらへんをよく考えて町において、事業をするメリットをしめしてほしい。

問32 産業振興に関する行政の取組について、貴事業所が最も重要だと考えるものはどれですか。

該当なし

問34 上富田町が活性化し、（将来的な）人口減少に歯止めをかけるために、町としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。

- 企業誘致などを積極的に行いネット・ゼロ・エネルギー・タウンの作成それに伴う補助金などを設定する。
- 上富田に暮らす者として居住するには環境も良く災害の心配もない大変すばらしい町だと思います。しかし私達企業の元気があまり良くない為に雇用の拡大が図れず人口減少の原因になっているのではないのでしょうか…。私達企業がもっとしっかり頑張って上富田で暮らす方々の雇用が出来る様なればと思います。行政と一体になって上富田の良いところをアピールする事が経済効果にもつながる事だと思います。社員一丸となって事業に邁進する決意ですので宜しくお願い致します。
- ・雇用の創出。・教育（学校）の充実。・医療費の軽減。
- ・空屋、耕作放棄。移住者を募集。
- 上富田町は、津波被害の心配がなく、高速道路開通により交通の便が良好。また、国道42号線と311号線の交差点があり、紀南地域の要衝となるポテンシャルがある。しかしながら、事業用地が多いとは言えず、また雇用に多く必要とする業態の企業の進出は進んでいない。また、朝来・生馬周辺はオークワ、エバグリーン、Aコープ等の商業施設もあり、居住地域としても便利な地区だが、南紀の台以外で分譲住宅はわずかである。新たに事業用地を造成するにも適当な土地が無い。そのようななかで、町外や県外企業の誘致に注力しても効果としては余り期待できないのではないかと。そこで、①既存の地元企業の事業拡大への支援。新規で創業するならば、チャンスの多い都市部で起業するケースが多いはず。上富田町で起業するのは稀なケース。創業・起業を支援するよりも既に地元で業歴を重ねている企業をてこ入れして、地域経済発展の原動力としていく。年商10億円の企業が15億円、20億円と成長すれば相当の経済効果が見込める。②事業用地の移転・集約支援。既存の地元企業が町内で移転や事業拠点の集約がしやすくなるよう、地権者との調整用途地域や地目変更により便宜を図り、事業所の生産性の向上に資する。住宅地のなかから郊外の事業用地へ移転した場合、旧の用地は住宅や店舗等へ転用し、良好な住環境を形成していく。③居住のまちとしての位置づけを明確に。商業施設の集まる朝来・生馬周辺を良好な住宅地として整備を促進していく。分譲住宅、集合住宅の建設に支障が出ないように調整する。④子育て支援。昨今の社会情勢の変化を考えると、子育て世帯を夫婦二人と子供という核家族だけを想定するのではなく、シングルマザー等様々な構成の世帯を想定する必要がある。具体的には、シングルマザーあるいはファザー、祖父母による養育等を想定し、住居と育児・教育の面から支援策を実施していく。たとえば町内事業所への勤務を条件に家賃補助を実施するなど。

- (1) 雇用創出のための企業支援 (2) Uターン・Iターン制度の充実 (3) 子育て支援 (医療費・教育費の控除補助)。
- 企業の誘致を考え、子育て支援の強化と充実、豊かな自然環境を利用した宅地の整備と支援。
- 人口減少は止められないが、ゆるやかにするための工夫は必要。都会からの移住者募集、子育て世代、中高年の田舎ぐらしを支援する等のPR、効率の良い社会基盤の創生を行ない魅力づくりに知恵をしぼる。一人の職員の情熱で町が活生した例は多くある。
- 他県など他地域への地元上富田の企業や特産品のPR活動を強化する事。
- 今、町が進められている様な、スポーツ施設のさらなる充実は子供達の為に良いと思います。健康な精神は健全な肉体に宿るものです。保育所、小学校、中学校とスポーツを通してバランス良く精進、肉体を鍛えられた子供が通う学校は自然と質の高い教育の場となり、それは子供をもつ親が安心して希望を託せる所となります。子供を育てるには、もちろんお金が必要で、労働環境の整備にも重きを置いて、町職員一丸となってこれからも頑張っていってほしいと思います。
- 子育ての行いやすい環境整備。外国人も含めて多くの方が訪れ、消費を行ってもらえる町づくり策。
- ☆若者や子育て世代の仕事と生活支援・移住をすすめても、今の上富田には仕事も子育て支援もないので魅力にかけろ。(給食も平成30年からだし、医療費も小1からかかってくるし、幼児教育も未熟(英語、知育等)なので) ☆予算ありきの運営ではなく、ひとつひとつの事業において、どうすれば利益をうみだす事業になるか、初めから考えて事業をするべきだと思う。それには、町の人の意見をしっかり聞くべき。例えば、道の駅においても高いマージンや町や商工会が町の活性のために動こうと思っても「かどや」が仕切っているのは、町の活性につながらない。このようなことは町の業者の規模から考えて、初めに予想できることだと思うので、今後なにか事業をするときは、経営のプロたちの話をきくべきです。ありきりたりの町政では、税収をあげることは難しいと思いますよ。税収があれば、福祉や教育等にお金をまわしていけるので、町の魅力があがり、移住者もふえて税収upにまたつながっていけると思います。☆町の運営を行政主導ではなく、町民主導にする努力をお願いします。
- 子育て世代への支援制度の充実。
- 前略、少し前になるが同封している民報の記事を見てがく然とした。町が約1億8千円の費用を投入して建設とあったからです。県下で唯一人口が増え続けている当町。何らかのご縁で上富田の住民となって頂いた方たちの満足度を高める為の施策! 先ず確実に対価となって表われる子育て世代ですが生馬小以外の四つの小学校に給食制度をすすめていきたい。それと田辺市より劣っている幼児や小学児童対象の医療無償を推しすすめるべきではありませんか? 政策順位ですが子育て世代への満足度アップが優先だと断言できます。こうした施策が浸透していくにつれ口コミで更なる人口増の呼び水となることでしょう。さて建築してしまった道の駅「くちくまの」ですが今後『負の遺産』とはならないでしょうか。先日訪れましたが5人スタッフ常駐ですけど人件費、光熱費、土地借用代諸々、今後共、頭痛の種になり、上富田の重しとならなければいいですが、只、品物、土産を並べたら売れる時代ははるか昔。紀の川SAやSAいなみを少し見れば費用と効果、対価どころではありません。道の駅くちくまの活性化のため奮闘する方々の苦悩ははかりしれないのではないかと心中察し致します。
- 上富田町が活性化し人口減少に歯止めをかけるためには、少し今からでは遅過ぎの感がします。町長さん、議員さんが、もっと熱意をもって町の未来を考えて欲しいと思います。色々と考えてみても上富田町の未来は良い方には向かっていないのではないかと思います。町内には老人が多くなり働き手が少なくなり、少子化が急速に進んでいく様子が到る所にみられます。議員さんも、これからこの問題をどうするのか。行政側が良い方法を町民に提示して欲しいと思います。
- 同和対策をしっかりしてほしい。
- 古い習慣や地域性にこだわらず、新しいものを作り出す姿勢と対策を、わかりやすく縦広報だけでなく横のネットワークづくりを始めていただけませんか。

上富田町

「地方創生（まち・ひと・しごと創生）に関するアンケート」

アンケート用紙

- 「地方創生（まち・ひと・しごと創生）に関するアンケート」（一般）
- 地方創生（まち・ひと・しごと）「転出者アンケート」（転出者）
- 「地方創生に関する事業所アンケート」（事業所）

「地方創生（まち・ひと・しごと創生）」に関するアンケート」への

ご協力をお願い

平素から町政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

上富田町では、人口減少社会に対応すべく、平成27年度に上富田町の「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定します。この調査は、これらを策定するにあたり、基礎資料とするために行うものです。

調査にあたり、町内にお住まいの15歳以上の方2,000人を、住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

なお、回収されたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。

ご多忙のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年7月

上富田町長 小出隆道

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方がご記入ください。
2. 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
5. ご記入が済みしたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、投函期限までにご投函ください。

投函期限：8月7日（金）まで

◎本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

上富田町 総務政策課 まちづくりグループ（⑦番窓口）

住所 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763番地

電話 0739-47-0550（代）

FAX 0739-47-4005

1. 独身

問11-1. 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。

1. いずれ結婚したい
2. 結婚するつもりはない
3. わからない

問11-1付問 何歳ごろに結婚したいですか。

1. 20歳 2. 21~25歳 3. 26~30歳 4. 31~35歳 5. 36~40歳 6. 41歳~

1. 結婚したいと思える相手がない
2. 家族を養うほどの収入がない
3. 精神的に自由でいられる
4. 経済的に自由がきく
5. 異性とうまく付き合えない
6. 仕事（学業）に打ち込みたい
7. 結婚資金が足りない
8. まだ若すぎる
9. 出会う機会、きっかけがない
10. 結婚に意味を見出せない
11. 家族の介護が心配
12. 理由は特にない
13. 上記以外の理由

1. 住み続けたい
2. 住み続けたくない
3. 住む場所によらなない

(○)にふくむものではない

1. 安定した雇用の支援
2. 若い夫婦への住まいの支援
3. 結婚祝い金などの経済的支援
4. 婚活イベントなど出会いの場の提供
5. 結婚相談窓口（仲立ち）
6. 若い世代への結婚に関する講習会
7. 交際術やマナーなどを学ぶ講座
8. 行政がやる必要はない
9. その他

5

問13. 理想的な子どもたちの数は何人ですか。(現在いるお子さんの人数も含む) (1つに○)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. 子どもはいらない

問 14. 理想的な子どもたちの数を実現するために、課題となること（なりそうなこと）は何ですか。

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる
2. 家が狭い
3. 自分の仕事に差し支える
4. 子育てを手助けしてくれる人がいない
5. 子どもを預ける施設が整っていない
6. 妊娠・出産・子育てに関する情報不足
7. 年齢的な問題
8. 育児・出産の心理的・肉体的な負担
9. 配偶者の家事・育児への協力が見込めない
10. 上記以外の理由

問15. 今後、育児に関するサービスとして、上富田町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。(1つに〇)

1. 幼稚園・保育所・認定こども園などの定員の拡充
2. 子どもを預かるサービスの時間の延長
3. 子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上
4. 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実
5. 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付
6. 子育てにおける母子の保健・医療体制の充実
7. 子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の実施
8. 子育てに関する総合的な相談体制の充実
9. その他（
10. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない

働くことについて

問 16. あなたは、現在、どこで働いていますか（就労形態は問わない）。(1つに○)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 町内で働いている | 3. 働いていない |
| 2. 町外で働いている | 4. 学生をしている |

【現在、働いている方（問 16 で「1. 町内で働いている」、「2. 町外で働いている」を選択した方）にうかがいます。】

問 16-1. 現在、働いている環境で改善してほしい点は何かですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 給与 | 7. 福利・厚生 |
| 2. 休みの日数（有給休暇の取得など） | 9. 法令順守（パワハラ・セクハラなど） |
| 3. 労働時間 | 8. 介護・育児休業制度の促進 |
| 4. 勤務シフト | 10. 雇用・昇給について |
| 5. 職場の人間関係 | 11. 上記以外 |
| 6. 仕事の内容・やりがい | () |

【問 16 で「2. 町外で働いている」を選択した方にうかがいます。問 16-2. 問 16-3 にお答えください。】

問 16-2. どこで働いていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 田辺市 | 5. 和歌山県外（ 都・道・府・県） |
| 2. 白浜町 | |
| 3. すさみ町 | |
| 4. その他和歌山県内（ 市・町・村） | |

問 16-3. 通勤先の市町村と異なる場所に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 上富田町に実家があるから | 5. 生活環境がよいから |
| 2. 家族が町内に通勤・通学しているから | 6. 医療・福祉のサービスがよいから |
| 3. 人間関係がよいから（友達がいるなど） | 7. 家賃が安いから |
| 4. 職場・学校に近いから（交通の便がよい） | 8. 上記以外の理由（ ） |

【全ての方にうかがいます。】

問 17. あなたは、今後新たに就職、もしくは転職の希望がありますか。
（1つに○。「2.」を選択の場合は、勤務地の希望も選んでください。）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 就職・転職の希望はない | 2. 就職・転職をしたい |
| 問 17 付問. 勤務地の希望 | |
| 1. 町内 2. 町外 | |

【問 17 で「2. 就職・転職をしたい」を選択した方にうかがいます。問 17-1. 問 17-2 にお答えください。】

問 17-1. あなたは（将来的に）仕事を選擇する上で何を重視しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 給与 | 7. 福利・厚生 |
| 2. 休みの日数（有給休暇の取得など） | 8. 介護・育児休業制度の有無 |
| 3. 労働時間 | 9. 法令順守（パワハラ・セクハラがないなど） |
| 4. 通勤時間 | 10. 将来性を感じるか |
| 5. 職場の人間関係 | 11. 業績の安定 |
| 6. 仕事の内容・やりがい | 12. 上記以外の理由（ ） |

問 17-2. 就労するなら、次のうち、どの分野の仕事を希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 農林業・畜産業 | 6. 商業・サービス業 |
| 2. 水産業 | (コンビニ・スーパー等含む中小企業) |
| 3. 工業（大企業） | 7. 公務員 |
| 4. 工業（中小企業） | 8. 自由業（スポーツ、芸能、士業） |
| 5. 商業・サービス業 | 9. 上記以外の職種 |
| (コンビニ・スーパー等含む大企業) | () |

問 18. 就労機会の向上等に向けて、上富田町が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 求人・求職のマッチングサービス	6. 就労に関する相談窓口
2. 企業・事業所などと連携した職業体験	7. 起業支援
3. 企業情報などの情報発信	8. 職場環境向上のための企業向け広報
4. 合同就職（転職）説明会	9. その他
5. ビジネスキル向上のためのセミナー	()

問 19. あなたが、通勤・通学等に要する時間はどれくらいですか。(1つに○)

1. 15分未満	4. 1時間～1時間30分未満
2. 15分～30分未満	5. 1時間30分以上
3. 30分～1時間未満	6. 通勤・通学をしていない

問 20. あなたが、通勤・通学等に要する時間として許容できる時間はどれくらいですか。(1つに○)

1. 15分未満	4. 1時間～1時間30分未満
2. 15分～30分未満	5. 1時間30分以上
3. 30分～1時間未満	

住みやすいまちづくりについて

問 21. 上富田町が住みやすいと感じるのはどんな点ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自然環境	9. 家賃、土地の価格
2. 交通の利便性の高さ	10. 買い物をする店の数、距離
3. 仕事の有無	11. 近所のつきあい、地域活動の活発さ
4. 通勤・通学の利便性の高さ	12. まちの知名度
5. 治安の良さ	13. 土地への愛着
6. 災害（地震や水害）対策	14. 上記以外の理由
7. 教育・保育サービスの充実度	()
8. 医療・福祉サービスの充実度	15. わからない・特にない

問 22. 上富田町が住みにくいとを感じるのはどんな点ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自然環境	9. 家賃、土地の価格
2. 交通の利便性の低さ	10. 買い物をする店の数、距離
3. 仕事の有無	11. 近所のつきあい、地域活動の活発さ
4. 通勤・通学の利便性の低さ	12. まちの知名度
5. 治安の悪さ	13. 土地への愛着
6. 災害（地震や水害）対策	14. 上記以外の理由
7. 教育・保育サービスの充実度	()
8. 医療・福祉サービスの充実度	15. わからない・特にない

問 23. あなたが、住む場所を決めたり、住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 転入者に対する税制優遇や補助金	10. 保育所・学童保育の充実
2. 子育て世代への税制優遇や補助金	11. 医療費無料制度
3. 二世帯住宅、三世帯同居などへの助成	12. 地域資源を生かした自然とふれあう教育
4. 転入歓迎パンフレット	13. ブランド力や特徴のある教育機関の有無
5. 転入に関する相談窓口	14. 地域コミュニティの充実
6. 定住促進専用のホームページ	15. 農業者等が簡単にできる仕組み
7. 住居に関する不動産情報の提供	16. 住民団体活動、地域活動の支援
8. 住宅開発	17. その他
9. 大規模商業施設の誘致	()

問 24. あなたは、今後も上富田町に住み続ける予定です。(1つに○)

1. 住み続ける予定です	3. 近々、引っ越す予定である
2. 予定はないが、いずれ引っ越すと思う	4. わからない

【引っ越しを考えている方 (問 24 で「2. 予定はないが、いずれ引っ越すと思う」、「3. 近々、引っ越す予定である」を選択した方) にかかいます。】

問 24-1. 引っ越し理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 進学のため	6. 親の介護のため
2. 転勤・就業のため	7. 町のサービスに不満があるため
3. 結婚のため	8. 生活環境がよくないため
4. 妊娠・出産・子育てのため	9. 特に理由はない
5. 子どもの学校のため	10. 上記以外の理由
	()

問 25. 人口減少社会について、あなたの考えとして最も近いものは何ですか。(1つに○)

1. 人口減少を食い止め、増加するように努力すべき
2. 現状程度の人口を維持すべき
3. 人口減少は仕方ないので、不都合を改善していくべき
4. 人口が減少しなくてもどちらでもよい

問 26. 平成 27 年 6 月現在、上富田町の人口は 15,473 人です。あなたは将来何人くらいの規模のまちに住みたいと考えていますか。(1つに○)

1. 1 万人未満	3. 5 万人～10 万人未満	5. 人口は意識しない
2. 1 万人～5 万人未満	4. 10 万人以上	6. わからない

問 27. 人口減少社会への対策として、上富田町はどのようなことを重点的に行っていくべきだと思いますか。あなたが普段感じていることを教えてください。(ご自由に記入してください)

ご協力ありがとうございました。
ご記入済のアンケートは同封の返信用封筒に入れて 8 月 7 日 (金) までに投函してください。

地方創生（まち・ひと・しごと創生）

「転出者アンケート」

ご協力をお願い

平素から町政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

上富田町では、人口減少社会に対応すべく、平成27年度に上富田町の「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定します。この調査は、これらを策定するにあたり、以節、上富田町にお住まいだった皆さまのご意見を踏まえて、より住みやすい上富田町を目指すために行うものです。

調査にあたり、上富田町から転出された方150人を無作為に抽出させていただきますました。

なお、回収されたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。

ご多忙のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年7月

上富田町長 小出隆道

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方がご記入ください。
2. 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
5. ご記入が済みしたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、投函期限までにご投函ください。

投函期限：8月7日（金）まで

◎本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

上富田町 総務政策課 まちづくりグループ（⑦番窓口）

住所 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 763 番地

電話 0739-47-0550（代）

FAX 0739-47-4005

あなたご自身や、ご家族のことについて

問 1. あなたの性別 (1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 2. あなたの年齢 (転出時点、1つに○)

1. 10歳代	3. 30歳代	5. 50歳代	7. 70歳以上
2. 20歳代	4. 40歳代	6. 60歳代	

問 3. あなたのご職業等 (転出時点、1つに○)

1. 会社員	4. パート・アルバイト	7. 無職
2. 公務員	5. 専業主婦/主夫	8. その他
3. 自営業	6. 学生	

問 4. 世帯の構成 (転出時点、1つに○)

1. 単身 (ひとり暮らし)	3. 二世帯 (親と子)	5. 兄弟姉妹
2. 一世帯 (夫婦のみ)	4. 三世帯 (親と子と孫) 以上	6. その他

問 5. お子さんの就学・就労状況は、次のどれにあてはまりますか。(転出時点、あてはまるものすべてに○)

1. 就学前	4. 高校生	7. 子どもはいない
2. 小学生	5. 大学・高専・専門学校	8. その他
3. 中学生	6. 社会人・アルバイト等	

問 6. どちらへ転出されましたか。(あてはまるもの1つに○、または () に記入)

1. 大阪府	6. 神奈川県	11. その他和歌山県内
2. 奈良県	7. 和歌山市	() 市・町・村)
3. 愛知県	8. 田辺市	12. その他
4. 東京都	9. 白浜町	() 都・道・府・県)
5. 千葉県	10. すさみ町	13. 海外
		()

問 7. 上富田町でのあなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 持ち家の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど
2. 持ち家の集合住宅 (アパート・マンションなど)	5. 社宅・寮
3. 賃貸の一戸建て	6. その他

問 8. 転出後のあなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 持ち家の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど
2. 持ち家の集合住宅 (アパート・マンションなど)	5. 社宅・寮
3. 賃貸の一戸建て	6. その他

問 9. 上富田町での居住年数は、何年でしたか。(通算の居住年数、1つに○)

1. 1年未満	3. 3年以上5年未満	5. 10年以上20年未満
2. 1年以上3年未満	4. 5年以上10年未満	6. 20年以上

転出の理由について

問 10. 転出することになった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに○、または () に記入)

1. 就職	7. 住宅の建て替え
2. 転職	8. 通勤・通学に便利のように
3. 転勤 (理由:)	9. 子どもの都合 (理由:)
4. 退職	10. 親の都合 (理由:)
5. 結婚	11. その他 (理由:)
6. 離婚	

問 11. 転出に際し、上富田町内でも住まいを探されましたか。(1つに○、または () に記入)

1. 上富田町内も探した上で、他市町村に決めた
2. 最初から他市町村に住もうと決めていたので、上富田町内は探さなかった
3. 仕事や家庭などの都合により、転出先の自治体に住むしかなかった
4. その他 ()

問 12. 現在の住まいを決めた主な理由は何か。(3つまでに○、または()に記入)

1. 自然環境	10. 買い物をする店の数、距離
2. 交通の利便性の高さ	11. 転入者への助成制度
3. 仕事の有無	12. 近所のつきあい、地域活動の活発さ
4. 通勤・通学の利便性の高さ	13. まちの知名度
5. 治安の良さ	14. 土地への愛着
6. 災害(地震や水害)対策	15. 上記以外の理由
7. 教育・保育サービスの充実度	()
8. 医療・福祉サービスの充実度	16. わからない・特にない
9. 家賃、土地の価格	

住みやすさについて

問 13. 上富田町が住みやすかったと感じるのはどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自然環境	10. 買い物をする店の数、距離
2. 交通の利便性の高さ	11. 近所のつきあい、地域活動の活発さ
3. 仕事の有無	12. まちの知名度
4. 通勤・通学の利便性の高さ	13. 土地への愛着
5. 治安の良さ	14. 上記以外の理由
6. 災害(地震や水害)対策	()
7. 教育・保育サービスの充実度	15. わからない・特にない
8. 医療・福祉サービスの充実度	
9. 家賃、土地の価格	

問 14. 上富田町が住みにくかったと感じるのはどういった点ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自然環境	10. 買い物をする店の数、距離
2. 交通の利便性の低さ	11. 近所のつきあい、地域活動が少ない
3. 仕事の有無	12. まちの知名度
4. 通勤・通学の利便性の低さ	13. 土地への愛着がない
5. 治安の悪さ	14. 上記以外の理由
6. 災害(地震や水害)対策	()
7. 教育・保育サービスの充実度	15. わからない・特にない
8. 医療・福祉サービスの充実度	
9. 家賃、土地の価格	

問 15. 上富田町を住みやすいまちにするため、今後どのような移住・定住支援策に取り組みたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、または()に記入)

1. 出産や子育て等に対する各種支援の充実	
2. 高齢者が生きがいをもって元気に暮らせるような高齢者福祉の充実	
3. 居住可能な空き家を紹介する「空き家バンク」などの制度の充実	
4. 転入者が住宅を新築・改善する際の費用の一部を補助する制度	
5. 子どもたちの教育環境の充実	
6. 緊急時にも安心してくらせる医療機関の充実	
7. バスなどの町内を移動するための交通の利便性の向上	
8. 就職・求人情報の提供の充実	
9. 起業支援の充実	
10. 上富田町の特色の活用(特色:)	
11. 緊急時や地震等に対する防災対策の充実	
12. その他	
自由意見のご記入欄	

問 16. また上富田町に住みたいと思いますか。(1つに○)

1. 住みたいと思う	2. 住みたいと思わない	3. わからない
------------	--------------	----------

ご協力ありがとうございました。

ご記入済のアンケートは同封の返信用封筒に入れて8月7日(金)までにご投函ください。

「地方創生に関する事業所アンケート」

ご協力をお願い

平素から町政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

上富田町では、人口減少社会に対応すべく、平成27年度に上富田町の「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定します。この調査は、これらを策定するにあたり、基礎資料とするために行うものです。

調査にあたり、町内の企業・事業所100社を無作為に抽出させていただきました。なお、回収されたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

ご多忙のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年7月

上富田町長 小出隆道

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名の企業・事業所の方がお答えください。
2. 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に(1つに○)、(あてはまるものすべてに○)などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
5. ご記入が済みしましたら、お手数ですが同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、投函期限までにご投函ください。

投函期限：8月7日(金)まで

◎本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

上富田町 総務政策課 まちづくりグループ (⑦番窓口)

住 所 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763番地

電 話 0739-47-0550(代)

FAX 0739-47-4005

「地方創生」についてうかがいます。

問1 「地方創生」とは何か、知っていますか。(1つに○)

1. 理解している 2. 聞いたことはある 3. 知らない

問2 国は、地方創生を推進する上で、4つの目標を立てています。貴社・貴事業所（以下「貴事業所」といいます。）が最も期待する目標は何ですか。(1つに○)

1. 地方における安定した雇用を創出する
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

問3 問2でうかがったことについて、具体的に国や町が進めるべきだと思う施策があれば記入してください。(自由に記入してください)

問4 国の施策「地方創生」により、貴事業所の業績の向上などを期待していますか。(1つに○)

1. 期待している 2. 期待していない 3. わからない

貴事業所の現状についてうかがいます。

問5 貴事業所の業種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 小売・飲食業 2. サービス業 3. 金融保険業
4. 運輸・通信業 5. 不動産業 6. 建設業
7. 製造業 8. 電気・ガス・熱供給業 9. 農林業
10. 水産業 11. その他 ()

問6 貴事業所の位置づけは何ですか。(1つに○)

1. 本社・本店 2. 支社・支店

問7 貴事業所の上富田町での営業（通算）年数は次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 3年未満 2. 3～9年 3. 10～19年
4. 20～29年 5. 30～49年 6. 50年以上

問8 実感でお聞かせください。1年前と比べた、現在の景況感ではまるものを選んでください。(1つに○)

1. よくなった 2. 変わらない 3. 悪くなった

問9 これから先1年後について、景況の予測ではまるものを選んでください。(1つに○)

1. よくなる 2. 現状と変わらない 3. 悪くなる

問10 貴事業所に、以下のような男女共同参画のための職場環境の仕組みがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 男女ともに能力を発揮できる配置をしている
2. 男女ともに育児・介護休業など休暇をとりやすいようにしている
3. 賃金・昇格にあたって、男女の差別はない
4. 結婚退職・出産退職の慣行がない
5. 女性の管理職への登用を進めている
6. 女性従業員自身の職業に対する自覚を高める取り組みを行っている
7. セクハラのない職場環境づくりに取り組んでいる
8. その他 ()

貴事業所の従業員についてうかがいます。

問 11 貴事業所の従業員数（パート・アルバイト等を含む）は次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

1. 1～4人	2. 5～9人	3. 10～19人
4. 20～29人	5. 30～49人	6. 50～99人
7. 100人以上		

問 12 貴事業所の全従業員の中で、上野田町内在住の社員（パート・アルバイト等を含む）の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

1. 0%	2. 1～10%	3. 11～25%
4. 26～50%	5. 51～75%	6. 76～100%

問 13 貴事業所の全従業員の中で、女性社員（パート・アルバイト等を含む）の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

1. 0%	2. 1～10%	3. 11～25%
4. 26～50%	5. 51～75%	6. 76～100%

問 14 貴事業所の女性正社員は、どのようなパターンが最も多いですか。（1つに○）

1. 結婚を機に退職する
2. 妊娠・出産を機に退職する
3. 出産後も継続して就業している
4. その他（ ）

問 15 貴事業所の有給休暇取得率は次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

1. 0%	2. 1～10%	3. 11～25%
4. 26～50%	5. 51～75%	6. 76～100%

問 16 貴事業所における男性・女性の育児休業取得率はおおよそ何%ですか。（数字でご記入ください。※整数でお答えください）

① 男性	%
② 女性	%

問 17 貴事業所では日ごろ労働管理上どのようなことが課題としてありますか。（3つまでに○）

1. 新規採用で優秀な人材が確保できない
2. 新規採用者の定着率が悪い
3. 中堅社員、幹部候補の中途退職が多い
4. 中途採用で優秀な人材が確保できない
5. 中途採用者の定着率が悪い
6. 従業員の高齢化
7. 女性従業員が結婚や出産を機に退職してしまう
8. 従業員の生産性や士気が低い
9. 従業員の長時間労働
10. 後継者の育成
11. 従業員のメンタルヘルス
12. 定年退職者の活用について
13. その他（ ）
14. 特に問題はない

問 18 結婚、妊娠、出産後も継続して女性が働くためにどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものをすべてに○)

1. 育児に関する制度の利用について、従業員全員（女性従業員を含む）での意識統一が重要
2. 子育てを行う従業員（男性従業員を含む。以下、同じ）を対象とした、年次有給休暇取得の促進のための措置
3. 3歳以上の子を育てている従業員を対象とした、短時間勤務や隔日勤務制度
4. 子育てを行う従業員を対象とした、フレックスタイム制度
5. 子育てを行う従業員を対象とした、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度
6. 子育てを行う従業員を対象とした、勤務地、担当業務の限定制度
7. 子育てを行う従業員を対象とした、情報通信技術（ＩＴ）を利用した場所・時間にとられない働き方の導入
8. 3歳以上の子を育てている従業員に所定外労働をさせない制度
9. 妊娠中や出産後の女性従業員の健康、育児休業制度などの周知や情報提供及び相談体制の整備
10. 育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度
11. 労働基準法の産前産後休業を上回る期間の休業制度
12. 事業所内託児施設の運営（共同運営や保育施設と契約している場合も含む）
13. 育児サービス費用を補助する制度（ベビーシッターや託児施設の利用料補助等）
14. 子どもの看護のための休暇を時間単位で取得できるなど利用しやすい制度
15. 子どもが産まれる際に父親が休暇を取りやすい制度
16. 出産や子育てによる退職者についての再雇用制度
17. 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備
18. 結婚祝い金、出産祝い金などの一時金の支給
19. （子どもの養育を要件とする）扶養手当の支給
20. その他（ ）

問 19 若い従業員に対する子育て支援策として、実施されているものがありますか。(あてはまるものをすべてに○)

1. 育児に関する制度の利用について、従業員全員（女性従業員を含む）での意識統一
2. 子育てを行う従業員（男性従業員を含む。以下、同じ）を対象とした、年次有給休暇取得の促進のための措置
3. 3歳以上の子を育てている従業員を対象とした、短時間勤務や隔日勤務制度
4. 子育てを行う従業員を対象とした、フレックスタイム制度
5. 子育てを行う従業員を対象とした、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度
6. 子育てを行う従業員を対象とした、勤務地、担当業務の限定制度
7. 子育てを行う従業員を対象とした、情報通信技術（ＩＴ）を利用した場所・時間にとられない働き方の導入
8. 3歳以上の子を育てている従業員に所定外労働をさせない制度
9. 妊娠中や出産後の女性従業員の健康、育児休業制度などの周知や情報提供及び相談体制の整備
10. 育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度
11. 労働基準法の産前産後休業を上回る期間の休業制度
12. 事業所内託児施設の運営（共同運営や保育施設と契約している場合も含む）
13. 育児サービス費用を補助する制度（ベビーシッターや託児施設の利用料補助等）
14. 子どもの看護のための休暇を時間単位で取得できるなど利用しやすい制度
15. 子どもが産まれる際に父親が休暇を取りやすい制度
16. 出産や子育てによる退職者についての再雇用制度
17. 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備
18. 結婚祝い金、出産祝い金などの一時金の支給
19. （子どもの養育を要件とする）扶養手当の支給
20. その他（ ）

問 20 過去5年間に、正規雇用の従業員の新規採用はありましたか。

1. 0人	2. 1人
3. 2～4人	4. 5～9人
5. 10人以上	

【問 20で、「1. 0人」以外を選択した方にうかがいます】

問 21 過去5年間の正規雇用の従業員採用者のうち、女性は何人ですか。

1. 0人	2. 1人
3. 2～4人	4. 5～9人
5. 10人以上	

貴事業所の今後の意向についてうかがいます。

問 22 今後の事業規模の見込みを教えてください。(1つに○)

1. 拡大する見込み	2. 現状維持
3. 縮小する見込み	4. わからない

問 23 貴事業所で1年間以内に正規職員を募集する予定はありますか。(1つに○)

1. 募集しない	2. 1～4人	3. 5～9人
4. 10～14人	5. 15～19人	6. 20～49人
7. 50人以上	8. わからない	

問 24 貴事業所で1年間以内に非正規職員を募集する予定はありますか。(1つに○)

1. 募集しない	2. 1～4人	3. 5～9人
4. 10～14人	5. 15～19人	6. 20～49人
7. 50人以上	8. わからない	

問 25 今後も現在の場所で事業を続けたいと思われませんか。(1つに○)

1. 現在の場所で事業を続けたい	2. 上富田町内で別の場所に移転したい
3. いずれは町外に移転したい	4. すぐにも町外に移転したい
5. わからない	

問 26 貴事業所が拠点の立地を検討する際に重視する点は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 顧客との距離が近い	2. 仕入先との距離が近い
3. 競合他社の進出状況	4. 交通の便がよい
5. 従業員の居住する場所の確保	6. 自治体の支援策が整っている
7. 税の減免	8. 地価・物価が安い
9. 連携できる企業や大学	10. 周辺住民・自治会等が協力的
11. 自然環境が豊か	12. 防犯・防災体制が整っている
13. ゆかりのある土地	14. まちのイメージ
15. まちの将来的な発展性	16. その他 ()

問 27 今後、貴事業所が重要視する経営上の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 営業・販売力の強化	2. 人材の確保・育成
3. コストダウン (生産原価の切り下げ)	4. 財務体質の強化
5. 技術力強化	6. 新商品開発、新事業展開
7. 自社ブランドの強化	8. 設備増強等
9. 海外事業展開	10. 既存事業の絞り込み
11. 資金調達方法の多様化	12. 国・県等の金融支援制度の活用
13. 既存借入の条件変更	14. 雇用調整の実施
15. 在庫調整の実施	16. 経費の削減
17. 事業承継	18. その他 ()

問 28 生産・技術連携 (産学連携・産産連携) について行っていますか。(1つに○)

1. 連携している	2. 連携していない
3. 連携を検討している	

【問 28で、「1. 連携している」を選択した事業所にうかがいます。】

問 28-1 生産・技術連携 (産学連携・産産連携) を行っている場合、相手先はどこですか (1つに○)

1. 企業間連携	2. 大学等の教育研究機関
3. 公的試験研究機関	4. 複数の機関と連携

問 29 今後、貴事業所が生産・技術連携（産学連携・産産連携）を行う場合、課題となることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 自社の人手が不足	2. 連携すべき機関の情報が入手できない
3. 投下資金が足りない	4. 自社の技術力が不足
5. 連携のための手続きが分からない	6. 連携側のニーズが不明確
7. 有効なマーケティング策がない	8. 連携側にビジネス感覚がない
9. 事業化まで時間がかかる	10. 大学等の敷居が高い
11. 自社の技術・ノウハウが流出する恐れがある	12. まだ分からない
13. 採算がとれない	14. 連携側の技術力が不十分
15. 特に問題はない	16. その他（ ）

上富田町についてうかがいます。

問 30 上富田町で事業を続ける中で、上富田町がよいと思う点は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 操業環境がよい	2. 取引先から近い
3. 町内に住宅地がある	4. 交通の便がよい
5. 町の支援策が充実している	6. 地価・物価が安い
7. 連携できる企業や大学がある	8. 周辺住民・自治会等との関係がよい
9. まちのイメージがよい	10. 上富田町に愛着がある
11. まちの将来的な発展性	12. 町内の自然環境が豊か
13. 防犯・防災体制が整備されている	
14. その他（ ）	

[自由コメント欄]

問 31 上富田町で事業を続ける中で、上富田町に足りていないと思う点は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 操業環境が悪い	2. 取引先から遠い
3. 町内に住宅地がない	4. 交通の便が悪い
5. 町の支援策が不十分	6. 地価・物価が高い
7. 連携できる企業や大学がない	8. 周辺住民・自治会等との関係が悪い
9. まちのイメージが悪い	10. 上富田町になじめない
11. まちの将来が不安	12. 町内の自然環境が乏しい
13. 防犯・防災体制の整備が不十分	
14. その他（ ）	

[自由コメント欄]

問 32 産業振興に関する行政の取組について、貴事業所が最も重要なものとはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 融資などの経営基盤の強化に関する支援
2. 研究開発や商品・サービスの付加価値向上に関する活動への支援
3. 新事業分野への進出や販路拡大のための取り組みへの支援
4. 産学官連携や農商工連携、異業種交流など、産業に関わる交流機会の創出
5. 新規に立地する企業や店舗の誘致
6. 土地・建物（事業所）の提供・貸与
7. 既存の企業・店舗の開鎖や市外への転出等の防止
8. W i e F i などの I C T 整備
9. 新規起業者の操業促進や成長支援
10. 人材の確保や人材育成への支援
11. 各種支援制度に関する情報発信の強化
12. 市内の事業所を町内外に紹介するための情報発信の強化
13. その他（ ）
14. 特に重要だと思うことはない

[自由コメント欄]

問 33 上富田町で就労機会の向上等に向けて、次の行政サービスのうち、必要だと考えるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就労のマッチングサービス
2. 企業などと連携した職業体験
3. 企業情報などの情報発信
4. 合同就職（転職）説明会
5. ビジネススキル向上のためのセミナー
6. 就労に関する相談窓口
7. 起業支援
8. 職場環境向上のための企業向け広報
9. その他（ ）

上富田町が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるために、町としてどのような施策を重点的に進められるべきだと思いますか。

(ご自由に記入してください)

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

ご記入済のアンケートは、同封の返信用封筒に入れて8月7日(金)までにご投函ください。

上富田町
地方創生（まち・ひと・しごと創生）に関する
アンケート調査報告書

発行年月：平成 27 年 10 月

発 行：上富田町
編 集：総務政策課 まちづくりグループ(⑦番窓口)
住 所：和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 763 番地
電 話：0739-47-0550(代)
F A X：0739-47-4005